# 審査意見への対応を記載した書類(6月)

(	目次) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科
1.	【全体計画審査意見1・3の回答について】
	<カリキュラム・ポリシーと養成する人材像との対応関係が不明確>
	カリキュラム・ポリシーに基づいた教育で養成する人材像がもつ能力を習得できるか不
	明確である。例えば、「データベースの原理・考え方や基本構造を理解している」とある
	が、必修科目の「データベース」のみの履修では養成する人材像が備える能力を修得て
	きないことが考えられる。再度カリキュラムや科目設定を改めると同時に、必要に応じ
	てカリキュラム・ポリシーも改めること。1
2.	【全体計画審査意見2・4の回答について】
	<卒業要件とディプロマ・ポリシーとの対応関係が不明確>
	履修モデルに示す科目は選択必修科目となっておらず、学生が履修モデル通りの科目を
	実際に履修をするかについて疑義があり、履修モデルと異なる履修状況での卒業も考え
	られるため、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現できるか不
	明確である。卒業要件とディプロマ・ポリシーの対応関係を説明するとともに、必要に
	応じてディプロマ・ポリシー及び卒業要件を改めること。
3.	【全体計画審査意見5の回答について】
	<アドミッション・ポリシーで求める人材が不明確>
	アドミッション・ポリシーの説明において、①②と③若しくは④の項目に当てはまる者
	を受け入れる方針とあるが、4つの項目の幾つかに当てはまれば良いのか、それとも、
	4つ全ての項目に当てはまれば良いのか、明確にすること。92
4.	【全体計画審査意見10の回答について】
	<展開科目の必修・選択の設定が不適切>
	展開科目におけるグローバルコミュニケーション科目群について、学生は必修科目「ヒ
	ジネス英語 $I \sim IV$ 」のみ履修し、選択科目を履修しなくとも外国人と協働して仕事をす
	るための能力を身に付けることができるのか不明確なため、明確にすること。例えば、
	「実践英語(製造業やファイナンス)」や「英語プレゼンテーション」は養成する人材像
	を踏まえると、重要な科目であると考えられる。展開科目の必修・選択の履修区分を含
	め、科目の設定を修正すること。その際にはディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ホ
	リシーとの整合性についても留意すること。95
5.	【全体計画審査意見12の回答について】

臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」 ことが達成できる計画となっているか疑義があるため、以下の2点を明らかにすること。

<臨地実習の計画が不適切>

	(1)	臨地実務実習施設について、実習先において目的を達成できる実習内容となって
		いるか不明確である。実習先ごとの学生の具体的実習内容と、その実習内容が実
		施可能である施設の個々の選定理由を明らかにし、臨地実務実習先の教育にふさ
		わしい施設であるかを明らかとすること。また、必要に応じて実習先を改めるこ
		と。111
	(2)	学生が作成する実習日誌とインターンシップノートの関連性が不明確である。ま
		た、ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップI」及び「インター
		ンシップⅡ」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い
		違いがあり、どのように成績評価点が付与されるか不明確であるため、改めるこ
		と。
6.	【全体	計画審査意見 15 の回答について】
	<専任	教員数が設置基準を満たしていない>
	専任教	員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改める
	こと。	
7.	【全体	計画審査意見20の回答について】
	<学生	[へのサポート体制が不明確>
	入学生	全員が同じPC (文言は説明文と同様) 環境で授業を受けられるようあらかじめ
	大学が	手配すると説明があるが、学生へのノートPCの故障や盗難といったトラブルの
	サポー	·ト体制が不明確であるため、明らかとすること。例えば、PCが故障し授業に持
	ち込め	なかった学生への保証はどうするのか、また、イノベーションマネジメント局内
	に担当	者を置き、一時的なサポートを行うとあるが、学内担当者のPCサポートの専門
	性が不	·明確であるため、サポート体制について改めて説明すること。 126
	審査意	見以外への対応事項】130
	6月2	9 日の実地審査にて「共同学習の場の充実」についてのご意見を頂いたため、共同
		り場についての説明をするとともに、設置の趣旨等を記載した書類において説明を
	追記す	<sup>-</sup> る。130

#### 1. 【全体計画審査意見1・3の回答について】

<カリキュラム・ポリシーと養成する人材像との対応関係が不明確>

カリキュラム・ポリシーに基づいた教育で養成する人材像がもつ能力を習得できるか不明確である。例 えば、「データベースの原理・考え方や基本構造を理解している」とあるが、必修科目の「データベース」 のみの履修では養成する人材像が備える能力を修得できないことが考えられる。再度カリキュラムや科 目設定を改めると同時に、必要に応じてカリキュラム・ポリシーも改めること。

#### (対応)

カリキュラム・ポリシーに基づいた教育で養成する人材像がもつ能力を習得できるか不明確であるとの ご指摘を踏まえ、カリキュラムや科目設定について見直しを行った。

「データベースの原理・考え方や基本構造を理解している」と例示いただいている必修科目の「データベース」のみの履修では養成する人材像が備える能力を習得できないことが考えられるとのご指摘も含め、カリキュラムや科目設定を見直した。具体的には、ご指摘に基づき基礎的な知識やスキルを習得する「データ構造と処理法」「データベース」ののちに、同じく必修科目である「情報技術演習 I 」の内容を改め、データベースに関する知識やスキルを応用・実践できるよう科目内容を修正した。あわせて、選択科目の「情報技術演習 II 」についても、データベースも含め知識やスキルをさらに深めるとともに応用・実践する内容に科目内容を修正した。

「オペレーティングシステム」については、基本的なファイル操作、スクリプト操作、単純な OS の基本操作について学ぶ内容となっている。これらの操作内容そのものは高等学校等での「情報科」等の学習等で身についている学生もいる可能性もあるが、基本的な技術・理論の成り立ちから学びたい学生や操作そのものに不慣れな学生もいることを想定し、1年前期の選択科目として配置する。コンピュータプログラムの実行の基本的な事項(メモリの考え方、内部表現、排他制御など処理)については、「コンピュータとソフトウェア基礎」等、関連する必修科目において学習する。いずれも情報通信技術領域の基本的な事項となることから、履修指導時や導入教育に説明を行い、個々の学生に必要な履修を促す。また、「オペレーティングシステム」も含む、選択必修科目や選択科目で希望者が多数となった際にはクラス増設等も配慮する。

また、カリキュラム・ポリシーのうち、「職業的自立を図る能力」について、科目設定の目的とカリキュラム編成の内容を整理した。補正申請時は「変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。」となっていたが、ここで指す「職業倫理」は「グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。」うち、現代社会に該当する科目であったこと、また「数学」そのものだけでなく、数学を通じて習得する論理力や処理能力であったことから、「変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。」に内容を改める。

<カリキュラム・ポリシーと養成する人材像、習得する能力との関係>

本学で養成する人材像は「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」としている。具体的に有する能力としては、ディプロマ・ポリシーに記載のとおり、「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を有することとしている。これらの能力を身に付けるため、必要となる基礎的な知識・スキルを習得する科目、またそれを応用・実践し知識・スキルを深める科目を履修できるよう、カリキュラム・ポリシーを定めカリキュラムを編成している。カリキュラム・ポリシーでは、ディプロマ・ポリシーに定める能力を習得するための科目編成の方針を示しているが、ご指摘の回答として、養成する人材像がもつ能力を習得するために必要な科目をどのように習得していくかについて、カリキュラム・ポリシーに基づきカリキュラムマップ(別紙1)およびカリキュラム構成図(別紙2)とあわせて具体的に示す。なお、カリキュラム・ポリシーには説明のため①-1)、2)など番号を付す。

養成する人材像で備える能力のうち「職業的自立を図る能力」については以下の  $CP(\mathbb{D}-1)\sim 3$ ) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

 ${\bf CP}({\bf I}-1)$  自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや 優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を必修科目として履修する。

CP①−2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための 知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。

上記の能力のうち、グローバルな視野を持つためのスキルを身に付けるために「英語コア・スキルズ I」「英語コア・スキルズII」を必修科目として履修する。また、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身につけるために「リサーチ入門」を必修科目として履修するほか、「先端グローバル社会」「ICTと人間」「職業倫理」「科学史」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。

CP①-3) 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理 能力などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身に付けるため「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」から 2 科目以上を選択必修科目として履修する。

また、上記の必修科目・選択必修科目以外に、CP①-2) 3)問わず選択必修科目の中から 1 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP①-1)  $\sim$  3)に従った履修により、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得し「職業的自立を図る能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「経営に関する知識・スキル」については以下の CP2-1)  $\sim 5$  のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目及び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP②−1) 企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「マネジメント(経営学基礎)」「スタートアップ基礎(起業論)」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」から1科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、企業経営の学びを深める。

CP②-2) 市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「マーケティング基礎」を必修科目として履修する。これらの知識やスキルを深めるとともに実践的に習得するため「ビジネスフィールドリサーチ I」「ビジネスフィールドリサーチ I」を必修として履修する。加えて、経営課題発見のための応用的知識を選択科目として履修することができる。

CP②-3) 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法 務や会計などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「アカウンティング入門」「法務リテラシー I」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「アカウンティング応用」「法務リテラシー II」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」から1科目以上を選択必修として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、経営理論や実践的技法の学びを深めることや会計の実務を習得する。

CP②-4) 目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。

上記を習得する場として、「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を必修科目として履修する。

CP2-5) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう 4 年間を通じた必修 科目の「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクト I」を設置する。

新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる力を習得するとともに、基礎的な知識・スキルとして習得した「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」などの内容を実践する場として「イノベーションプロジェクト I 」「イノベーションプロジェクトI 」「イノベーションプロジェクトI 」「イノベーションプロジェクトI 」「イノベーションプロジェクトI 」「イノベーションプロジェクトI 」を必修科目として履修する。

上記 CP2-1)  $\sim 5$ ) に従った履修により、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解するために必要な「経営に関する知識・スキル」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」については、以下の  $CP(3-1)\sim5$ ) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP③−1) システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミング I」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミング I」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習 I」「システム設計演習」を必修科目として履修する。また、ソフトウェアやシステムに関する開発設計の応用を選択科目の履修により学ぶ。

CP③-2) コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」を必修科目として履修する。また、情報系数学応用など選択科目の履修により、ソフトウェア構築の応用や高度化に対応する。

CP③-3) 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「ネットワーク技術」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築 I」「情報セキュリティ演習 I」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、ネットワークやセキュリティについて深くあるいは広く学ぶ。

CP③-4) データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する 基礎的な能力を身に付ける。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「データ構造と処理法」「データベース」を、それらを演習で習得するために「情報技術演習 I」を必修科目として履修する。また、より学びを深めるために「情報技術演習 I」を選択科目として設定した。なお、ご指摘に従い「情報技術演習 I」と「情報技術演習 I」の内容を改めた。

CP③-5) 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP③-1) $\sim$ 4)を通じて習得した知識・スキルを基に、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「スーパーコンピュータ」「ビッグデータ」「IoT」「AI」から 1 科目以上を選択必修科目として履修するほか、より応用力を高める際には選択必修科目からさらに選択して学ぶ。

上記 CP3-1)  $\sim$ 5) に従った履修により、システム開発に活用するために必要な「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」を習得する。

なお、職業選択科目においては、養成する人材像に必要な知識・スキル、実践力を習得していく過程で、さらに学びを深めることができるよう、上記の必修科目・選択必修科目以外に、4科目以上の履修を行う科目編成となっている。選択科目には、経営では「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「クロステックビジネスデザイン」など、ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用的な理論やケーススタディを学ぶ科目を配置している。情報通信技術では「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」など情報通信技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説するもの、「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求開発」など、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等についての知識やスキルをさらに深める科目があり、学びを深めることが可能である。

選択科目の履修に当たっては、イノベーションプロジェクトやインターンシップなどでの振り返りをもとに、担任となる専任教員とイノベーションマネジャーによる個別面談や履修指導を行うことで、選択必修科目とあわせて適切な履修がなされるよう、指導を行っていく。

養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④-1) ~2) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP④−1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習  $\Pi$ 」「ビジネス英語実習  $\Pi$ 」「
を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。

CP④-2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの 内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習 I」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 IV」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語:多文化理解」「実践英語:日本文化」「英米文学演習」から1科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、

経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語:ファイナンス」「実践英語:イノベーション」「実践英語:製造業」「実践英語:IoT」から1科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。

上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記  $CP(4-1)\sim 2$ )に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「時代の変化に対応するビジネスの総合力」については以下の CP ⑤のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP⑤ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

CP①~④を通じ習得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を必修科目として履修する。

CP⑤では、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用し、「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を習得する。

上記の通り、養成する人材像がもつ「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」について、カリキュラム・ポリシーに従い、必要となる基礎的な知識・スキルと、これを応用・実践し知識・スキルを深める科目を設定し、習得する。これらの科目設定により養成する人材像がもつ能力を習得することが可能であると考える。

<上記に伴う、科目設定の変更>

選択必修科目となることに伴い、年間開講数を変更した。

- ・アカウンティング応用 年間開講数 1→2
- ・法務リテラシーⅡ 年間開講数 1→2
- ・クラウド 年間開講数 1→2
- ・ビッグデータ 年間開講数  $1\rightarrow 2$
- · IoT 年間開講数 1→2
- ・ネットワーク構築 I 年間開講数 1→3

## ・情報セキュリティ演習 I 年間開講数 $1\rightarrow 3$

#### (新旧対照表)教育課程等の概要

		新						旧						
[2ページ]					[2ページ]									
授業科目の	専	専任教員の配置				授業科目の	専	任教員の配置		Ma de				
名称	教授	准 教 授	講師	備考		名称	教授	准 教 授	講師	備考				
クラウド		<u>1</u>	1			クラウド		(追記)	1					

### [3~4ページ]

#### 卒業・修了要件及び履修方法

#### 【卒業要件】

次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、 計128単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

- ·基礎科目 20 単位
  - <u>- 必修 12 単位</u>

## 選択必修8単位

- ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、 ICT と人間のうち 2 単位以上
- ・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C の うち 4 単位以上
- ・上記6単位以上を含む、8単位以上
- ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を 含む)
  - 一必修 68 単位

## 選択必修 14 単位

・オペレーションズマネジメント、問題形成 と問題解決、組織行動論、ビジネスゲーム による経営意思決定、人的資源管理論、イ ノベーション特論から2単位以上

# [3ページ]

### 卒業・修了要件及び履修方法

#### 【卒業要件】

次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、 計128単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

基礎科目 20 単位以上

選択科目から8単位を履修する。うち、数学 基礎 A~Cから4単位以上を履修する。

職業専門科目 82 単位以上

選択科目から14単位を履修する。

展開科目 20 単位以上

選択科目から 12 単位を履修する。

総合科目6単位(追記)

実習科目の40単位

うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む

(履修科目の登録の上限:

1 年次 46 単位 (年間)

2-4 年次 42 単位 (年間))

- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから2単位以上
- ・ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演 習 I から 2 単位以上
- ・モバイルサービス概論、Webシステム演習、 インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、 IoT、スーパーコンピュータ、AIから2単位
- ・上記8単位以上を含む、14単位以上
- ·展開科目 20 単位
- <u>-必修8単位</u>

# 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語 プレゼンテーション、英語ネゴシエーショ ンから2単位以上
- ・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実 践英語:日本文化から2単位以上
- ・実践英語:製造業、実践英語:ファイナン ス、実践英語:IoT、実践英語:イノベー ションから2単位以上
- ・上記8単位以上を含む、12単位以上
- ・総合科目6単位(必修)

# 実習科目の 40 単位

うち臨地実務実習(インターンシップ)24 単位を含む

## (履修科目の登録の上限:

- 1 年次 46 単位 (年間)
- 2-4 年次 42 単位 (年間))

	新		旧
[13ページ	[7]	[13ページ	]
情報技術	ユーザアプリケーションからサーバシ	情報技術	ユーザアプリケーションからサーバシ
演習 I	ステムまでを対象とした情報ネットワ	演習 I	ステムまでを対象とした情報ネットワ
	ーキングシステムの全体アーキテクチ		ーキングシステムの全体アーキテクチ
	ャを理解し、演習による基本動作検証		ャを理解し、演習による基本動作検証
	の体験を通じて、より実践的なスキル		の体験を通じて、より実践的なスキル
	を習得する。また、与えられた情報ネ		を習得する。また、与えられた情報ネ
	ットワーキングシステムの例題に対し		ットワーキングシステムの例題に対し
	て、ユーザインタフェース設計書を作		て、ユーザインタフェース設計書を作
	成し、デザインレビュ、基本動作検証、		成し、デザインレビュ、基本動作検証、
	関係データベースの構築、プロジェク		(追記) プロジェクト管理までの演習
	ト管理までの演習を行う。		を行う。
[15ページ	>]	[15ページ	?]
情報技術	少人数グループ毎に、実際の社会課題	情報技術	少人数グループ毎に、実際の社会課題
演習Ⅱ	及びサービス事例の調査を行い、新た	演習Ⅱ	及びサービス事例の調査を行い、新た
	なサービス事例の企画立案、検討を行		なサービス事例の企画立案、検討を行
	う。検討結果から、ユースケースの議		う。検討結果から、ユースケースの議
	論及び、要求条件の明確化を行い、 <u>業</u>		論及び、要求条件の明確化を行い、 <u>ソ</u>
	務フローや機能一覧、ネットワーク構		フトウェア設計書を作成する。ユーザ
	成等の基本設計と、機能設計やデータ		アプリケーション及びサーバアプリケ
	ベース設計等の詳細設計を作成する。		ーションを実際に構築し、情報ネット
	ユーザアプリケーション及びサーバア		ワーキング統合システムの基本的な動
	プリケーションを実際に構築し、情報		作検証までの演習を行う。グループ毎
	ネットワーキング統合システムの基本		に動作検証結果の中間報告を行い、改
	的な動作検証までの演習を行う。グル		善点について議論し、 <u>ソフトウェア設</u>
	ープ毎に動作検証結果の中間報告を行		計書の改訂を行う。最終的に得られた
	い、改善点について議論し、基本設計・		サービスの検証を行い、グループ毎に
	詳細設計の改訂を行う。最終的に得ら		最終報告を行い、演習全体を総括する。
	れたサービスの検証を行い、グループ		
	毎に最終報告を行い、演習全体を総括		
	する。		

新

[92~93ページ]

#### 情報技術演習I

#### 1. 授業概要

ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、関係データベースの構築、プロジェクト管理までの演習を行う。

#### 2. 授業の目的、目標

情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の 理解と、演習による実際の動作実証。

ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解 と、デザインレビュの演習。

与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設計スキルや関係データベースの設計構築スキルなど を演習を交えて習得する。

データベース連携技術<u>を</u>理解<u>し、</u>実際の動作検証 手法について基本的な内容を身に付ける。

#### 3. 授業計画

	公開データセットを用いてデータベ
	<u>ース設計を行い、実際に関係データベ</u>
5	ースを仮想マシン上に構築する。格納
5	データに対して、SQL による情報検
	索、情報更新、情報削除等の演習を行
	<u>5.</u>
	データベース連携を行うための WEB
	サービス設計を行い、実際に WEB デ
	<u>ータベース連携動作環境を構築する。</u>
6	構築した環境を用いて、WEB-APIを
	利用した情報検索、情報更新、情報削
	除等の演習を行う。
7	情報システムの例題を提示し、概要の
_ ′	説明を行う。UML によるソフトウェ

[92~93ページ]

## 情報技術演習I

## 1. 授業概要

ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、(追記)プロジェクト管理までの演習を行う。

#### 2. 授業の目的、目標

情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の 理解と、演習による実際の動作実証。

ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解 と、デザインレビュの演習。

与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設 計スキルの習得。

データベース連携技術<u>の</u>理解<u>と、演習による</u>実際 の動作検証手法(追記)を身に付ける。

#### 3. 授業計画

	情報システムの例題を提示し、概要の
	説明を行う。UML によるソフトウェ
5	ア仕様設計手法、演習の進め方につい
	て説明する。例題に対するクラス図等
	の記述手法について説明し、演習を行
	<u>5.</u>
	例題に対するコンポーネント図等の
	記述手法について説明し、演習を行
6	<u>う。</u>
7	<u>例題に対するユースケース図等の記</u>
'	述手法について説明し、演習を行う。

ア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するクラス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

例題に対する<u>コンポーネント図、ユースケース図、</u>シーケンス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

#### 6. 教科書/参考文献

教科書:演習資料を別途配布する

参考文献:

『Web エンジニアの教科書』

佐々木 達也、瀬川 雄介、内藤 賢司(著)、シ ーアンドアール研究所、2015年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』

山本 陽平 (著)、技術評論社、

2010年

『実例で学ぶソフトウェア開発』

NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、 オーム社、2008 年

『UML による一気通貫 DB システム設計 (DB

Magazine SELECTION)

細川 努 (著)、翔泳社、2007年

[108~109ページ]

# 情報技術演習Ⅱ

#### 1. 授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、業務フローや機能一覧、ネットワーク構成等の基本設計と、機能設計やデータベース設計等の詳細設計を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、基本設計・詳細設計の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

例題に対する<u>(追記)</u>シーケンス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

#### 6. 教科書/参考文献

教科書:演習資料を別途配布する

参考文献:

『Web エンジニアの教科書』

佐々木 達也、瀬川 雄介、内藤 賢司(著)、シ ーアンドアール研究所、2015年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』

山本 陽平 (著)、技術評論社、

2010年

『実例で学ぶソフトウェア開発』

NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、 オーム社、2008 年

(追記)

[108~109ページ]

### 情報技術演習Ⅱ

# 1. 授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、<u>ソフトウェア設計</u>書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、<u>ソフトウェア設計</u>書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

#### 3. 授業計画

演習に必要なネットワーク設計技術、 データベース構築技術、WEBデータ ベース連携技術、各種クラウドサービ ス、WEB-API、その他 各種ソフトウ ェアについて説明を行い、基本動作の 検証を行う。

## 3. 授業計画

2

演習に必要な<u>(追記)</u>各種ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。

(新旧対照表) 学則 別表 2

新

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科 卒業要件

	• • •	1 2112 111							
					卒業	単位			
	科目区	区分	必修	選択 <u>必修</u> ①	<u>選択</u> <u>必修</u> ②	<u>選択</u>	由	小計	
基礎 科目	現代社会 基礎		12	<u>6</u> <u>₩1</u>	2	0	0	20	
		ビジネス基礎	8				0		
	経営	ビジネス応用	0				0	82	
職業専門		ビジネス実践	42	<u>8</u> <u>**</u> 4	0	c	0		
科目		システム デザイン基礎	18	<u>**4</u>	0	<u>6</u>	0	02	
	情報通信 技術	システム デザイン応用	0				0		
		ネットワーク セキュリティ	0				0		
展開科目	グローバ ルコミュニ ケーション		8	<u>8</u> <u>**3</u>	<u>4</u>	<u>0</u>	0	20	
総合 科目			6	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	0	6	
	合計	+	94	22	<u>6</u>	<u>6</u>	0	128	

ΙĦ

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科 卒業要件

					卒業	単位			
	科目区	区分	必修	(追記)	(追記)	選択	自由	小計	
基礎 科目	現代社会 基礎		12	(追記)	(追記)	<u>8</u>	0	20	
		ビジネス基礎	8				0		
	経営	ビジネス応用	0				0		
職業専門		ビジネス実践	42	(追記)	(追記)	<u>14</u>	0	82	
科目		システム デザイン基礎	18	(地記)	(地記)	11	0	62	
	情報通信 技術	システム デザイン応用	0				0		
		ネットワーク セキュリティ	0				0		
展開科目	グローバ ルコミュニ ケーション		8	(追記)	(追記)	<u>12</u>	0	20	
総合 科目			6	(追記)	(追記)	<u>0</u>	0	6	
	合調	+	94	(追記)	(追記)	34	0	128	

- ・ 先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICTと人間のうち2単位以上
- 数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4単位以上

# **※**2

- ・ オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から2単位以上
- アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、フ

(追記)

<u>ァイナンス入門、コーポレートファイナンスか</u> ら**2**単位以上

- ・ ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演習 Iから 2 単位以上
- ・ モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から2単位

# **※**3

- ・ 英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・ 英語ディスカッション・ディベート、英語プレ ゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上
- ・ 実践英語:多文化理解、英米文学演習、実践英語:日本文化から2単位以上
- ・ 実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2 単位以上

## 備考

- ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップ I・Ⅱ) 含む
- ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。「マネジメント(経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシー I」「アカウンティング入門」「プログラミング II」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」

「情報技術演習 I」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチ I」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」

・総計で、卒業単位を128単位以上とする。

#### 備考

- ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。※臨地実務実習(インターンシップ I ・ II ) 含む
- ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以 下の科目の単位を修得していることとする。

「マネジメント (経営学基礎)」「マーケティング 基礎」「法務リテラシー I」「アカウンティング入 門」「プログラミング I」「プログラミング II」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」

「情報技術演習 I」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチ I」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」

・総計で、卒業単位を128単位以上とする。

新

#### [24ページ]

#### 1. 教育内容

①基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり 自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要 な能力を獲得するために、以下のような教育内容で 構成する。

- ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
- ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を 学ぶ。
- ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応する ことができるよう、<u>数的論理力や数的処理能力</u>など の内容を学ぶ。

# [41~47ページ]

#### (2)カリキュラムと科目設定について

ディプロマ・ポリシーに記載の「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を身に付けるため、必要となる基礎的な知識・スキルを習得する科目、またそれを応用・実践し知識・スキルを深める科目を履修できるよう、カリキュラム・ポリシーに基づき、科目を設定している。なお、説明のために、カリキュラム・ポリシーそれぞれについて、①-1)、①-2)等の番号を付す。

養成する人材像で備える能力のうち「職業的自立 を図る能力」については以下の CP①-1)~3) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目およ

#### [24ページ]

#### 1. 教育内容

①基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり 自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要 な能力を獲得するために、以下のような教育内容で 構成する。

- ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
- ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
- ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応する ことができるよう、<u>職業倫理や数学</u>などの内容を学 ぶ。

## [41ページ]

## (追記)

び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

 CP①-1)
 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザイン I」「キャリアデザイン II」を必修科目として履修する。

CP①-2) グローバルな視野をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的に 理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容 を学ぶ。

上記の能力のうち、グローバルな視野を持つためのスキルを身に付けるために「英語コア・スキルズI」を必修科目として履修する。また、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身につけるために「リサーチ入門」を必修科目として履修するほか、「先端グローバル社会」「ICT と人間」「職業倫理」「科学史」から1科目以上を選択必修科目として履修する。

CP①-3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎 的な知識・スキルを身に付けるため「数学基礎 A」 「数学基礎 B」「数学基礎 C」から 2 科目以上を選 択必修科目として履<u>修する。</u>

また、上記の必修科目・選択必修科目以外に、CP ①-2)3)の選択必修科目の中から1科目以上の 履修を行う科目編成とする。

上記 CP①-1)~3)に従った履修により、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得し「職業的自立を図る能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「経営に関する知識・スキル」については以下の CP②-1) ~5) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目及び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP②-1) 企業やビジネスの継続的改善に向けた 目標を設定し、それを状況に応じなが ら計画的に実行できるようマネジメ ントや起業など企業経営の内容を学 ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「マネジメント (経営学基礎)」「スタートアップ基礎 (起業論)」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、企業経営の学びを深める。

CP②-2) 市場の情報収集や調査を行い、経営課

題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「マーケティング基礎」を必修科目として履修する。これらの知識やスキルを深めるとともに実践的に習得するため「ビジネスフィールドリサーチI」「ビジネスフィールドリサーチII」を必修として履修する。加えて、経営課題発見のための応用的知識を選択科目として履修することができる。

CP②-3) 企業の持続性という観点から、評価・ 分析する経営理論や実践的技法を身 につけるため、法務や会計などの内容 を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「アカウンティング入門」「法務リテラシーI」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「アカウンティング応用」「法務リテラシーII」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」から1科目以上を選択必修として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、経営理論や実践的技法の学びを深めることや会計の実務を習得する。

CP②-4) 目標の明確化、計画立案から計画遂行 に至る能力、システム開発スキル、課 題発見・分析・解決を通じたビジネス スキルの獲得を行う学びの場として、 3 年次にさまざまな企業現場での臨地 実務実習を約 640 時間設定する。 上記を習得する場として、「インターンシップ I」 「インターンシップ II」を必修科目として履修す る。

CP2-5) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう 4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクト I」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「イノベーションプロジェクトI」「オノベーションプロジェクトI」を設置する。

新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる力を習得するとともに、基礎的な知識・スキルとして習得した「経営に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」などの内容を実践する場として「イノベーションプロジェクトII」「イノベーションプロジェクトIV」「イノベーションプロジェクトIV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトVI」を必修科目として履修する。

上記 CP②-1)~5)に従った履修により、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できる「経営に関する知識・スキル」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」については、以下の CP③-1)~5)のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

 CP③-1)
 システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミング I」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミング II」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習 I」「システム設計演習」を必修科目として履修する。また、ソフトウェアやシステムに関する開発設計の応用を選択科目の履修により学ぶ。

CP③-2) コンピュータの本質的な側面および、
 ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミング I 」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミング II 」「ソフトウェア設計・構築」を必修科目として履修する。また、情報系数学応用など選択科目の履修により、ソフトウェア構築の応用や高度化に対応する。

CP③-3) 基本的なネットワーク通信の仕組み、 各種プロトコルや情報セキュリティ の全体像を理解し、その上で与えられ た要求条件を元にデータベースと連 携したシステムの構築ができるよう ネットワーク等の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「ネットワーク技術」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築 I」「情報セキュリティ演習 I」から 1科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、ネットワークやセキュリティについて深くあるいは広く学ぶ。

 CP③-4)
 データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「データ構造と処理法」「データベース」を、それらを演習で習得するために「情報技術演習Ⅰ」を必修科目として履修する。また、「情報技術演習Ⅱ」を選択科目として設定した。

 CP③-5)
 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP③-1)~4)を通じて習得した知識・スキルを基に、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」「Webシステム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「スーパーコンピュータ」「ビッグデータ」「IoT」「AI」から1科目以上を選択必修科目として履修するほか、より応用力を高

める際には選択必修科目からさらに選択して学ぶ。

上記  $CP(3-1) \sim 5$ ) に従った履修により、システム開発に活用するために必要な「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」を習得する。

なお、職業選択科目においては、養成する人材像 に必要な知識・スキル、実践力を習得していく過程 で、さらに学びを深めることができるよう、上記の 必修科目・選択必修科目以外に、4 科目以上の履修 を行う科目編成となっている。選択科目には、経営 では「地方創生とイノベーション」「新興市場にお ける事業開発」「クロステックビジネスデザイン」 など、ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用 的な理論やケーススタディを学ぶ科目を配置して いる。情報通信技術では「オペレーティングシステ ム」「コンピュータアーキテクチャ」など情報通信 技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説 するもの、「情報システムのプロジェクト管理」「モ デル化と要求開発」など、情報システムに関するプ ロジェクトマネジメントや改善等についての知識 やスキルをさらに深めることが可能である。選択科 目の履修に当たっては、イノベーションプロジェク トやインターンシップなどでの振り返りをもとに、 担任となる専任教員とイノベーションマネジャー による個別面談や履修指導を行うことで、選択必修 科目とあわせて適切な履修がなされるよう、指導を 行っていく。

養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④ー1)~2)のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

<u>CP④−1</u>) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニ

<u>ケーションがとれるよう英語コミュ</u> ニケーションなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎 的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英 語実習 I」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実 習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履 修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語での アカデミックリテラシーの習得やより具体的なビ ジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図る ため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネ スマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を 選択必修科目として履修する。また、それらを応 用・実践するためにビジネスの現場を想定したテー マやシチュエーションで構成される「英語ディスカ ッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」 「英語ネゴシエーション」から1科目以上を選択必 修科目として履修する。さらに選択必修科目の中か ら履修することによりコミュニケーション能力の 幅が広がる。

CP④-2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 IV」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語:多文化理解」「実践英語:日本文化」「英米文学演習」から1科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語:ファイナンス」「実践英語:イノベーション」「実践英

語:製造業」「実践英語: IoT」から1科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。

上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④-1)~2)に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「時代の変化 に対応するビジネスの総合力」については以下の CP⑤のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目 を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP⑤ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的 に理解し、国際社会と地域社会において、 サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

<u>CP①</u>~④を通じ習得した知識・スキルを統合し、 新たなサービスやビジネスを生み出すための実践 的かつ応用的な能力を養う科目として、「総合理論 演習」「総合実践演習」を必修科目として履修する。

CP⑤では、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用し、「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を習得する。

これらにより、養成する人材像がもつ「職業的自

立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」について、カリキュラム・ポリシーに従い、必要となる基礎的な知識・スキルと、これを応用・実践し知識・スキルを深める科目を設定し、これを修得するよう科目を編成している。

- (3) 教育課程の不断の見直しについて (中略)
- (4) 社会貢献、地域と一体化した教育

[53~58ページ]

#### (5) 卒業要件

卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、 選択必修 8 単位)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位、選択必修 14 単位)、 展開科目 20 単位(必修 8 単位、選択必修 12 単位)、 総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は 実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。

学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

- ・基礎科目 20 単位
- 必修 12 単位

イノベーションの志、スタディスキル、英語コア・スキルズⅠ、英語コア・スキルズⅡ、リサーチ入門、キャリアデザインⅠ、

- (2) 教育課程の不断の見直しについて (中略)
- (3) 社会貢献、地域と一体化した教育

[47~51ページ]

#### (5) 卒業要件

卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、数 学基礎 A~Cのうち4単位以上、数学基礎 A~Cの 4 単位以上を含む8単位以上を選択必修)、職業専門 科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位 位(追記))、展開科目 20 単位(必修 8 単位(追記))、 総合科目6単位(必修)を修得し、合計 128 単位とす る。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は 実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科 目及び展開科目の必修科目に含まれている。

学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。

(追記)

#### キャリアデザインⅡ

## 選択必修8単位

- ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、 ICT と人間から2単位以上
- ・数学基礎 A~C のうち 4 単位以上
- ・上記6単位以上を含む、8単位以上
- ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を 含む)

# <u>--必修 68 単位</u>

マネジメント (経営学基礎)、マーケティン グ基礎、法務リテラシー I、アカウンティ ング入門、

スタートアップ基礎 (起業論)、イノベーションプロジェクトⅠ、イノベーションプロジェクト II、イノベーションプロジェクト III、イノベーションプロジェクト III、イノベーションプロジェクト IV、イノベーションプロジェクト V、イノベーションプロジェクト V、イノベーションプロジェクト VI、ビジネスフィールドリサーチ I、ビジネスフィールドリサーチ I、ビジネスフィールドリサーチ I、ビジネスフィールドリサーチ I、ビジネスフィールドリサーチ I、ビジネスフィールドリサーチ I、ビジネスフィールドリナーチ I、データーンシップ II、データ 構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習 I、システム設計演習

#### 選択必修 14 単位

- ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から2単位以上
- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから2単位以上
- ・ネットワーク構築 I、情報セキュリティ 演習 I から 2 単位以上
- ・モバイルサービス概論、Web システム演

習、インタラクティブ・システムデザイ ン、データサイエンス、クラウド、ビッ グデータ、IoT、スーパーコンピュータ、 AI から 2 単位

- ・上記8単位以上を含む、14単位以上
- ・展開科目 20 単位
- -必修8単位

<u>ビジネス英語実習 I 、ビジネス英語実習 II 、</u> <u>ビジネス英語実習 II 、</u> <u>ビジネス英語実習 II 、</u>

# 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから2単位以上
- ・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実践英語:日本文化から2単位以上
- ・実践英語:製造業、実践英語:ファイナ ンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベ ーションから2単位以上
- ・上記8単位以上を含む、12単位以上
- ·総合科目 6 単位(必修)

総合理論演習、総合実践演習

# (6) 履修モデル

(中略)

上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と<u>(削除)</u>した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎科目群の 4 科目、ビジネス実践科目群 11 科目、システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。<u>あわせて、選択必修科目として 12 科目を設定した。内訳は基礎科目 3 科目、職業専門科目</u>

(6) 履修モデル

(中略)

上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎4 科目、ビジネス実践11 科目、システムデザイン基礎9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目2 科目である。(追記) これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国

4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科 目群のうち所定の2科目、システムデザイン基礎科 目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定 の1科目)、展開科目(グローバルコミュニケーショ ン)4科目である。これらの科目の履修を通じ、変化 し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に 関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション 能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図 している。選択必修科目を設け、それぞれの能力に ついて、基礎となる知識・スキルを習得する科目と、 その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修 得を行うことができるよう卒業要件を設定してい る。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合 でも、養成する人材像が備える能力を身につけるこ とができ、ディプロマ・ポリシーを実現することが <u>できる。</u>

際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。<u>(追記)</u>

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして以下を提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた知識・スキルの修得を可能とさせる。

(中略)

また職業専門科目のうち情報通信技術については、1年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2年次の「ネットワーク構築演習 I」や3年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の3パターンを展開する。

(中略)

幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した 課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得するために、経営科目において、 2年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業 のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題 の知識、スキルを習得する。

グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語プレゼンテーション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3年次の「実践英語:日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4年次の「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。

職業専門科目のうち経営については、幅広く経営 に関する知識やその知識を応用した課題発見力や 解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を 習得する。2年次に「アカウンティング応用」を通 じ企業の経営状況の分析を深め企業の付加価値を 高めるための知識を習得する。あわせて、「マーケ ティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング 活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題 解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力 を習得する。3~4年次に情報通信技術を用いたビジ ネスやサービスの企画・立案に関する実践力を身に 付ける「イノベーション特論」「クロステックビジ ネスデザイン」をそれぞれ履修する。また、これに 関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修 し、企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービス を立案・提案する力を習得する。

② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進め

解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3~4年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修する。

情報通信技術については、<u>(追記)</u> 2 年次の「<u>モバ</u> <u>イルサービス概論</u>」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得する。

グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ習得する。また2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語通訳論」、4年次の「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための英語力を高める。

② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進め

る人材を目指す履修モデル (資料 12-②-1、12-②-2)

(中略)

また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科 学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのよ うに寄与してきたかを学び、サービスを開発するた めの素地を作る。経営科目では「オペレーションズ マネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーショ ンの基本的な知識を<u>、「法務リテ</u>ラシーⅡ」を通じ 情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用 的な知識を習得する。グローバルコミュニケーショ ンでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキル や、国際化が進む中でプロジェクトを推進するため に必要な知識を習得する。具体的には2年次の「英 語アカデミックリテラシー」「英語通訳論」を通じ 英語コミュニケーション力を身につける。 「英語ネ ゴシエーション」を通じプロジェクトを進めるうえ での交渉力を習得する。また「実践英語:多文化理 解」「実践英語:日本文化」を通じ、文化理解と英 語コミュニケーション力を習得する。3 年次の「実 践英語:製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識 やスキルを広く習得する。3年次の「実践英語:製 造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを 習得する。

(中略)

資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1~2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。<u>また、2 年次に「情報セキュリティ演習 I」を通じ情報セキュリテ</u>

る人材を目指す履修モデル (資料 12-②-1、12-②-2)

(中略)

また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科 学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのよ うに寄与してきたかを学び、サービスを開発するた めの素地を作る。経営科目では「オペレーションズ マネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーショ ンの基本的な知識を(追記)習得する。グローバル コミュニケーションでは、情報通信技術に関する新 たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェク トを推進するために必要な知識を習得する。具体的 には2年次の「英語アカデミックリテラシー」を通 じ、情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習 得するための基本的な英語力を養成するとともに、 (追記) 3 年次の「実践英語:製造業」等の履修を 通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。また「実 践英語:多文化理解」「英語通訳論」「実践英語:日 本文化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々 との意思疎通を図り、協同していくための知識とコ ミュニケーション力を習得する。またプロジェクト を進めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーショ ン」を通じ習得する。

(中略)

資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1~2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。(追記) 3 年次は「システムインテグレーション」を通じ、情報通

イ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3年次は(削除)「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を(削除)習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。(削除)

(中略)

情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム演習」(削除) 起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得するとともに、2年次に「情報セキュリティ演習 I」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図る。新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」を履修する。

あわせて経営科目では、財務・会計分野の<u>(削除)</u>「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。

グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」を通じ英語でビジネスを進めるための

信技術を用いたサービス改善・開発における課題発見力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を<u>それぞれ</u>習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。また、経営科目から「組織行動論」を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必要な知識やスキルを習得する。

(中略)

情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得する(追記)。

あわせて経営科目では、財務・会計分野の<u>「アカウンティング応用」</u>「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。

グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」「実践英語: 多文化理解」、4年次の「実

具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、2年次の「実践英語:多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めるとともに、4年次の「実践英語:ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。

また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。

## (7)履修指導方法

本学の履修指導としては、以下を実施する。

①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全学生対象)

学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、履修モデル、卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布<u>のうえ履修</u>指導に用いる。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。

践英語:ファイナンス」を通じ、経営に関する専門 分野への理解と国際社会において活躍するための 英語力を高める。

(追記)

### (7)履修指導方法

本学の履修指導としては、以下を実施する。

①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全 学生対象)

学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、(追記)卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布する。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 資料 12 履修モデル

# 新

# [資料 12-① 履修モデル]

① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎	現代社			前期 前期 後期	<ul><li> イノベーションの志</li><li> スタディスキル</li><li> 英語コア・スキルズ I</li><li> リサーチ入門</li><li> 英語コア・スキルズ I</li></ul>	2 2 2 2 2	前期	<u>●</u> キャリアデザイン I	1	後期	● キャリアデザイン II	1				
科目	会基礎	1	選択		<ul><li>○ 数学基礎A</li><li>○ 数学基礎B</li></ul>	2	後期	Q 職業倫理 Q ICTと人間	2 2		NV 1 2					
		ビジネス基礎	必修選択	前期 後期	単位数 <ul><li>▼ マホジメント(経営学基礎)</li><li>▼ マーケァング基礎</li><li>金 法務リテラシー I</li><li>▼ アカウンティング入門</li></ul>	2 2 2 2 2		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
	経営	ビジネス応	選択					<ul><li>○ アカウンティング応用</li><li>○ 問題形成と問題解決</li></ul>	<u>2</u> 2	後期	○ イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン <u>(削除)</u>	2	
職業専門		ビジネス実践	必修	後期	<ul><li>① イノベーションブロジェクト I</li><li>② イノベーションブロジェクト II</li><li>③ スタートアップ基礎(起業論)</li></ul>	2	前期 後期	● イノベーションブロジェクトⅢ ● ビジネスフィールドリサーチ I ● イノベーションブロジェクトⅣ ● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2	前期	● イノベーションプロジェクトV ● インターンシップ I ● インターンシップ I	12 12		● イノベーションブロジェクトVI	2	
科目	情	ステムデザイ		前期 前期 後期	● ブログラミング I ● データ構造と処理法 ● コンピュータとソフトウェア基礎 ● ブログラミング II ● ネットワーク技術	2	前期 後期	<ul><li>サンフトウェア設計・構築</li><li>データベース</li><li>情報技術演習 I</li><li>システム設計演習</li></ul>	2 2 2 2							
	報通信技術	一礎 ザシステ	選択選択	前期	オペレーティングシステム	2		(削除)		後期	Ω クラウド	2				
		応用デ ・サマトワー	選択					<u>Ω ネットワーク構築 L</u>	2							
展開	グローバ	_			単位数 ● ビジネス英語実習 I ● ビジネス英語実習 I		前期	単位数  ② ビジネス英語実習Ⅲ  ② ビジネス英語実習Ⅳ	22 2 2		単位数	30		単位数	4	82
科	ーションュ		選択		単位数		後期	<ul><li>○ 英語ビジネスマネジメント</li><li>単位数</li></ul>	6		<ul><li>○ 実践英語:日本文化</li><li>○ 英語ディスカッション・ディベート</li><li>単位数</li></ul>		前期	<ul><li>○ 英語プレゼンテーション</li><li>○ 実践英語: IoT</li><li>○ 実践英語: イノベーション</li><li>単位数</li></ul>	2 2 2 6	
総合			必修		T 145 M			<b>干压</b> 从	- 0	後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
合科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数 <u>必修科目…科目名に●</u>	14	128

<u>必修科目…科目名に●</u> 選択必修科目…科目名に〇 選択科目…印なし



# [資料 12-②-1 履修モデル]

②-1 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発 プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

					1年			2年			3年		Π	4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修	_	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザイン I			● キャリアデザイン II	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズ I	2										
	現			後期	● リサーチ入門	2										
基礎	代			後期	● 英語コア・スキルズ II	2										
解科	社会	_														
科目	基		選択		○ 数学基礎A			<ul><li><u>O</u> 先端グローバル社会</li></ul>	2							
	礎			後期	○ 数学基礎C	2	後期	<u>O</u> 科学史	2							
					M 11 W			W II W	_		14 (1 4)			M 11 M		
			N Mr	<b>-</b> 44-₩0	単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
		Ľ	必修		● マネジメント(経営学基礎)	2										
		ジュ			● マーケティング基礎	2										
		ネス			<ul><li>● 法務リテラシー I</li><li>● アカウンティング入門</li></ul>	2										
		基	選択	1交州	■ アルウンティング人口		金行 世界		2			-				
		礎	JETN.				#U ##I	□ 4 - レーンヨン ヘ ミヤンノント	′							
	経	スビ	選択			1	前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
	営	応ジ	\						_							
		用ネ														
			必修									2	通期	<u>●</u> イノベーションプロジェクトVI	2	
		ジネ						■ ビジネスフィールドリサーチ I				12	ı			
職		ス		後期	■ スタートアップ基礎(起業論)	2						12				
業専門		実践					後期	■ ビジネスフィールドリサーチ II	2							
門科		シ	必修	前期	● プログラミング I	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
		基ム		前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習 I	2							
		盛ず		後期	● プログラミング 🏻	2	後期	● システム設計演習	2							
	情	ザ		後期	● ネットワーク技術	2										
	報通	イン	選択				後期	情報系数学応用B	2							
	信	デシ	選択			1	後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
	技術	応ザス	~~`						_		○ ビッグデータ	2				
	""	用イテ									(削除)					
		ンム	-22.10			<u> </u>	46. 110		<u> </u>						-	
		7 + 1	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習 I	2							
		7 # h - a 7 y l														
					単位数	24		単位数	26		単位数	30		単位数	2	82
	グ		必修	前期	● ビジネス英語実習 I	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
	ᅟㅁ			後期	● ビジネス英語実習 I (実習)	2	後期	● ビジネス英語実習IV	2							
展問	ケーバ	_														
開科	シル		選択					英語アカデミックリテラシー	l		○ 英語通訳論	2	後期	<u>〇</u> 英語ネゴシエーション	2	
目	3 7						後期	○ 実践英語:多文化理解	2		○ 実践英語:日本文化	2				
	ンミュ			Ш	M LL ML			M II at	_	後期	○ 実践英語:製造業	2		M II at		
643					単位数	4		単位数	8		単位数	6	т	単位数	2	20
総合和		_	必修			_				後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	39		合計単位数	39		合計単位数	8	128
										_				心攸到日…到日夕に€		

必修科目…科目名に● 選択必修科目…科目名に〇 選択科目…印なし



## [資料 12-②-2 履修モデル]

②-2 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履 修モデル

				1	1年		1	2年			3年		1	4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
П			必修	_	● イノベーションの志	2	-	キャリアデザイン I		後期	● キャリアデザイン II	平位 4	797	146.0	平位	平位
			92/195°		<u>■</u> スタディスキル	2	HU <del>JV</del> I	■ キャップテッコン 1	'	1支州	■ キャッチテッコンⅡ	'				
					▼ ベメノュヘモル ● 英語コア・スキルズ I	2										
	現					2										
æ					● リサーチ入門	2										
礎	代社	_		後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
基礎科目	会基	_	-98 HD	<del>26. H</del> 9	〇 對帶其群人		<del>26.</del> #8	○ 先端グローバル社会				+	-			$\vdash$
日	礎		选択		<ul><li>○ 数学基礎A</li><li>○ 数学基礎C</li></ul>		前期後期	○ 科学史	2							
	nc.			1支州	<u>○</u> 奴子基礎U	2	1支州	○科子史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
$\vdash$			必修	前州	<ul><li>▼ マネジメント(経営学基礎)</li></ul>	2		<b>平位</b> 数	J		+世級	_		平位数	·	20
		Ľ	2019	1 1	▼ マーケティング基礎	2										
		ジネ			■ 法務リテラシー I	2										
		イス			▼ 広場リアフレー1  ■ アカウンティング入門	2										
		基	選択	1久州	<u> </u>		前期	○ オペレーションズマネジメント	2							$\vdash$
		礎	JEE I/C				נסקנים	<u>0</u> % 10 030X (4.000)								
	経	スビ	選択			-	前期	○ 法務リテラシー II	2			+				$\vdash$
	営	応ジ							_							
		用ネ														
		Ľ	必修	前期	● イノベーションプロジェクト I	2	前期		2	通期	<u>●</u> イノベーションプロジェクトV	2	通期	<u>●</u> イノベーションプロジェクトVI	2	
		ジュ		後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチ I	2	前期	● インターンシップ I	12				
職		ネス		後期	● スタートアップ基礎(起業論)	2	後期		2	後期	● インターンシップ II	12				
業		実					後期	● ビジネスフィールドリサーチ 🏾	2							
職業専門科目		践														
科		シ	必修	前期	● プログラミング I (実習)	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
		テ		前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習 I	2							
		基ム礎デ		後期	● ブログラミング Ⅱ (実習)	2	後期	● システム設計演習	2							
	情	ザ		後期	● ネットワーク技術	2										
	報	1	選択							前期	情報系数学応用C	2				
	通信	ン														
	技		選択					<u>(削除)</u>					前期	○ スーパーコンピュータ	2	
	術	応ザス														
		用 イテ ンム														
		2 *	選択	H			前期	○ ネットワーク構築 I	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				$\vdash$
		7 4 1	251/				後期	ネットワーク構築Ⅱ	2	13773	110100111111111111111111111111111111111	_				
		7 4 1 4 9 9 1														
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
	グ		必修	前期	● ビジネス英語実習 I (実習)	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習 I (実習)	2	後期	● ビジネス英語実習IV	2							
展	ケー	_														
	バ シル		選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
目	∃ ⊐						後期	<u>〇</u> 実践英語:多文化理解	2	後期	○ 実践英語:日本文化	2				
	ンミ									後期	○ 実践英語:製造業	2				
	ュ				単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合		-	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
総合科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128
_														必枚封 日…封 日夕に●		

必修科目…科目名に● 選択必修科目…科目名に○ 選択科目…印なし



## [資料 12-③ 履修モデル]

③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
Ц,				期	科目名	単位		科目名	単位		科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修		● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザイン I	1	後期	● キャリアデザイン II	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズ I	2										
	現			後期	● リサーチ入門	2										
基	代			後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
礎科	社会	-														
目	基		選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	<ul><li><u>〇</u> 先端グローバル社会</li></ul>	2							
ш	礎				○ 数学基礎B	2										
					○ 数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
Ħ			必修	前期	● マネジメント(経営学基礎)	2		1-2			1 1100			1 = 2		
		Ľ	~		● マーケティング基礎	2										
		ジネ			<ul><li> <u>●</u> 法務リテラシー I</li></ul>	2										
		イス			<ul><li>■ バカラフランー 1</li><li>● アカウンティング入門</li></ul>	2										
		基	選択	极州	<u>•</u> 7 3000 7 400 7 A 1		1									
		礎	起扒				1					1			1	1
	ŀ	Ľ	選択			-	28. HR	○ ファイナンス入門	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
	経	応ジ	匙扒				192,797	0 3/4/32/2011			<u>〇</u> コーポレートファイナンス	2		忧伤云间 云间处理		
	営	用ネ								(X,70)	<u> </u>	_				
		ス														
		Ľ	必修	前期		2	前期		2	通期		2	通期	<b>●</b> イノベーションプロジェクトVI	2	
		ジ			<ul><li> イノベーションプロジェクト II</li></ul>			<u>●</u> ビジネスフィールドリサーチ I			■ インターンシップ I	12		1 <del>-</del>		
職		ネ			■ スタートアップ基礎(起業論)							12				
業		ス 実		DC 7V1	<u> </u>	_		<ul><li>■ ビジネスフィールドリサーチⅡ</li></ul>	2	×/V1	<u> </u>					
専門		践					DC /V.	2 2 7 7 7 7 7 7 7 7	_							
科		シ	必修	前期	プログラミング I	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス	~		● データ構造と処理法			● データベース	2							
		テ			<ul><li>■ コンピュータとソフトウェア基礎</li></ul>	2		● 情報技術演習 I	2							
		基ム			<ul><li>プログラミングⅡ</li></ul>	2		<ul><li>システム設計演習</li></ul>	2							
	44	礎デ			<ul><li></li></ul>	2	192,797	● フヘノム政司演員	2							
	情報	ザイ	選択	1久州1	<u> </u>		<del>atr</del> HB	O モバイルサービス概論	2						+	
	通	ン	进扒				BU AN	<u>し モバイルリーとス依論</u>	2							
	信	<b>→</b> \	-42 +C				with HE	○ Webシステム演習	2							
	技	デシ 応ザス	进扒				Bij AVI	<u>U</u> Webシステム演首	2							
	術	用イテ														
		ンム														
		9 ÷	選択				後期	<ul><li><u> 情報セキュリティ演習 I</u></li></ul>	2							
		7 4 1														
		9 1														
					単位数	24	_	単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
	グ		必修		<ul><li>● ビジネス英語実習 I</li></ul>			● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	<ul><li><u>●</u> ビジネス英語実習 II</li></ul>	2	後期	● ビジネス英語実習IV	2							
	ケー	_														
	シル		選択				後期	O 英語ビジネスマネジメント	2	後期	英語ディスカッション・ディベート	2		<u>〇</u> 実践英語:ファイナンス	2	
目	∃ ⊐						後期	○ 実践英語:多文化理解	2			1	前期	O 英語プレゼンテーション	2	1
	ンミ												後期	O 英語ネゴシェーション	2	
	ュ				単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
-1					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に● 選択必修科目…科目名に○ 選択科目…印なし

# | 日 | [資料 12-① 履修モデル]

① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	·	単位	期	科目名	単位	期		単位	期	科目名	単位	単位
			必修		イノベーションの志			キャリアデザイン I			キャリアデザイン II	1	1			
					スタディスキル	2										
					英語コア・スキルズ [	2										
					リサーチ入門	2										
#	現															
基礎科	代 社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2										
科	会	_				<u> </u>						_	1			<b>↓</b>
目	基礎		選択		数学基礎A			職業倫理	2							
	~			後期	数学基礎B	2	後期	ICTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
			心修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2		平 位 奴	3		<b>平</b> 位数	+-'		<b>丰</b> 世数	0	20
		Ę	יפיו יש		マーケティング基礎	2										
		ジ				2										
		ネス			法務リテラシー I											
		<u>*</u>		後期	アカウンティング基礎	2						_	1			<b>↓</b>
		礎	選択													
		ť	選択			+	前押	マーケティング応用	2	经即	イノベーション特論	-	新炉	クロステックビジネスデザイン	2	$\vdash$
	経	ジ	251/					問題形成と問題解決	2		17. V 232 17 mm			デザインと経営	2	
	営	用ネス					EX.701	INDENTIFICATION OF THE PARTY OF					Hilloon	7 7 12 CATE	_	
		応														
		ť	必修	前期	イノベーションプロジェクト I	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
		ジ		後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチ I	2	前期	インターンシップ I	12				
職		ネ			スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトⅣ			インターンシップ Ⅱ	12				
業		ス実		152,701	ハア 「アフン 巫旋(起来論)			ビジネスフィールドリサーチェ	2		127 2277 1	'-	1			
業専門科		践					EX 7VI	2545054 701 77 7 1	-							
科		シ	必修	前期	プログラミング I	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
目		ステ		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
		<u>ب</u>		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習 I	2							
		デ			プログラミング 🏻		ı	システム設計演習	2							
	情	ザイ			ネットワーク技術	2			_							
	報	ン	選択	52,771	(追記)	Ť	前期	モバイルサービス概論	2				1			1
	通	基礎			· <del></del>											
	信技	ザシ	選択							後期	クラウド	2	!			
	術	イスンテ														
		応ム														
		用デ	~88≠m			-		('A@7)	_			-	<b>!</b>			₩
		7 + h	選択					(追記)								
		7 + 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
					単位数	24		単位数	22		単位数	30	)	単位数	6	82
	グ		必修	前期	ビジネス英語実習 I	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ	2				1			
				後期	ビジネス英語実習 Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2				1			
展開	ケー	_														<u> </u>
科	シル		選択				後期	英語ビジネスマネジメント	2	前期	<u>英語通訳論</u>	2	前期	英語プレゼンテーション	2	
目	3 7					1				後期	英語ディスカッション・ディベート	2	前期	実践英語:IoT	2	
	ンミ												後期	実践英語:イノベーション	2	
	그				単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
合科目																
目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
$\vdash$					合計単位数	42		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	16	128
					ᆸᇚᆍᄖᄍ	42		山町平世数	33		山川平世数	3/		ᆸᇚᆍᄧᄍ	10	128

# 

②-1 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発 プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザイン I	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
					英語コア・スキルズ [	2										
	現				リサーチ入門	2										
其	現代					_										
基礎科目	社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2										
科	숲	_														
目	基		選択		数学基礎A			先端グローバル社会	2							
	礎			後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
		,	必修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2										
		ビジ		前期	マーケティング基礎	2										
		ネ		後期	法務リテラシー I	2										
		ス			アカウンティング基礎	2										
		基	選択	100,791	77372 712 7 EME	_	前畑	オペレーションズマネジメント	2			-				
		礎	221/				נטקנים	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								
	経	スビ	選択				<b>後期</b>	組織行動論	2			-				
	営	応ジ	251/				12,791	<u>*0.488.1.1.201.000.</u>								
	_	用ネ														
			心体	前期	イノベーションプロジェクト I	2	新期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	滿曲	イノベーションプロジェクトⅤ	2	滿畑	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
		ジ	2C) 1199		イノベーションプロジェクト II			「「ジネスフィールドリサーチ I (実習)			インターンシップ I (実習)	12		17.4 23226217171		
		ネ														
職		ス		伎别	スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトⅣ	2	伎别	インターンシップ Ⅱ (実習)	12				
業		実					後期	ビジネスフィールドリサーチ Ⅱ (実習)	2							
職業専門科		践														
科		シ	必修	前期	プログラミング I (実習)			ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
		テ		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習 I	2							
		基ム礎デ		後期	プログラミングⅡ(実習)	2	後期	システム設計演習	2							
	情	促げ		後期	ネットワーク技術	2										
	報		選択				後期	情報系数学応用B	2							
	通	ン	~					17187138 7 70713								
	信	デシ	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
	技術	応ザス	221/				(X,70)	旧報ンハノムのフロフェブ! 自生		後期		2				
	1419	用イテ									ビッグデータ	2				
		ンム														
		9 A 2 7	選択					(追記)								
		7 + h / 1 7 1 1														
		9 1														
					単位数	24		単位数	24		単位数	32		単位数	2	82
	グ		必修	前期	ビジネス英語実習 I (実習)	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ(実習)	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ(実習)	2	後期	ビジネス英語実習IV(実習)	2							
展	ケー ーバ															
展開科目	1 13	_	選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
科	シル		~==,(					実践英語:多文化理解			実践英語:日本文化	2			١ ١	
	ョコンミ						汉州	へぬへ品・タヘル生所			実践英語:製造業	2				
	_ ユ				単位数	4		単位数	8		美线央語: 製垣未 単位数	6		単位数	2	20
411					干世数	4		干以数	- 8		干以双	0		干世数		20
総合科目		-	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	41		合計単位数	8	128
														(追記)		

# |日| [資料 12-②-2 履修モデル]

②-2 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履 修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修		イノベーションの志	2		キャリアデザイン I	1		キャリアデザインⅡ	1	///	11 11 11	T 144	- I
			2015		スタディスキル	2	133703	( ( ) ) )   - 1		150,701	(()),,,,,,,	1 '				
					英語コア・スキルズ I	2										
	***			ı		_										
基	現代				リサーチ入門	2										
礎	社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2										
科	会	-														
目	基		選択	前期	数学基礎A		前期	先端グローバル社会	2							
	礎			後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
			必修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2										
		ビジ		前期	マーケティング基礎	2										
		ネ			法務リテラシー I	2										
		ス			アカウンティング基礎	2										
		基	選択	EX 793	7 ガラン 7 1 2 7 基ル		前期	オペレーションズマネジメント	2							
		礎	AZ IV				נטלנים	3 10 7377 (1.775)	_							
	経	スピ	選択					(追記)				1				
	営	応ジ	AE IV					<u>\\\</u>								
		用ネ														
		Ľ	心修	前期	イノベーションプロジェクト I	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトVI	2	
		ジ	2015		イノベーションプロジェクトⅡ			ビジネスフィールドリサーチ I (実習)			インターンシップ I (実習)	12	X27V1	12 . 22222211	-	
		ネ			スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトIV			インターンシップ I (実習)					
職		ス		仮州	スタートアツノ参旋(起来調)	2	後期			仮州	1フターフンツノ 1(美質)	12				
業専		実					後期	ビジネスフィールドリサーチ Ⅱ (実習)	2							
門		践														
科		シ	必修		プログラミング I (実習)		前期	ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
		テ 基 ム		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習I	2							
		礎デ		後期	プログラミング Ⅱ (実習)	2	後期	システム設計演習	2							
	情	ザ		後期	ネットワーク技術	2										
	報	1	選択				後期	情報系数学応用B	2	前期	情報系数学応用C	2				
	通信	ン														
	信 技	デシ	選択										前期	スーパーコンピュータ	2	
	術	応ザス														
		用イテ														
		ンム														
		2 * ± 7	選択				前期	ネットワーク構築 I	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
		7 + h					後期	ネットワーク構築 Ⅱ	2							
		9 1			W 11 W			W // W			W 11 W					
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
	グ		必修		ビジネス英語実習 I (実習)		前期	ビジネス英語実習Ⅲ(実習)	2							
_	= -			後期	ビジネス英語実習 Ⅱ (実習)	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ(実習)	2							
展開	ケー															
用科	シル		選択			1	前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
目	3 7						後期	実践英語:多文化理解	2	後期	実践英語:日本文化	2				
	ンミ									後期	実践英語:製造業	2				
	ュ				単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総										44.440				40 4		
松合		_	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
科																
目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		△-1-13 /-> 3h	10	120
					口川平山数	42		口引手过数	37		口町平位数	39		合計単位数	10	128

# |日| [資料 12-3 履修モデル]

③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年	1
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名 単位	単位
			必修		イノベーションの志	2		キャリアデザイン I	1		キャリアデザイン II	1	791	1400 +0	
			Z. PS		スタディスキル	2	נשכנים	1 ( ) ) ) ) 1 2 1		(X,7V)	1 ( )) ) ) 1 D II	· ·			
					英語コア・スキルズ [	2									
	現				リサーチ入門										
基	代					2									
礎	社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2									
礎科	会	_													
目	基		選択		数学基礎A		前期	先端グローバル社会	2						
	礎				数学基礎B	2									
				後期	数学基礎C	2									
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0 20
		Ľ	必修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2									
		ジ		前期	マーケティング基礎	2									
		ネ		後期	法務リテラシー I	2									
		ス		後期	アカウンティング基礎	2									
		基礎	選択												
		WE													
	経	Ľ	選択					アカウンティング応用			地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2
	営	応ジ					後期	ファイナンス入門	2	後期	コーポレートファイナンス	2			
		用ネス													
		Ľ	必修		イノベーションプロジェクト I			イノベーションプロジェクトⅢ			イノベーションプロジェクトⅤ			イノベーションプロジェクトVI	2
		ジネ			イノベーションプロジェクトⅡ			ビジネスフィールドリサーチ I			インターンシップ I	12			
職		ス		後期	スタートアップ基礎(起業論)	2		イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップ Ⅱ	12			
未		実					後期	ビジネスフィールドリサーチ Ⅱ	2						
業専門科		践													
		シ	必修	前期	プログラミング I	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2						
目		ス		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2						
		<del>7</del>		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習 I	2						
		基ム礎デ		後期	プログラミング II	2	後期	システム設計演習	2						
	恄	従 ザ		後期	ネットワーク技術	2									
	報	1	選択												
	通	ン													
	信技	デシ	選択				前期	Webシステム演習	2						
	術	応ザス						インタラクティブ・システムデザイン	2						
		用イテ													
		ンム													
		2 + + + +	選択					(追記)							
		4 5 7 9 1													
		9 1			226 84, 366			224 / L WE			326 FT WE	00		204 FT 10E	
			31.16	-46-445	単位数	24	-46-447	単位数	24		単位数	30		単位数	4 82
	グ		必修		ビジネス英語実習Ⅰ			ビジネス英語実習皿	2						
雇	ニロケー			後期	ビジネス英語実習 Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2						
展開	リバ	-	NR II			<u> </u>	10 H-	######################################		66 Hm	###			chabites a color	-
科	シル		選択					英語ビジネスマネジメント		<b>伎</b> 期	英語ディスカッション・ディベート	2		XMXIII.271727	2
目	3 7						後期	実践英語:多文化理解	2					英語プレゼンテーション	2
	ンミュ												後期	7001-7	2
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6 20
総合			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4 6
					A SI W IL WI	-		A SI W AL WL						A = 1 × 1 × 1	465
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数 1-	4 128

(追記)

(新旧対照表) 別紙 3 (設置の趣旨等を記載した書類 資料 19 カリキュラムマップ)

	1
77	1
$\pm \pi$	1
$\Delta \mathcal{N} \mathbf{I}$	1
	ı

	実習室①		演習室①	オイン	演習室3			貝 1寸	演習室⑦		デリ (円リク 演習室⑨	演習室⑩ 講義室①	講義室(2)	講義室(3)	講義室④	講義室(5)	講義室⑥	講義:
1	1年 【実習】 プログラミング	1年 【実習】 ビジネス英語										1年 【講義】 数学基礎A (機)	2年 【演習】 データベース (片桐)					
2	Jログラミング I (寺脇)	実習 I (Hug)									4年 【演習】 実践英語:IoT (市川)	1年 【講義】 数学基礎A (磯)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 【講義】 職業倫理 (小林美)			2年 【講義】 アカウンティン グ広用 (中嶋)	
3	1年 【実習】 プログラミング	1年 【実習】 ビジネス英語									4年 【演習】 英語プレゼン テーション (佐伯)	1年 【講義】 数学基礎A (機)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 【講義】 先端グローバ ル社会 (小林久)		3年(4-5月の み) 【講義】	2年 【議義】 アカウンティン グ応用 (中嶋)	
4	Jロッラミンク I (寺脇)	実習 I (Hug)		1年 【演習】 オペレーティ ングシステム (井澤)							4年 【演習】 実践英語: ファイナンス (佐伯)	1年 【講義】 数学基礎A (級)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 【講義】 情報系数学応 用A (落合)		英語通訳論 (阿部川)		
5	1年 【実習】 プログラミング	1年 【実習】 ビジネス英語		1年 【演習】 オペレーティ ングシステム (井澤)			4年 【演習】 総合実践演習 (川上)	4年 【演習】 総合実践演習 (難波)	4年 【演習】 総合実践演習 (江端)	4年 【演習】 総合実践演習 (志村)		1年 [講義] 数学基礎A (機)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 【講義】 情報系数学応 用A (落合)				
6	プログラミング I (寺脇)	ビジネス英語 実習 I (阿部川)		V///										V# H7				
1	1年 【実習】 プログラミング	1年 【実習】 ビジネス英語																
2	Jログラミング I (寺脇)	実習Ⅰ(藤井)					3年(4-5月) 【演習】 イノベーション プロジェクトV (川上)	3年(4-5月) 【演習】 イノベーション プロジェクトV (久米)	3年(4-5月) 【演習】 イノベーション プロジェクト V (志村)	3年(4-5月) 【演習】 イノベーション プロジェクト V (乗浜)	3年(4-5月) 【演習】 イノベーション プロジェクト V (松村)			2年 【講義】 マーケティン グ応用 (富澤)				
3	1年 [実習]	1年 [実習]					4年 【演習】 イノベーション ブロジェクトVI (川上)	4年 【演習】 イノベーション プロジェクトVI (久米)	4年 【演習】 イノベーション	4年 【演習】 イノベーション プロジェクトVI (乗浜)	4年 【演習】 イノベーション プロジェクト VI (松村)		2年 【講義】 オペレーション ズマネジメント (三澤)	2年 【議義】 法務リテラ シーⅡ (境)		3年(4-5月の み) 【講義】		
4	プログラミング I (寺脇)	ビジネス英語 実習 I (Hug)					2年 【演習】 イノベーション プロジェクトⅢ (川上)	2年 【演習】 イノベーション プロジェクトⅢ (久米)	2年 【演習】	2年 [演習]	2年 【演習】 イノベーション プロジェクトⅢ (松村)		(=/#/	3282		情報系数学応 用C (落合)		
5					2年 【演習】 インタラクティ ブシステムデ ザイン	3年(4-5月の み) 【講義】	1年 【演習】 イノベーション プロジェクト I	1年 【演習】 イノベーション プロジェクト I (久米)	1年 【演習】 イノベーション プロジェクト I	1年 【演習】 イノベーション プロジェクト I (乗浜)	1年 【演習】 イノベーション プロジェクト I (松村)			2年 【講義】 法務リテラ シーII (境)		3年(4-5月の み) 【講義】		
6					(4)原)	モデル化と要 求事項 (寺脇)	(JII.E)	(2/4)	(志村)	(##/	(44)			(項)		ビジネスゲー ムによる経営 意思決定	4年 【講義】 新興市場にお ける事業開発 (志村)	
1		2年						3年(4-5月のみ)				1年 【講義】 スタディスキ	1年 【講義】 マーケティン グ基礎				(84)	
2		ビジネス英語 実習皿 (阿部川)			2年 【演習】 Webシステム 演習 (落合)			【演習】 情報技術演習 Ⅱ (鎌谷)		4年 【演習】 AI (Adrian、落		(加藤) 1年 【講義】 スタディスキ ル	(富澤) 1年 【講義】 マーケティン グ基礎	2年 【講義】 職業倫理 (小林美)				
3		2年			(落合)	2年 【演習】 ネットワーク構 築 I				合)		(加藤) 1年 【講義】 スタディスキ ル	(富澤) 1年 [講義] マーケティン グ基礎	2年 【講義】 先端グローバ ル社会		3年(4-5月の	4年 【講義】 デザインと経 営	
4		【実習】 ビジネス英語 実習Ⅲ (Hug)				(山内) 2年 【演習】 ネットワーク構 签工	2年 【演習】 ソフトウェア設 計・構築					(加藤) 1年 【講義】 スタディスキ ル (加藤)	(富澤) 1年 【講義】 マーケティン グ基礎	(小林久)		み) 【講義】 英語通訳論 (阿部川)	(小林久) マキ 【講義】 クロステックビ ジネスデザイ	
5		2年				(山内)	(桐谷) 2年 【演習】 ソフトウェア設 計・構築	4年 【演習】 総合実践演習 (寺臨)	4年 【演習】 総合実践演習 (平山)	4年 【演習】 総合実践演習 (久米)	4年 【演習】 総合実践演習 (三遷)	1年 【講義】 スタディスキ ル	(富澤) 1年 【講義】 マーケティン ダ基礎	3年(4-5月の み)		3年(4-5月の	(##)	
6		「実習】 ビジネス英語 実習皿 (Hug)					(桐谷) 4年 【演習】	4年 【演習】 総合実践演習 (富澤)	4年 【演習】	4年 【演習】	4年 【演習】 総合実践演習 (加藤)	(加藤)	(富澤)	【講義】 情報系数学応 用C (落合)		み) 【講義】 英語通訳論 (阿部川)		
1							2年 【演習】	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー		(7199)	(Auge)	「井 【講義】 マネジメント (経営学基 役)	「井 【講義】 コンピュータと ソフトウェア基 礎			3年(4-5月の み) 【演習】		
2						2年 【演習】 ネットワーク機 筆 I	(桐谷) 2年 【演習】 ソフトウェア設 計・構築	(奥村) 2年 【演習】 英語アカデミッ ク・リテラシー	,	4年 【演習】 スーパーコン ビュータ	4年 【演習】 英語プレゼン テーション	でディー (講義) マネジメント (経営学基礎)	7年 【講義】 コンピュータと ソフトウェア基 礎			【演習】 情報セキュリ ティ演習Ⅱ (平山)		
3						(山内) 3年(4-5月の み)	(桐谷) 2年 【演習】 ソフトウェア設 計・構築	(奥村) 2年 【演習】 夢語アカデミッ	,	(堀田) 4年 【演習】 実践英語:IoT	(佐伯) 4年 【演習】 実践英語: ファイナンス (佐伯)	<del>「丁草)</del> 【講義】 マネジメント (経営学基	「講義」 「講義」 コンピュータと ソフトウェア基					
4						み) 【演習】 ネットワーク構 築皿 (山内)	2年 [実習]	ク・リテラシー (奥村) 2年 【実習】	2年	2年 [実習]	2年	提) 「清義」 マネジメント (経営学基	様 「行字」 【講義】 コンピュータと ソフトウェア基					
5							ビジネスフィー ルドリサーチ I (川上)	ビジネスフィー	- ビジネスフィー	ビジネスフィー ルドリサーチ I (秦浜)	ビジネスフィー ルドリサーチ I (松村)	礎) 「平 【講義】 マネジメント (経営学基	礎 「甲草」 【講義】 コンピュータと ソフトウェア基			3年(4-5月の み)		
6												· 礎)	礎			【講義】 人的資源管理 論 (青田)		
1		2年 [皇帝]	1年 【演習】 データ構造と 処理法	1年 【演習】 英語コア・ス キルズ I			3年(4-5月の み)		Para de la constanta de la con		4年 【演習】 実践英語:IoT (市川)	1年 【講義】 イノベーション の志	2年 【講義】 キャリアデザ イン I					
2		「実習】 ビジネス英語 実習皿 (藤井)	(片桐) 1年 【演習】 データ構造と 処理法	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・ス キルズ I			【演習】 実践英語:日 本文化 (市川)				(市川) 4年 【演習】 英語プレゼン テーション (佐伯)	(中村) 1年 【講義】 イノベーション の志	(富澤) 2年 [講義] キャリアデザ イン I (富澤)					
3		2年	(片桐) 1年 【演習】 データ構造と 処理法	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・ス キルズ I			3年(4-5月の み)				(佐伯) 4年 【演習】 実践英語: ファイナンス	(中村) 1年 【講義】 イノベーション の志	(富澤) 2年 【講義】 キャリアデザ イン I			3年(4-5月の み)		_
4		【実習】 ビジネス英語 実習皿 (Joe)	(片相) 1年 【演習】 データ構造と 処理法	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・ス キルズ I			【演習】 実践英語:日 本文化 (市川)				(佐伯)	(中村) 1年 【講義】 イノベーション の志	(富澤) 2年 [講義] キャリアデザ イン I	2年 【講義】 モバイルサー ビス概論		【講義】 ソフトウェアプ ロセスと品質 (寺脇)		
5			が (片桐) 1年 【演習】 データ構造と 処理法	ギルス I (奥村) 1年 【演習】 英語コア・ス キルズ I			3年(4-5月の み)	4年 【演習】 総合実践演習		4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習	(中村) 1年 【講義】 イノベーション の志	インI (富澤) 2年 【講義】 キャリアデザ イン I	と (機) 2年 【講義】 モバイルサー ビス概論				
6			処理法 (片相)	キルス I (奥村)			(東選英語:日本文化 (市川)	(鎌谷)	(堀田)	(落合)	(桐谷)	の志 (中村)	(富澤)	(磯)				
1 2						3年 【実習】 インターンシッ	3年 【実習】 インターンシッ	3年 【実習】 インターンシッ	3年 【実習】 インターンシッ	3年 【実習】 インターンシッ								
3 4 5						インターンシッ ブ I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月) (富澤)		インターンシッ ブI 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)	インターンシッ ブ I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)	インターンシッ ブ I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)								

資料 15 時間割(前期)

		実習室①	実習室②	(日リブダ)	演習室②	演習室(3)	演習室(4)	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室(8)	演習室(9)	演習室印	講義室①	講義室②	講義室(3)	講義室(4)	講義室(5)	講義室⑥	IEM/S
旧	1	T ABEU I	1年 [実習]	1 der	ABEC	ADES	ADES	ABES	ABES	ABEU	ABES	AGES	A02.0	1年 [講義] 数学基礎A (機)	2年 【演習】 データベース (片桐)	MAES/	Mark E.O.	MAEO	SAME 0	88 W.J
	2		【共言】 プログラミング I (寺脇)	「実習】 ビジネス英語実 習 I (Hug)								4年 【演習】 実践英語:IoT (市川)		1年 [講義] 数学基礎A (機)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 【講義】 職業倫理 (小林美)			(SB182)	
	3		1年 [実習]	1# (##)								4年 【演習】 英語プレゼン テーション (佐伯)		1年 [講義] 数学基礎A (礎)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 【講義】 先頭グローバル 社会 (小林久)		3年(4-5月の	(SB#2)	
Я	4		【実習】 プログラミング I (寺服)	[実習] ビジネス英語実 習 I (Hug)	1年 【演習】 オペレーティング システム							(佐伯) 4年 【演習】 実践英語:ファイ ナンス (佐伯)		1年 [講義] 数学基礎A (機)	2年 【演習】 データベース (片桐)	2年 [講義] 情報系数学応用		み) 【講義】 英語通訳論 (阿部川)		
	5		1#	1年	(井澤) 1年 [演習] オペレーティング システム (井澤)			4年 【演習】 総合実践演習	4年 [演習] 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習 (志村)	(佐伯)		1年 [演義] 数学基礎A	2年 [演習] データベース (片桐)	(落合) 2年 [講義] 情報系数学応用 A				
			「実習】 プログラミング I (寺脇)	【実習】 ビジネス英語実 習 I (阿部川)	(井澤)			(HE)	(難波)	(江州)	(84)			(磯)	(Area)	A (落合)				
	,			1年																
			1年 【実習】 プログラミング I (寺藤)	「実習】 ビジネス英語実 習 I (藤井)				3年(4-5月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクト V	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションプ ロジェクトV				2年 【講義】 マーケティング 応用 (富澤)				
								(川上) 4年 【演習】 イノベーションブ ロジェクトVI	(久米) 4年 【演習】 イバーションブ ロジェクトVI	(志村) 4年 【演習】 イノベーションブ ロジェクトVI	(業浜) 4年 【演習】 イノベーションブ ロジェクトVI	(松村)  4年  【演習】 イノベーションプ ロジェクトVI			2年 【講義】 オペレーションズ マネジメント	(選擇)		3年(4-5月の		
*	- 4		1年 【実習】 プログラミング I (寺脇)	年 【実習】 ビジネス英語実 習 I (Hug)				2年 [演習]	(久米) 2年 [濟習]	(志村) 2年 [海管]	(栗浜) 2年 [湾晋]	(松村) 2年 [溶管]			マネジメント (三澤)			み) 【講義】 情報系数学応用 C (落合)		
	- 5					2年 【演習】 インタラクティブ システムデザイ	3年(4-5月の	イノベーションブ ロジェクトⅢ (川上) 1年 【演習】 イノベーションブ	イノベーションブ ロジェクト目 (久米) 1年 【演習】 イノベーションブ	イノベーションブ ロジェクトⅢ (志村) 1年 【演習】 イノベーションブ	イノベーションブ ロジェクトⅢ (業派) 1年 【演習】 イノベーションブ	イノベーションブ ロジェクト目 (松村) 1年 【演習】 イノベーションブ				2年 【講義】 法務リテラシー		3年(4-5月の		
	- 6					システムデザイ ン (井澤)	3年(4-5月0) み) 【講義】 モデル化と要求 事項 (寺脇)	イノベーションブ ロジェクト I (川上)	イノベーションブ ロジェクト I (久米)	イノベーションブ ロジェクト I (志村)	イノベーションブ ロジェクト I (業浜)	【演習】 イパーションブ ロジェクト I (松村)				法務リテラシー Ⅱ (境)		み) 【講義】 ビジネスゲーム による経営意思 決定 (寺裏)	4年 【講義】 新興市場におけ	
	-													1年 [講義]	1年			(1986)	る事業開発 (忠村)	
	-	t	2年 【実習】 ビジネス英語実 習皿 (阿郎川)			2年			3年(4-5月の み) 【演習】 情報技術演習Ⅱ (鎌谷)		4年			スタディスキル (加藤)	マーケティング 基礎 (富澤) 1年 [講義]	2年				
	2					「漢智】 Webシステム漢 習 (落合)	2年 【演習】 ネットワーク構築				AI (Adrian、落合)			スタディスキル (加藤) 1年 【講義】	マーケティング 基礎 (富澤) 1年 [講義] マーケティング	職業倫理 (小林美) 2年 [講義] 先端グローバル			4#	
3	3		2年 【実習】 ビジネス英語実 習皿 (Hug)				ネットワーク構築 I (山内)	2年						【講義】 スタディスキル (加藤) 1年 【講義】	マーケティング 基礎 (富澤) 1年 【講義】	先端グローバル 社会 (小林久)		3年(4-5月の み) 【講義】 英語通訳論 (阿部川)	4年 【講義】 デザインと経営 (小林久) 4年 【講義】	
	4		(Hug)				(S\$&)	ソフトウェア設計・構築 (桐谷)	4年	4年	4年	4年		スタディスキル (加藤)	マーケティング 基礎 (富澤)			(Incompany)	(研報) クロステックビジ ネスデザイン (藤森)	
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実 習皿					(演習) ソフトウェア投 計・横築 (桐谷)	【演習】 総合実践演習 (寺脇)	【演習】 総合実践演習 (平山)	【演習】 総合実践演習 (久米)	【演習】 総合実践演習 (三澤)		【講義】 スタディスキル (加藤)	【講義】 マーケティング 基礎 (富澤)	3年(4-5月の み) 【講義】 情報系数学応用		3年(4-5月の み) 【講義】 英語通訳論		
	6		習道 (Hug)					4年 【演習】 総合実践演習 (中嶋)	4年 【演習】 総合実践演習 (富澤)	4年 【演習】 総合実践演習 (礎)	4年 【演習】 総合実践演習 (片桐)	4年 [演習] 総合実践演習 (加藤)		1年	1 60	C (落合)		英語通訳論 (阿部川)		
	1							【演習】 ソフトウェア設 計・構築 (桐谷)	【演習】 英語アカデミッ ク・リテラシー (奥村)					【講義】 マネジメント(経 営学基礎) (三滞)	1年 【講義】 コンピュータとソ フトウェア基礎 (堀田)			3年(4-5月の み) 【演習】 情報セキュリティ		
	2						(38金)	2年 【演習】 ソフトウェア設 計・構築 (棚谷)	2年 【演習】 英語アカデミッ ク・リテラシー (奥村)		4年 【演習】 スーパーコン ビュータ (堀田)	4年 【演習】 英語プレゼン テーション (佐伯)	-	1年 【講義】 マネジメント(経 営学基礎) (三澤)	1年 【講義】 コンピュータとソ フトウェア基礎 (堀田)			情報セキュリティ 演習 II (平山)		
*	3						3年(4-5月の み) 【演習】	2年 【演習】 ソフトウェア設 計・構築 (桐谷)	2年 【演習】 英語アカデミッ ク・リテラシー (奥村)		4年 【演習】 実践英語:IoT (市川)	4年 【演習】 実践英語:ファイ ナンス (佐伯)		1年 【講義】 マネジメント(経 営学基礎) (三澤)	1年 【講義】 コンピュータとソ フトウェア基礎 (堀田)					
	4						ネットワーク構築 Ⅲ (山内)	2年 【実習】 ビジネスフィール	2年 【実習】 ビジネスフィール	2年 【実習】 ビジネスフィール	2年 【実習】 ビジネスフィール	2年 【実習】 ビジネスフィール -	-	1年 【講義】 マネジメント(経 営学基礎) (三澤)	1年 【講義】 コンピュータとソ フトウェア基礎 (堀田)					
	5							(川上)	ドリサーチ I (久米)	ドリサーチ I (各務)	ドリサーチ I (衆浜)	ドリサーチ I (松村)		1年 【講義】 マネジメント(経 営学基礎) (三澤)	1年 【講義】 コンピュータとソ フトウェア基礎 (堀田)			3年(4-5月の み) [講義]		
	6															2年 【講義】 アカウンティング 応用 (中嶋)		【講義】 人的資源管理論 (青田)		
	,	1	2年 【実習】 ビジネス英語実	1年 【演習】 データ構造と処 理法 (片桐)	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ I (奥村)			3年(4-5月の み) 【演習】				4年 【演習】 実践英語:IoT (市川)		1年 【講義】 イノベーションの 志 (中村)	2年 【講義】 キャリアデザイン I (富澤)					
	2		ビジネス英語実 習皿 (藤井)	1年 【演習】 データ構造と処 理法 (片桐)	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ I (奥村)			(漢智) 実践英語:日本 文化 (市川)				4年 【演習】 英語プレゼン テーション (佐伯)		1年 【講義】 イノベーションの 志 (中村)	2年 【講義】 キャリアデザイン 【 (富澤)					
	3		2年 [実習]	1年 【演習】 データ構造と処 理法	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ I (奥村)			3年(4-5月の				(佐伯) 4年 【演習】 実践英語:ファイ ナンス (佐伯)		1年 【講義】 イノベーションの 志	2年 【講義】 キャリアデザイン I			3年(4-5月の み)		
*	4	t	【実習】 ビジネス英語実 習皿 (Joe)	(片桐) 1年 [演習] データ構造と処 理法 (片桐)	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ I (奥村)			み) 【演習】 実践英語:日本 文化 (市川)				(佐伯)		(中村) 1年 【講義】 イノベーションの 志 (中村)	(富澤) 2年 【講義】 キャリアデザイン I (富澤)	2年 【講義】 モバイルサービ ス概論 (磯)		み) 【講義】 ソフトウェアプロ セスと品質 (寺脇)		
	5			(片桐) 1年 【演習】 データ構造と処 理法	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ I			3年(4-5月の	4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習 (福田)	4年 [演習] 総合実践演習 (落合)	4年 【演習】 総合実践演習		(中村) 1年 【講義】 イノベーションの 志	(富澤) 2年 【講義】 キャリアデザイン 【	2年 【講義】 モバイルサービ ス概論				
	6			現法 (片桐)	(奥村)			み) 【演習】 実践英語:日本 文化 (市川)	(鎌谷)	(糧田)	(落合)	(桐谷)		(中村)	(富澤)	(確)				
	1 2						3年 【実習】	3年 【実習】	3年 【実習】 インターンシップ	3年 【実習】	3年 【実習】 インターンシップ									
±	3						I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)	インターンシッフ I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)	I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)	インターンシップ I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)	I 事前指導(4-5 月) 事後指導(8月)									
	6						(富澤)	(久米)	(井澤)	(加藤)	(山内)									

t	_
Υ.	┢
办	Ή.

	_	実習室①	実習室②	###O	演習室②	演習室(3)	演習室④	演習室(5)	演習室(6)	演習室⑦	演習室(8)	演習室⑨	演習室的	講義室①	講義室②	講義室③	講義堂④	講義室(5)	講義室⑤	講義室⑦
		1年 (中級)	1年		2年 【演習】 英語ビジネス マネジメント	2年 【演習】 情報技術演習 I	3年(12-1月の み) 【演習】英語	3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の	4年 【演習】 英語ネゴシ エーション								
		【実習】 プログラミング II (寺脇)	【実習】 ビジネス英語 実習 I (Hug)		(阿部川) 2年 【演習】 英語ビジネス マネジメント	(鎌谷) 2年 【演習】 情報技術演習 I	【演習】英語 ディスカッショ ン・ディベート (市川)	み) 【演習】 総合理論演習 (江城)	み) 【演習】 総合理論演習 (川上)	み) 【演習】 総合理論演習 (難波)	<u>み)</u> 【清智】 ピッグデータ (落合、加藤)	(佐伯) 4年 【演習】 英語ネゴシ エーション (佐伯)			3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイ ンⅡ					
		3 1年	1年		(阿部川) 2年 【演習】 英米文学演習 (阿部川)	(鎌谷) 2年 【演習】 情報技術演習 I	3年(12-1月の み)	3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の			(富澤) 3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイ ンⅡ					
	я	【実習】 プログラミング II (寺脇)	【実習】 ビジネス英語 実習 II (Hug)		(РДДЛП)	(鎌谷) 2年 【演習】 情報技術演習	み) 【演習】 実践英語:製 遊業 (佐伯)	み) 【演習】 総合理論演習 (片桐)	み) 【演習】 総合理論演習 (志村)	み) 【演習】 総合理論演習 (富澤)	み) 【演習】 総合理論演習 (三澤)	<u>み)</u> 【演習】 クラウド (各務)			(富澤)	2年 【講義】 科学史				
	-	5 1年	1年			(鎌谷) 2年 【演習】 情報技術演習		4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習				3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイ	(大和) 2年 【講義】 科学史				
	ŀ	【実習】 プログラミング II (寺脇)	【実習】 ビジネス英語 実習Ⅱ (阿部川)			(鎌谷)		(川上)	総合実践演習 (難波)	総合実践演習 (江塘)	総合実践演習 (志村)				ンII (富澤)	科学史 (大和)				
		1 1/5	1年			2年 【演習】 実践英語:多									2年 【講義】 情報システム のプロジェクト					
	-	1年 【実習】 プログラミング II (寺脇)	【実習】 ビジネス英語 実習 II (藤井)			文化理解 (市川) 2年 【演習】 問題形成と問 題解決		3年(12-1月) 【演習】 イノベーション ブロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーション ブロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーション ブロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーション プロジェクト V	3年(12-1月) 【演習】 イノベーション プロジェクト V		1年 【演義】 コンピュータ アーキテクチャ	管理					
	-	3 1年	1年			(三澤) 2年 【演習】 ネットワーク構 策Ⅱ	3年(12-1月のみ)	(川上) 4年 【演習】 イノベーション ブロジェクトVI	(久米) 4年 【演習】 イノベーション ブロジェクトVI	(志村) 4年 【演習】 イノベーション ブロジェクトVI	(乗派) 4年 【演習】 イノベーション ブロジェクトVI	(松村) 4年 【演習】 イノベーション プロジェクトVI		(挺田) 1年 【講義】	2年 【講義】 データサイエン ス(磯、Adrian)					
	火	【実習】 プログラミング II (寺脇)	「実習】 ビジネス英語 実習 II (Hug)			(山内)	かり 【演習】英語 ディスカッショ ン・ディベート (市川)	(川上) 2年 【演習】 イノベーション プロジェクトIV	(久米) 2年 【演習】 イノベーション プロジェクトIV	(志村) 2年 【演習】 イノベーション プロジェクトIV	(乗派) 2年 【演習】 イノベーション ブロジェクトIV	(松村) 2年 【演習】 イノベーション プロジェクトIV		(堀田)	ス(磯、Adrian)		4年 【講義】 税務会計・会 計処理			
	ŀ	5				2年 【演習】 実践英語:多	3年(12-1月の	(川上) 1年 【演習】 イノベーション	(久米) 1年 【演習】 イノベーション	(志村) 1年 【演習】 イノベーション	(乗派) 1年 【演習】 イノベーション	(松村) 1年 【演習】 イノベーション			2年 【講義】 データサイエン		(姓)			
	-	6				文化理解 (市川) 2年 【演習】 実践英語:多 文化理解	み) 【演習】 実践英語:製 遊業 (佐伯)	ブロジェクトII (川上)	ブロジェクトII (久米)	プロジェクト II (志村)	プロジェクト II (乗浜)	プロジェクト II (松村)			ス(磯、Adrian)					
-		1	2年	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ II	2年 【演習】 英米文学演習	(市川)		3年(12-1月の	3年(12-1月の					1年 【講義】 アカウンティン グ入門	1年 【演義】 数学基礎C					
	ŀ	2	【実習】 ビジネス英語 実習IV (Hug)	(異村) 1年 【演習】 英語コア・スキ	(阿部川) 2年 【演習】 英語ビジネス			み) 【演習】 コーポレート ファイナンス (社)	み) 【演習】 ビッグデータ (落合、加藤)		4年 【演習】 実践英語:イノ	4年 【演習】 英語ネゴシ	-	(中嶋) 1年 【講義】 アカウンティン	(機) 1年 [講義] 数学基礎C					
	-	3	2年	ルズⅡ (実村) 1年 【演習】 英語コア・スキ ルズⅡ	マネジメント (阿部川) 2年 【演習】 英米文学演習 (阿部川)			3年(12-1月の	3年(12-1月の		ペーション (三澤) 4年 【演習】 実践英語:イノ	エーション (佐伯)		グ入門 (中嶋) 1年 【講義】 アカウンティン グ入門	(機) 1年 【講義】 数学基礎C					
	ж —	4	【実習】 ビジネス英語 実習IV (Hug)	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ II	(阿部川)		2年 【演習】 システム設計 演習	み) 【演習】 システムインテ グレーション (平山、桐谷)	<u>み)</u> <u>【演習】</u> <u>loT</u> (鎌谷、Adrian)		ペーション (三澤) 4年 【演習】 実践英語:イノ ペーション			(中嶋) 1年 【講義】 アカウンティン グ入門	(機) 1年 [清義] 数学基礎C					
		5	2年	(奥村) 1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ II			(桐谷) 2年 【演習】 システム設計 湾習		4年 【演習】 総合実践演習 (寺脇)	4年 【演習】 総合実践演習 (平山)	(三澤) 4年 【演習】 総合実践演習	4年 【演習】 総合実践演習		(中嶋) 1年 【演義】 アカウンティン グ入門	(級) 1年 【講義】 数学基礎C					
	ŀ	6	【実習】 ビジネス英語 実習取 (阿部川)	(奥村)			(相谷) 4年 【演習】 総合実践演習 (中嶋)		(守部) 4年 【演習】 総合実践演習 (富澤)	4年 【演習】 総合実践演習	(久米) 4年 【演習】 総合実践演習 (片桐)	(三澤) 4年 【演習】 総合実践演習		(中嶋)	(磯)					
		1		1年 【講義】 リサーチ入門			(中略)	3年(12-1月の	(高澤)	(機) 3年(12-1月の	3年(12-1月の	(加藤)		1年 【講義】 スタートアップ 基礎(起業論)		2年 【講義】 組織行動論				
	-	2		(難波) 1年 【講義】 リサーチ入門			2年 【演習】 システム設計 演習	み) 【演習】英語 ディスカッショ ン・ディベート (市川)		み) 【演習】 クラウド (井澤)	み) 【演習】 総合理論演習 (久米)			(江端) 1年 【講義】 スタートアップ 基礎(起業論)		(青田) 2年 【講義】 ファイナンス入				
		3		(難波) 1年 【講義】 リサーチ入門			(相谷) 2年 【演習】 システム設計 演習 (相谷)	3年(12-1月の み)	3年(12-1月の	3年(12-1月の み)				(江端) 1年 【講義】 スタートアップ 基礎(起業論)		門(中嶋) 2年 【講義】 情報系数学応				
	* -	4		(難波) 1年 【講義】 リサーチ入門 (難波)			(相谷) 2年 【演習】 システム設計 演習	【演習】 実践英語:製 遊業 (佐伯)	み) 【演習】 IoT (鎌谷、Adrian)	【演習】 地域創生とイノ ベーション (久米)				(江端) 1年 【講義】 スタートアップ 基礎(起業論)		用B(片桐)  2年 【講義】 情報系数学応 用B(片桐)				
	ŀ	5		1年 【講義】 リサーチ入門 (難波)			(桐谷)	2年	2年	2年 [実習]	2年	2年		(江端) 1年 【講義】 スタートアップ 基礎(起業論)		me(AM)				Personal Control of Con
	ŀ	6		(34.0K)				【美智】 ビジネスフィー ルドリサーチョ (川上)	【美智】 ビジネスフィー ルドリサーチョ (久米)	ビジネスフィー	【実習】 ビジネスフィー ルドリサーチ II (乗浜)	【美智】 ビジネスフィー ルドリサーチョ (松村)		(江端)						
ŀ	1	1	2年 【実習】						3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の 24)	3年(12-1月の		1年 【講義】 法務リテラシー I	1年 【講義】 数学基礎B (落合)	1年 【講義】 ネットワーク技 術 (Advian, Illt内)				$\dashv$
	ľ	2	ビジネス英語 実習IV (藤井)					2年 【演習】 情報セキュリ ティ演習Ⅰ	み) 【演習】 総合理論演習 (確)	み) 【演習】 総合理論演習 (加藤)	み) 【演習】 総合理論演習 (鎌谷)	み) 【演習】 総合理論演習 (堀田)		(境) 1年 【講義】 法務リテラシー I	1年 【講義】 数学基礎B (落合)	1年 【講義】 ネットワーク技 術	2年 【講義】 ICTと人間 (藤森)			
	ľ	3	2年					(平山) 2年 【海習】 情報セキュリ ティ演習 I	74)	3年(12-1月のみ)	3年(12-1月の み)			(境) 1年 【講義】 法務リテラシー I (境)	1年 【講義】 数学基礎B (落合)	(Adrian、山内) 1年 【講義】 ネットワーク技 術 (Adrian Ilith)	2年 【講義】 ICTと人間 (藤森)			
	± -	4	ビジネス英語 実習IV (Hug)					(平山)	の 【演習】 総合理論演習 (落合)	【演習】	み) 【演習】 総合理論演習 (寺脇)	の ( 漢智】 総合理論漢習 (平山)		(境) 1年 【講義】 法務リテラシー 【 (境)	1年 【講義】 数学基礎B (落合)	(Adrian、山内) 1年 【講義】 ネットワーク技 術 (Adrian、山内)	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイ ンⅡ (富澤)			
	ľ	5						2年 【演習】 情報セキュリ ティ演習 I (平山)	4年 【演習】 総合実践演習 (鎌谷)	4年 【演習】 総合実践演習 (堀田)	4年 【演習】 総合実践演習 (落合)	4年 【演習】 総合実践演習 (桐谷)		(項) 1年 【講義】 法務リテラシー I (境)	1年 【講義】 数学基礎8 (落合)	(Adrian、山内) 1年 【講義】 ネットワーク技 術 (Adrian、山内)	(高澤) 3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイ ンII (富澤)			
	ľ	6						(тш)						(98)		(Admin, IIIA)	(四海)			
ļ	+	1 2 3					3年 【実習】 インターンシッ プⅡ	3年 【実習】 インターンシッ ブ II	3年 【実習】 インターンシッ ブェ	3年 【実習】 インターンシッ ブエ	3年 【実習】 インターンシッ ブⅡ									
	L	4 5 6					事前指導(9月) 事後指導(12 月) (富澤)	事前指導(9月) 事後指導(12 月) (久米)	事前指導(9月) 事後指導(12 月) (井澤)	事前指導(9月) 事後指導(12 月) (加藤)	事前指導(9月) 事後指導(12 月) (山内)									

資料 15 時間割(後期)

		実習室①	実習室2	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習奎立	演習童意	演習室⑨	演習室節	講義室①	講義室②	講義室3	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義②
旧		1	1年	1年		2年 【演習】 情報技術演習 I (鎌谷)	3年(12-1月の み)	3年(12-1月の	3年(12-1月の	3年(12-1月の		4年 【演習】 英語ネゴシエー ション (佐伯)								
	-	2	【実習】 「ログラミング II (寺庭)	【実習】 ビジネス英語実 習Ⅱ (Hug)	(阿部川) 2年 【演習】 英語ビジネスマ ささなか	2年 [演習] 情報技術演習 I (鎌谷)	【演習】英語ディ スカッション・ディ ベート (市川)	み) 【演習】 総合理論演習 (江靖)	み) 【演習】 総合理論演習 (川上)	み) 【演習】 総合理論演習 (難波)	(3812)	4年 [演習]			3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイン II					
		3			ネジメント (阿郎川) 2年 【演習】	2年						ション (佐伯)			(富澤) 3年(12-1月) 『課業】					
ı	A -		1年 【実習】 「ログラミング II (寺脇)	1年 【実習】 ビジネス英語実 習 II (Hug)	(阿錫川)	情報技術演習 I (鎌谷) 2年	3年(12-1月の み) 【演習】 実践英語:製造 業 (佐伯)	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (片桐)	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (志村)	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (富澤)	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (三澤)	(3882)			キャリアデザイン II (富澤)	2年				
		4		(riug)		[演習] 情報技術演習 I (鎌谷)	(佐伯)								3年(12-1日)	【演義】 科学史 (大和)				
	L	5	1年 【実習】 「ログラミング II (寺庭)	1年 【実習】 ビジネス英語実 習Ⅱ		2年 [演習] 情報技術演習 I (鎌谷)		4年 【演習】 総合実践演習 (川上)	4年 【演習】 総合実践演習 (難波)	4年 【演習】 総合実践演習 (江端)	4年 【演習】 総合実践演習 (志村)				3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイン II (富澤)	2年 [講義] 科学史 (大和)				
		6	(寺脇)	習順 (阿部川)																
		1	1年	1年 【実習】 ビジネス英語実		2年 【演習】 実践英語:多文 化理解 (市川)									2年 【講義】 情報システムの プロジェクト管理 (平山)					
	-	2	【実習】 「ログラミング II (寺庭)	ビジネス英語実 習里 (藤井)		2年 【演習】 問題形成と問題		3年(12-1月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションブ ロジェクトV		1年 【講義】 コンピュータアー キテクチャ (堀田)	(+ш)					
	-	3		1年		解決 (三澤) 2年 【演習】 ネットワーク構築	3年(12-1月の	(川上) 4年 [演習]	(久米) 4年 【演習】 イノベーションブ	(志村) 4年 【演習】 イノベーションブ	(衆浜) 4年 [演習] イノベーションブ	(松村) 4年 [海管]		1年	2年 【講義】 データサイエン					
	火	4	1年 【実習】 「ログラミング II (寺庭)	平   実習 ] ビジネス英語実   習 II (Hug)		II (山内)	み) 【演習】英語ディ スカッション・ディ ベート (市川)	イノベーションブ ロジェクトVI (川上) 2年 [演習]	イノベーションブ ロジェクトVI (久米) 2年 [演習]	イノベーションブ ロジェクトVI (志村) 2年 [演習]	イノベーションブ ロジェクトVI (業浜) 2年 [演習]	イノベーションブ ロジェクトVI (松村) 2年 [演習]		コンピュータアー キテクチャ (堀田)	データサイエン ス(磯、Adrian)		4年 [演義]			
	-					2年		イ/ベーションブ ロジェクトW (川上) 1年 【演習】	イノベーションブ ロジェクトIV (久米) 1年 [演習]	イノベーションブ ロジェクトW (志村) 1年 【清智】	イノベーションブ ロジェクトIV (業浜) 1年 【演習】	イノベーションブ ロジェクトW (松村) 1年 【清智】			2年		税務会計・会計 処理 (辻)			
	_	5				[演習] 実践英語:多文 化理解 (市川)	3年(12-1月の み) 【演習】 実践英語:製造	【演習】 イノベーションブ ロジェクト II (川上)	イノベーションブ ロジェクト II (久米)	【演習】 イノベーションブ ロジェクトⅡ (志村)	イ/ベーションブ ロジェクトII (業浜)	【演習】 イノベーションブ ロジェクトⅡ (松村)			【講義】 データサイエン ス(磯、Adrian)					
		6				[演習] 実践英語:多文 化理解 (市川)	栗 (佐伯)													
		1	2年 【実習】 ジネス英語実 習IV	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ II (奥村)	2年 【演習】 英米文学演習 (阿部川)			3年(12-1月の み) 【演習】	3年(12-1月の み) 【演習】					1年 【講義】 アカウンティング 入門 (中嶋)	1年 [演義] 数学基礎C (碳)					
		2	習IV (Hug)	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ II (奥村)	2年 【演習】 英語ビジネスマ ネジメント (阿郎川)			コーポレートファ イナンス (社)	ピッグデータ (落合、加藤)		4年 【演習】 実践英語:イノ ベーション (三澤)	4年 【演習】 英語ネゴシエー ション (佐伯)		1年 【講義】 アカウンティング 入門 (中嶋)	1年 [演義] 数学基礎C (碳)					
		3	2年	1年 【演習】 英語コア・スキ ルズ II	2年 [演習] 英米文学演習 (阿部川)			3年(12-1月の み)			4年 【演習】 実践英語:イノ ベーション	(2,14)		1年 【講義】 アカウンティング 入門	1年 【講義】 数学基礎C					
3	* -	4 t	【実習】 ジネス英語実 習IV (Hug)	(奥村) 1年 [演習] 英語コア・スキ	(MB111)		2年 【演習】 システム設計演	【演習】 システムインテ グレーション (平山、桐谷)	(5882)		(三澤) 4年 [演習] 実践英語:イノ			(中嶋) 1年 [演義] アカウンティング 入門 (中嶋) 1年	1年 [講義] 物学基礎C					
	-	5		ルズ目 (奥村) 1年 [演習]			習 (桐谷) 2年 【演習】 システム設計演		4年	4年 [演習]	ベーション (三澤) 4年 [演習]	4年 【演習】		[18:05]	F100-00-1					
	ŀ		2年 【実習】 ジネス英語実 習IV (阿郎川)	英語コア・スキ ルズII (奥村)			(初谷)		総合実践演習 (寺藤)	総合実践演習	総合実践演習 (久米)	総合実践演習		アかウンティング 入門 (中略)	数学基礎C (礦)					
		6		160			[演習] 総合実践演習 (中嶋)		[演習] 総合実践演習 (富澤)	[演習] 総合実践演習 (礎)	[演習] 総合実践演習 (片桐)	[演習] 総合実践演習 (加藤)		1年		2 der				
	L	1		【講義】 リサーチ入門 (難波)			7年	3年(12-1月の み) 【演習】英語ディ スカッション・ディ ベート		3年(12-1月の み) [演習]	3年(12-1月の み) [演習]			【講義】 スタートアップ基 礎(起業論) (江端)		【講義】 組織行動論 (青田)				
		2		1年 【講義】 リサーチ入門 (難波)			【演習】 システム設計演 習 (桐谷)	(市川)		クラウド (井澤)	総合理論演習 (久米)			1年 【講義】 スタートアップ基 礎(起業論) (江端)		2年 【講義】 ファイナンス入門 (中嶋)				
		3		1年 【講義】 リサーチ入門 (難波)			2年 【演習】 システム設計演 習 (桐谷)	3年(12-1月の み) 【演習】 実践英語:製造	3年(12-1月の み) 【演習】	3年(12-1月の み) 【演習】				1年 【講義】 スタートアップ基 礎(起業論) (江端)		2年 【講義】 情報系数学応用 B(片桐)				
,	*	4		1年 【講義】 リサーチ入門 (難波)			2年 【演習】 システム設計演 習 (概谷)	実践英語:製造業 (佐伯)	【演習】 IoT (鎌谷、Adrian)	地域創生とイノ ベーション (久米)				1年 【講義】 スタートアップ基 礎(起業論)		2年 【講義】 情報系数学応用 B(片桐)				
	r	5		1年 【講義】 リサーチ入門			(846)	2年	2年	2年	2年	2年		1年 【講義】 スタートアップ基 礎(起業論)						
	ŀ	6		(難波)				【実習】 ビジネスフィール ドリサーチII (川上)	【実習】 ビジネスフィール ドリサーチョ (久米)	「実習】 ビジネスフィール ドリサーチII (各務)	【実習】 ビジネスフィール ドリサーチョ (業浜)	【実習】 ビジネスフィール ドリサーチII (松村)		(江端)						
	$\frac{1}{1}$	1												1年 [講義] 注稿(10元号)。	1年	1年				
			2年 【実習】 ジネス英語実 習IV (藤井)						3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (破)	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (加藤)	3年(12-1月の み) [演習] 総合理論演習 (鎌谷)	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習 (堀田)		法務リテラシー I (境) 1年 [演義]	数学基礎B (落合)	ネットワーク技術 (Adrian、山内)	2年			
	ŀ	2						(3812)						【講義】 法務リテラシー I (境) 1年 【講義】		【講義】 ネットワーク技術 (Adrian、山内)	【講義】 ICTと人間 (藤森)			
,	<u>*</u>	3 	2年 【実習】 ジネス英語実 習IV						3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習	3年(12-1月の み) 【演習】 総合理論演習		法務リテラシー I (境)	1年 【講義】 数学基礎B (落合)	1年 【講義】 ネットワーク技術 (Adrian、山内)	2年 【講義】 ICTと人間 (藤森)			
		4	晋IV (Hug)						総合理論演習	総合理論演習(桐谷)	総合理論演習 (寺脇)	総合理論演習 (平山)		1年 【講義】 法務リテラシー I (境)	1年 【演義】 数学基礎B (落合)	1年 【講義】 ネットワーク技術 (Adrian、山内)	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイン II (富澤)			
		5						2年 【演習】 情報セキュリティ 演習 I (平山)	4年 【演習】 総合実践演習 (鎌谷)	4年 [演習] 総合実践演習 (堀田)	4年 [演習] 総合実践演習 (落合)	4年 [演習] 総合実践演習 (桐谷)		1年 【講義】 法務リテラシー I (境)	1年 [演義] 数学基礎B (落合)	1年 【講義】 ネットワーク技術 (Adrian、山内)	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザイン II (富澤)			
	ľ	6						(TM)						(30)			(銀/年)			
		1 2					3年 [実習]	3年 [実習]	3年 [実習]	3年 [実習]	3年 [実習]									
:	-	3 4 5					インターンシップ II 事前指導(9月) 事後指導(12月) (富澤)	インターンシップ	インターンシップ II 事前指導(9月) 事後指導(12月) (井澤)	インターンシップ II 事前指導(9月) 事後指導(12月) (加藤)	インターンシップ Ⅱ 事前指導(9月) 事後指導(12月) (山内)									
L	JĽ	6											لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ					لــــــا		

## (新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

			新	Iβ								
		T										
調書番号	専任等区分	フリカ°ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
2	専	†カシ゚マ(カワムテ)リュウイチ 中嶋(川村)隆一 < <u>合和2年</u> 4月>	アカウンティング入門 アカウンティング応用 ファイナンス 総合理論演習 総合実践演習	10 <u>4</u> 2 <u>2</u> 4	5 2 1 1 1		2	専	ナカジマ(カワムラ)リュウイチ 中嶋(川村)隆一 < <u>令和2年</u> 4月>	アカウンティング入門 アカウンティング応用 ファイナンス 総合理論演習 総合実践演習	10 2 2 2 2 4	5 <u>1</u> 1 <u>1</u> 1
調書番号	専任等区分	7 リカ* ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
4	専	エイドリアン デイビッド チュオック Adrian David Cheok < <u>令和 2 年</u> 4 月>	AI ネットワーク技術 データサイエンス IoT	1 5 2 <u>2</u>	1 5 2 <u>2</u>		4	専	エイト*リアン 〒*イヒ*ット* チェオック Adrian David Cheok <平成 32 年 4 月 >	AI ネットワーク技術 データサイエンス IoT	1 5 2 <u>1</u>	1 5 2 <u>1</u>
											_	_
調書番号	専任等区分	フリカ・ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の 名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ*ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
5	専	ヤマ <i>ノウチ</i> マサト 山内 正人 < <u>合和2年</u> 4月>	インターンシップ I インターンシップ II ネットワーク技術 ネットワーク構築 I ネットワーク構築 II ネットワーク構築 II	12 12 5 <u>6</u> 2	1 1 5 3 1		5	専	ヤマ/ウチ マサト 山内 正人 < <u>平成 32 年 4</u> 月>	インターンシップ I インターンシップ II ネットワーク技術 ネットワーク構築 I ネットワーク構築 II ネットワーク構築 II	12 12 5 2 2	1 1 5 <u>1</u> 1
									1			1
	専	フリカ゛ナ 氏 名	担当授業科目の名称	担当単位	年間開講		調書番号	専任等区分	フリカ° ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
調書番号	任等区分	<就任(予定)年月>		数	数						3/	200

	_			1	1	<del>- 1</del>	_	1	ſ		1	1
			情報セキュリティ演習I	<u>6</u>	<u>3</u>					情報セキュリティ演習I	2	1
			情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1					情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1
調書番号	専任等区分	フリカ*ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
			スタディスキル	10	5					スタディスキル	10	5
			ビッグデータ	2	2					ビッグデータ	1	1
14	実(研)	カトウ ナオト 加藤 直人	インターンシップ I	12	1		14	実(研	カトウ ナオト 加藤 直人	インターンシップ I	12	1
		< <u>令和2年</u> 4月>	インターンシップⅡ	12	1			Ü	< <u>平成 32 年</u> 4 月>	インターンシップⅡ	12	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1
調書番号	専任等区分	7 リカ ° ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ*ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
		カマタニ オサム 鎌谷 修 < <u>令和2年</u> 4月>	情報技術演習 I	10	5					情報技術演習 I	10	5
			情報技術演習Ⅱ	2	1		<u>15</u>			情報技術演習Ⅱ	2	1
<u>⑤</u>	実(研)		ІоТ	2	2			実(研)	カマタニ オサム 鎌谷 修 < <u>平成 32 年</u> 4月>	IoT	1	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1
				1	1					<u> </u>		
調書番号	専任等区分	7 リカ * ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
			数学基礎 B 情報系数学応用 A	10	5 2					数学基礎 B 情報系数学応用 A	10	5
	実	<i>አ</i> ታያ <i>ና ケ</i> ረኮቦ	旧戦ポ級子応用 A ビッグデータ	2	<u>2</u>			宇	オチアイ ケイヒロ	情報糸数字心用 A ビッグデータ	1	1
17	実(研)	落合 慶広 < <u>令和2年</u> 4月>	AI Web システム演習	1 2	1		17	実(研)	落合 慶広 < <u>平成32年</u> 4月>	AI Web システム演習	1 2	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1		1			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の 名称	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	調書番号	専任等区分	フリカ゛† 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の 名称	担当単位数	年間開講数	現 現 (就任年	
			ビジネスフィール ドリサーチ I	2	1	株式会社 ドプンプ ICT サービス 本部長 (平 29. 1) カドカワ 株式会社 情報 システム部 部長 (平 30. 5)				ビジネスフィール ドリサーチ I	2	1	株式会 ドワン ICT サー 本部 (平 29. カド式会報 シスポラッ	ゴビ 長1) ワ社
<u>⑥</u>	実み	カガミ シゲオ 各務 茂雄 < <u>令和2年</u> 4月>	ビジネスフィール ドリサーチⅡ	2	1	株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局 局長 (平 30. 10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31. 4)	<u>24</u>	実み	加 <sup>*</sup> ミ シゲオ 各務 茂雄 < <u>平成 32年</u> 4月>	ビジネスフィール ドリサーチⅡ	2	1	部長 (平 30. 株式会 KADOKA ICT サー 局 局 (平 30.	: :社 .WA ビス !長 10)
			<u>/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / </u>	2	1	株式会社 KADOKAWA 軟行役員 ICT サービス 局 局長 (平 30. 10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31. 4)				(追加)			カドカ 株式会 ICT サー 本部 本部 (平 30.	社 ビス 長
							Γ						In In	
1100年9年5		専	担当授業	科目の	の名称	担当単位数		書 番 号	専 任 氏 名 < 就任(予定)年	担当授業	科目の	D名称	担当単位数	年間開講数
2	5 8	表 サカイ マサヨ 境 真良 < <u>令和2年4</u>	Į			10 5 4 2	2	<u>25</u>	実 境 真良 < <u>令和2年</u> 4				10 <u>2</u>	5 <u>1</u>

## (新旧対照表) 実務の経験等を有する専任教員一覧

新	旧
番号	番号
<u>16</u>	<u>13</u>
調書番号	調書番号

<u>5</u>	15
フリカ゛ナ・氏名・<就任(予定)年月>	フリカ <sup>*</sup> ナ・氏名・<就任(予定)年月>
カマタニ オサム	カマタニ オサム
鎌谷 修	鎌谷 修
< <u>令和2年</u> 4月>	< <u>平成 32 年 4</u> 月>
番号	番号
<u>20</u>	<u>19</u>
調書番号	調書番号
<u>⑥</u>	<u>24</u>
フリカ ナ・氏名・ < 就任(予定)年月 >	フリカ・ナ・氏名・<就任(予定)年月> カカ <sup>*</sup> ミ シケ <sup>*</sup> オ 各務 茂雄 < <u>平成 32 年</u> 4 月 >

(是正事項) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

## 2. 【全体計画審査意見2・4の回答について】

<卒業要件とディプロマ・ポリシーとの対応関係が不明確>

履修モデルに示す科目は選択必修科目となっておらず、学生が履修モデル通りの科目を実際に履修をするかについて疑義があり、履修モデルと異なる履修状況での卒業も考えられるため、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現できるか不明確である。卒業要件とディプロマ・ポリシーの対応関係を説明するとともに、必要に応じてディプロマ・ポリシー及び卒業要件を改めること。

#### (対応)

履修モデルに示す科目は選択必修科目となっておらず、学生が履修モデル通りの科目を実際に履修をするかについて疑義があり、履修モデルと異なる履修状況での卒業も考えられるため、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現できるか不明確であるとのご指摘を踏まえ、養成する人材像に基づき、ディプロマ・ポリシーを実現することができるよう卒業要件を見直した。また、卒業要件を見直したことに伴い、履修モデルをこれに従ったものとなるよう改めた。卒業要件を見直し、選択必修科目を設定することで、基礎となる知識やスキルを習得し、習得した知識やスキルを応用・実践することが可能となることから、履修モデル通りに履修しなかった場合でも設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現することができると考える。

#### <卒業要件とディプロマ・ポリシーの関係について>

卒業要件とディプロマ・ポリシーとの関係については、カリキュラムマップ(別紙 1)およびカリキュラム構成図(別紙 2)とあわせて具体的に示す。なお、ディプロマ・ポリシーには説明のため(1-1)、2)など番号を付す。

基礎科目の科目設定については、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得する必要があると考え、ディプロマ・ポリシーで以下の通り具体的に定めている。

- $\mathrm{DP} \hat{\mathbb{D}} 1$ ) 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや 優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
- DP①−2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための 知識や方法を身に付けている。
- DP $\bigcirc$   $\bigcirc$   $\bigcirc$  変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

これらの能力を習得するため、基礎科目で修得すべき 20 単位のうち、必修科目を 7 科目 12 単位とし、 $\mathrm{DP}(\mathbb{D}-1)$  の能力を「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザイン  $\mathbb{I}$  」「キャリアデザイン  $\mathbb{I}$  」を通じ習得する。 $\mathrm{DP}(\mathbb{D}-2)$  の能力を「英語コア・スキルズ  $\mathbb{I}$  」「英語コア・スキルズ  $\mathbb{I}$  」「リサー

手入門」を通じ習得する。また、選択必修科目として、DP①-2)の能力を「先端グローバル社会」「職業倫理」「科学史」「ICT と人間」のうち 2 単位以上を習得し、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を深める。DP①-3)の能力を「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」のうち 4 単位以上を修得し数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶことで習得する。あわせて、上記 6 単位も含む 8 単位以上を選択必修科目とし、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得する。

職業専門科目の科目設定については、経営に関する知識・スキルの習得と、情報通信技術に関する知識・スキルを習得させるため、それぞれディプロマ・ポリシーを定めた。

このうち、職業専門科目のうち経営に関する知識・スキルについてはディプロマ・ポリシーで以下の通り定めている。

- $\mathrm{DP} @ -1$ ) 企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に 応じながら計画的に実施することができる。
- DP②-2) 市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- DP②-3) 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- DP②-4) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

これらを習得するため、ビジネス領域を設定し、必修科目のうち 15 科目 50 単位と、選択必修科目として 2 科目 4 単位を修得する。

 $\mathrm{DP}(2-1)$  の能力については、必修科目として「マネジメント(経営学基礎)」「スタートアップ基礎(起業論)」を通じ習得する。また、選択必修科目として、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」うち2単位以上を選択必修科目として修得し、必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践する。 $\mathrm{DP}(2-2)$  の能力については、必修科目として「マーケティング基礎」「ビジネスフィールドリサーチ II」「ビジネスフィールドリサーチ II」を通じ習得する。 $\mathrm{DP}(2-3)$  の能力については、必修科目として「法務リテラシー I」「アカウンティング入門」を通じ習得する。また、選択必修科目として、必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため「アカウンティング応用」「法務リテラシー II」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」のうち2単位以上を修得する。 $\mathrm{DP}(2-4)$  の能力については、必修科目として「イノベーションプロジェクト II」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」「イノベーションプロジェクト III」では、職業専門科目で修得したシステム開発スキルやビジネススキルの実践と学びの場として、2 科目 24 単位を修得する。これらを通じ、経営に関する知識・スキルを習得する。

職業専門科目のうち情報通信技術に関する知識・スキルについてはディプロマ・ポリシーで以下の通り

定めている。

- DP③-1) システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客 の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- DP③-2) コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- DP③-3) 基本なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、 その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- DP③-4) データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する 基礎的な能力を身に付けている。
- DP3-5) 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

なお、職業専門科目全体については、上記の選択必修科目を含め 14 単位以上を修得する。選択科目には ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用的な理論やケーススタディ、情報通信技術に関する基本的な 技術・理論の成り立ちを解説するもの、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等につい ての知識やスキルをさらに深めるものなどが配置されている。これにより必修科目、選択必修科目で修得 した経営や情報通信技術に関する知識・スキルについて、学びを深めるとともに、想定される卒業後の進 路に応じた学習展開が可能である。これらを通じ、職業分野全般に必要となる経営や情報通信技術に関す る能力を習得する。 展開科目・グローバルコミュニケーションの科目設定については、文化的背景の異なる人々と協働する ために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付ける必要があると考え、ディプロマ・ポリ シーで以下の通り具体的に定めている。

- $\mathrm{DP} \oplus -1$ ) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションを とることができる。
- ${
  m DP}(4-2)$  文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

これらの能力を習得するため、展開科目で修得すべき 20 単位のうち、必修科目を 4 科目 8 単位とし、DP(-1)、DP(-1) 、DP(-1) 、DP(-1) 、DP(-1) 、DP(-1) 、DP(-1) 、DP(-1) で それぞれの能力の基礎として「ビジネス英語実習 I 」「ビジネス英語実習 I 」」「ビジネス英語実習 I 」「ビジネス英語実習 I 」」「ビジネス英語実習 I 」」「ビジネス英語実習 I 」「ビジネス英語でのアカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。あわせてビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、英語でのビジネスコミュニケーションを実践を交えて習得するため、「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。 DP(-2) の能力のうち、文化的背景の異なる人々と協働するために、英語で文化への理解を深めるため、「実践英語:多文化理解」「英米文学演習」「実践英語:日本文化」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。これらに加え、上記 8 単位も含む 12 単位以上を選択必修科目とし、国際的コミュニケーション能力を習得する。

総合科目の科目設定については、時代の変化に対応するビジネスの総合力を獲得する必要があると考え、 ディプロマ・ポリシーで以下の通り具体的に定めている。

DP⑤ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

これらの能力を習得するため、総合科目で修得すべき必修科目を2科目6単位とし、「総合理論演習」「総合実践演習」を通じ習得する。上記科目を本学の学びの集大成として修得することで、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用するために必要な能力を獲得する。

#### <卒業要件について>

ディプロマ・ポリシーの示すそれぞれの能力を習得することが可能となるために、基礎となる知識・スキルを習得できる必修科目に加え、その知識・スキルを応用的あるいは実践的に習得する科目の履修を必ず行えるよう新たに選択必修科目を設ける。これにより卒業単位数を以下の通り改める。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。

- · 基礎科目 20 単位
  - 必修 12 単位

イノベーションの志、スタディスキル、英語コア・スキルズ I 、英語コア・スキルズ I 、 英語コア・スキルズ I 、 ササー チ入門、キャリアデザイン I 、 キャリアデザイン I

#### 選択必修8単位

- ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間から2単位以上
- ・数学基礎 A~C のうち 4 単位以上
- ・上記6単位以上を含む、8単位以上
- ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)
  - 必修 68 単位

マネジメント(経営学基礎)、マーケティング基礎、法務リテラシー I 、アカウンティング入門、スタートアップ基礎(起業論)、イノベーションプロジェクト I 、イノベーションプロジェクトI 、イノベーションプロジェクトI 、イノベーションプロジェクトI 、 イノベーションプロジェクトI 、 I 、

プログラミング I、プログラミング I、データ構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習 I、システム設計演習

## 選択必修 14 単位

- ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経 営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から2単位以上
- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから2単位以上
- ・ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演習 I から 2 単位以上
- ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データ サイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位
- ・上記8単位以上を含む、14単位以上
- ·展開科目 20 単位
  - 一必修8単位

ビジネス英語実習 I 、ビジネス英語実習 II 、ビジネス英語実習III、ビジネス英語実習IV

## 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上
- ・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実践英語:日本文化から2単位以上
- ・実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2単位以上
- ・上記8単位以上を含む、12単位以上
- ·総合科目 6 単位(必修)

総合理論演習、総合実践演習

以上の通り、養成する人材像が備える能力を身につけるために、卒業要件を見直し、選択必修科目を設定することで、履修モデル通りに履修しなかった場合でも、基礎となる知識やスキルを習得すること、そのうえで習得した知識やスキルを応用・実践することが可能となる。よって、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現することができると考える。

## <卒業要件に基づく履修モデルを活用した履修指導について>

必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する 進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして4パターンを提示して履修指導 することでディプロマ・ポリシーに応じた能力の習得を可能とさせる。

## <上記に伴う、科目設定の変更>

選択必修科目となることに伴い、年間開講数を変更した。

- ・アカウンティング応用 年間開講数 1→2
- ・法務リテラシーⅡ 年間開講数 1→2
- ・クラウド 年間開講数 1→2
- ・ビッグデータ 年間開講数  $1\rightarrow 2$
- IoT 年間開講数 1→2
- ・ネットワーク構築 I 年間開講数 1→3
- ・情報セキュリティ演習 I 年間開講数 1→3

	新							旧							
[2ページ]						[2ページ]									
授業科目の	専	専任教員の配置		/// de		専任教員の配置 授業科目の									
名称	教授	准 教 授	講師	備考		名称	教授	准 教 授	講師	備考					
クラウド		<u>1</u>	1			クラウド		(追記)	1						

#### [3~4ページ]

## 卒業・修了要件及び履修方法

#### 【卒業要件】

次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、 計128単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

- ·基礎科目 20 単位
  - <u>- 必修 12 単位</u>

## 選択必修8単位

- ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、 ICT と人間のうち2単位以上
- ・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C の うち 4 単位以上
- ・上記6単位以上を含む、8単位以上
- ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を 含む)
- <u>--必修 68 単位</u>

#### 選択必修 14 単位

- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、 ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから2単位以上
- ・オペレーションズマネジメント、問題形成 と問題解決、組織行動論、ビジネスゲーム による経営意思決定、人的資源管理論、イ

## [3ページ]

## 卒業・修了要件及び履修方法

#### 【卒業要件】

次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、 計128単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

基礎科目 20 単位以上

選択科目から8単位を履修する。うち、数学 基礎A~Cから4単位以上を履修する。

職業専門科目 82 単位以上

選択科目から14単位を履修する。

展開科目 20 単位以上

選択科目から12単位を履修する。

総合科目6単位(追記)

実習科目の 40 単位

うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位 を含む

(履修科目の登録の上限:

1 年次 46 単位 (年間)

2-4 年次 42 単位 (年間))

ノベーション特論から2単位以上

- ・モバイルサービス概論、Web システム演習、 インタラクティブ・システムデザイン、デ ータサイエンス、クラウド、ビックデータ、 IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単 位
- ・ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演 習 I から 2 単位以上
- ・上記8単位以上を含む、14単位以上
- ·展開科目 20 単位
  - 一必修8単位

## 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語 プレゼンテーション、英語ネゴシエーショ ンから2単位以上
- ・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実 践英語:日本文化から2単位以 上
- ・実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2単位以上
- ・上記8単位以上を含む、12単位以上
- ・総合科目6単位(必修)

実習科目の 40 単位

うち臨地実務実習(インターンシップ)24 単位を含む

(履修科目の登録の上限:

1年次 46 単位 (年間)

2-4 年次 42 単位 (年間))

	新		旧
[13ページ	]	[13ページ	[]
情報技術	ユーザアプリケーションからサーバシ	情報技術	ユーザアプリケーションからサー
演習 I	ステムまでを対象とした情報ネットワ	演習 I	バシステムまでを対象とした情報
	ーキングシステムの全体アーキテクチ		ネットワーキングシステムの全体
	ャを理解し、演習による基本動作検証		アーキテクチャを理解し、演習によ
	の体験を通じて、より実践的なスキル		る基本動作検証の体験を通じて、よ
	を習得する。また、与えられた情報ネ		り実践的なスキルを習得する。ま
	ットワーキングシステムの例題に対し		た、与えられた情報ネットワーキン
	て、ユーザインタフェース設計書を作		グシステムの例題に対して、ユーザ
	成し、デザインレビュ、基本動作検証、		インタフェース設計書を作成し、デ
	関係データベースの構築、プロジェク		ザインレビュ、基本動作検証、 <u>(追</u>
	ト管理までの演習を行う。		<u>記)</u> プロジェクト管理までの演習を
			行う。
[15ページ	)]	[15ページ	"]
情報技術	少人数グループ毎に、実際の社会課題	情報技術	少人数グループ毎に、実際の社会課
演習Ⅱ	及びサービス事例の調査を行い、新た	演習Ⅱ	題及びサービス事例の調査を行い、
	なサービス事例の企画立案、検討を行		新たなサービス事例の企画立案、検
	う。検討結果から、ユースケースの議		討を行う。検討結果から、ユースケ
	論及び、要求条件の明確化を行い、 <u>業</u>		ースの議論及び、要求条件の明確化
	務フローや機能一覧、ネットワーク構		を行い、 <u>ソフトウェア設計書を</u> 作成
	成等の基本設計と、機能設計やデータ		する。ユーザアプリケーション及び
	ベース設計等の詳細設計を作成する。		サーバアプリケーションを実際に
	ユーザアプリケーション及びサーバア		構築し、情報ネットワーキング統合
	プリケーションを実際に構築し、情報		システムの基本的な動作検証まで
	ネットワーキング統合システムの基本		の演習を行う。グループ毎に動作検
	的な動作検証までの演習を行う。グル		証結果の中間報告を行い、改善点に
	ープ毎に動作検証結果の中間報告を行		ついて議論し、 <u>ソフトウェア設計書</u>
	い、改善点について議論し、基本設計・		の改訂を行う。最終的に得られたサ
	詳細設計の改訂を行う。最終的に得ら		ービスの検証を行い、グループ毎に
	れたサービスの検証を行い、グループ		最終報告を行い、演習全体を総括す
	毎に最終報告を行い、演習全体を総括		る。
	する。		

新

[92~93ページ]

#### 情報技術演習I

## 1. 授業概要

ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、関係データベースの構築、プロジェクト管理までの演習を行う。

#### 2. 授業の目的、目標

情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の 理解と、演習による実際の動作実証。

ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解 と、デザインレビュの演習。

与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設計スキル<u>や関係データベースの設計構築スキルなど</u>を演習を交えて習得する。

データベース連携技術<u>を</u>理解<u>し、</u>実際の動作検証 手法について基本的な内容を身に付ける。

## 3. 授業計画

	公開データセットを用いてデータベ
	<u>ース設計を行い、実際に関係データベ</u>
5	一スを仮想マシン上に構築する。格納
Э	データに対して、SQL による情報検
	索、情報更新、情報削除等の演習を行
	<u>う。</u>
	データベース連携を行うための WEB
	サービス設計を行い、実際に WEB デ
6	<u>ータベース連携動作環境を構築する。</u>
ю	構築した環境を用いて、WEB-APIを
	利用した情報検索、情報更新、情報削
	除等の演習を行う。
7	情報システムの例題を提示し、概要の
7	説明を行う。UML によるソフトウェ

[92~93ページ]

## 情報技術演習I

## 1. 授業概要

ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、(追記)プロジェクト管理までの演習を行う。

#### 2. 授業の目的、目標

情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の 理解と、演習による実際の動作実証。

ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解 と、デザインレビュの演習。

与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設 計スキルの習得。

データベース連携技術<u>の</u>理解<u>と、演習による</u>実際 の動作検証手法(追記)を身に付ける。

### 3. 授業計画

5	情報システムの例題を提示し、概要の 説明を行う。UMLによるソフトウェ ア仕様設計手法、演習の進め方につい て説明する。例題に対するクラス図等 の記述手法について説明し、演習を行 う。
6	例題に対するコンポーネント図等の 記述手法について説明し、演習を行う。
7	例題に対するユースケース図等の記 述手法について説明し、演習を行う。

ア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するクラス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

例題に対する<u>コンポーネント図、ユー</u> 8 <u>スケース図、</u>シーケンス図等の記述手 法について説明し、演習を行う。

6. 教科書/参考文献

教科書:演習資料を別途配布する

参考文献:

『Web エンジニアの教科書』

佐々木 達也、瀬川 雄介、内藤 賢司(著)、シ ーアンドアール研究所、2015年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』

山本 陽平 (著)、技術評論社、

2010年

『実例で学ぶソフトウェア開発』

NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、 オーム社、2008 年

<u>『UML による一気通貫 DB システム設計 (DB</u> Magazine SELECTION)』

細川 努 (著)、翔泳社 、2007年

[108~109ページ]

情報技術演習Ⅱ

## 1. 授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、業務フローや機能一覧、ネットワーク構成等の基本設計と、機能設計やデータベース設計等の詳細設計を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、基本設計・詳細設計の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

例題に対する<u>(追記)</u>シーケンス図等 8 の記述手法について説明し、演習を行 う。

6. 教科書/参考文献

教科書:演習資料を別途配布する

参考文献:

『Web エンジニアの教科書』

佐々木 達也、瀬川 雄介、内藤 賢司(著)、シ ーアンドアール研究所、2015年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』

山本 陽平 (著)、技術評論社、

2010年

『実例で学ぶソフトウェア開発』

NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、オーム社、2008 年

(追記)

[108~109ページ]

情報技術演習Ⅱ

## 1. 授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、<u>ソフトウェア設計</u>書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、<u>ソフトウェア設計</u>書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

## 3. 授業計画

演習に必要なネットワーク設計技術、 データベース構築技術、WEBデータ ベース連携技術、各種クラウドサービ ス、WEB-API、その他 各種ソフトウ ェアについて説明を行い、基本動作の 検証を行う。

## 3. 授業計画

演習に必要な<u>(追記)</u>各種ソフトウェ 2 アについて説明を行い、基本動作の検 証を行う。

## (新旧対照表) 学則 別表 2

7171

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科 卒業要件

	,				卒業	単位		
	科目図	区分	必修	選択 <u>必修</u> ①	選択 必修 ②	<u>選択</u>	自由	小計
基礎 科目	現代社会 基礎		12	6 <u>**1</u>	2	0	0	20
		ビジネス基礎	8	<u>8</u> <u>×4</u>			0	82
	経営	ビジネス応用	0		Q	<u>6</u>	0	
職業専門		ビジネス実践	42				0	
科目	情報通信 技術	システム デザイン基礎	18				0	
		システム デザイン応用	0				0	
		ネットワーク セキュリティ	0				0	
展開科目	グローバ ルコミュニ ケーション		8	<u>8</u> <u><u>**3</u></u>	<u>4</u>	<u>0</u>	0	20
総合 科目			6	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	0	6
	合詞	+	94	<u>22</u>	<u>6</u>	<u>6</u>	0	128

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科 卒業要件

		,			-14 316	227.		
	科目	区分	必修	(追記)	(追記)	選択	自由	小計
基礎 科目	現代社会 基礎		12	(追記)	(追記)	<u>8</u>	0	20
		ビジネス基礎	8				0	
	経営	ビジネス応用	0	(追記)	(追記)	14	0	82
職業専門		ビジネス実践	42				0	
科目	情報通信 技術	システム デザイン基礎	18	(JE IC)		14	0	
		システム デザイン応用	0				0	
		ネットワーク セキュリティ	0				0	
展開科目	グローバ ルコミュニ ケーション		8	(追記)	(追記)	<u>12</u>	0	20
総合 科目			6	(追記)	(追記)	<u>0</u>	0	6
	合計			(追記)	(追記)	<u>34</u>	0	128

## 

- ・ 先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICTと人間のうち2単位以上
- 数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4単位以上

## **※**2

・ オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション

## 特論から2単位以上

- ・ アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、フ ァイナンス入門、コーポレートファイナンスか ら2単位以上
- ・ ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演習 Iから2単位以上
- ・ モバイルサービス概論、Web システム演習、イ ンタラクティブ・システムデザイン、データサ イエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スー パーコンピュータ、AI から 2 単位

## **※**3

- ・ 英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・ 英語ディスカッション・ディベート、英語プレ ゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上
- ・ 実践英語:多文化理解、英米文学演習、実践英語:日本文化から2単位以上
- ・ 実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2 単位以上

## 備考

- ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップ I・Ⅱ) 含む
- ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。「マネジメント(経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーI」「アカウンティング入門」「プログラミングII」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」

「情報技術演習 I」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチ I」「ビジネスフィールドリサーチ II」

・総計で、卒業単位を128単位以上とする。

## 備考

- ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。※臨地実務実習(インターンシップ I ・ II ) 含む
- ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以 下の科目の単位を修得していることとする。

「マネジメント(経営学基礎)」「マーケティング 基礎」「法務リテラシーI」「アカウンティング入 門」「プログラミングI」「プログラミングII」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」

「情報技術演習 I」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチ I」「ビジネスフィールドリサーチII」

・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。

新

[41~47ページ]

(2)カリキュラムと科目設定について

ディプロマ・ポリシーに記載の「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を身に付けるため、必要となる基礎的な知識・スキルを習得する科目、またそれを応用・実践し知識・スキルを深める科目を履修できるよう、カリキュラム・ポリシーに基づき、科目を設定している。なお、説明のために、カリキュラム・ポリシーそれぞれについて、①-1)、①-2)等の番号を付す。

養成する人材像で備える能力のうち「職業的自立を図る能力」については以下の CP①-1)~3) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

 CP①-1)
 自分のライフ・キャリアに関する明確

 な目標をもち、その実現のために、必
 要なステップや優先順位を自ら考え

 意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を必修科目として履修する。

<u>CP①-2</u>) グローバルな視野をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的に [41ページ]

理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。

上記の能力のうち、グローバルな視野を持つためのスキルを身に付けるために「英語コア・スキルズI」「英語コア・スキルズII」を必修科目として履修する。また、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身につけるために「リサーチ入門」を必修科目として履修するほか、「先端グローバル社会」「ICT と人間」「職業倫理」「科学史」から1科目以上を選択必修科目として履修する。

CP①-3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身に付けるため「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」から 2 科目以上を選択必修科目として履修する。

また、上記の必修科目・選択必修科目以外に、CP ①-2)3)の選択必修科目の中から1科目以上の 履修を行う科目編成とする。

上記 CP①-1)~3) に従った履修により、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得し「職業的自立を図る能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「経営に関する知識・スキル」については以下の CP②-1) ~5) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目及び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

 CP②-1)
 企業やビジネスの継続的改善に向けた

 目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「マネジメント(経営学基礎)」「スタートアップ基礎(起業論)」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」から1科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、企業経営の学びを深める。

CP②-2) 市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「マーケティング基礎」を必修科目として履修する。これらの知識やスキルを深めるとともに実践的に習得するため「ビジネスフィールドリサーチII」を必修として履修する。加えて、経営課題発見のための応用的知識を選択科目として履修することができる。

CP②-3) 企業の持続性という観点から、評価・ 分析する経営理論や実践的技法を身 につけるため、法務や会計などの内容

#### を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「アカウンティング入門」「法務リテラシーI」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「アカウンティング応用」「法務リテラシーII」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」から1科目以上を選択必修として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、経営理論や実践的技法の学びを深めることや会計の実務を習得する。

CP②-4) 目標の明確化、計画立案から計画遂行 に至る能力、システム開発スキル、課 題発見・分析・解決を通じたビジネス スキルの獲得を行う学びの場として、 3 年次にさまざまな企業現場での臨地 実務実習を約 640 時間設定する。

上記を習得する場として、「インターンシップ I 」 「インターンシップ II 」を必修科目として履修す る。

CP②-5) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトII」「イノベーションプロジェクトII」「イノベーションプロジェクトIV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトVI」を設置する。

新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案 することができる力を習得するとともに、基礎的な 知識・スキルとして習得した「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」などの内容を実践する場として「イノベーションプロジェクトII」「イノベーションプロジェクトIII」「イノベーションプロジェクトIV」「イノベーションプロジェクトIV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」「イノベーションプロジェクトV」を必修科目として履修する。

上記 CP②-1)~5)に従った履修により、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できる「経営に関する知識・スキル」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」については、以下の CP③-1)~5)のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP③-1) システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミング I」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミング II」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習 I」「システム設計演習」を必修科目として履修する。また、ソフトウェアやシステムに関する開発設計の応用を選択科目の履修により学ぶ。

CP③-2) コンピュータの本質的な側面および、
 ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミング I」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミング II」「ソフトウェア設計・構築」を必修科目として履修する。また、情報系数学応用など選択科目の履修により、ソフトウェア構築の応用や高度化に対応する。

 CP③-3)
 基本的なネットワーク通信の仕組み、

 各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「ネットワーク技術」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築 I」「情報セキュリティ演習 I」から 1科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、ネットワークやセキュリティについて深くあるいは広く学ぶ。

CP③-4) データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に

付ける。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「データ構造と処理法」「データベース」を、それらを演習で習得するために「情報技術演習Ⅰ」を必修科目として履修する。また、「情報技術演習Ⅱ」を選択科目として設定した。

 CP③-5)
 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

でP③-1)~4)を通じて習得した知識・スキルを基に、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」「Webシステム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「スーパーコンピュータ」「ビッグデータ」「IoT」「AI」から1科目以上を選択必修科目として履修するほか、より応用力を高める際には選択必修科目からさらに選択して学ぶ。

上記 CP③-1)~5) に従った履修により、シ ステム開発に活用するために必要な「情報通信技術 に関する基礎的な知識・スキル」を習得する。

なお、職業選択科目においては、養成する人材像 に必要な知識・スキル、実践力を習得していく過程 で、さらに学びを深めることができるよう、上記の 必修科目・選択必修科目以外に、4 科目以上の履修 を行う科目編成となっている。選択科目には、経営 では「地方創生とイノベーション」「新興市場にお ける事業開発」「クロステックビジネスデザイン」 など、ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用 的な理論やケーススタディを学ぶ科目を配置して いる。情報通信技術では「オペレーティングシステ ム」「コンピュータアーキテクチャ」など情報通信 技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説するもの、「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求開発」など、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等についての知識やスキルをさらに深めることが可能である。選択科目の履修に当たっては、イノベーションプロジェクトやインターンシップなどでの振り返りをもとに、担任となる専任教員とイノベーションマネジャーによる個別面談や履修指導を行うことで、選択必修科目とあわせて適切な履修がなされるよう、指導を行っていく。

養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④ー1) ~2) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

 CP④-1)
 英語を用いて、ビジネスの現場で説明

 や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 II」「ビジネス英語実習 IV」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」

「英語ネゴシエーション」から1科目以上を選択必 修科目として履修する。さらに選択必修科目の中か ら履修することによりコミュニケーション能力の 幅が広がる。

CP④-2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎 的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英 <u>語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実</u> 習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履 修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景 の異なる人々と協働するために「実践英語:多文化 理解」「実践英語:日本文化」「英米文学演習」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文 化を学ぶ。また、経営や技術などの専門的な内容に ついて英語で応用・実践するために「実践英語:フ ァイナンス」「実践英語:イノベーション」「実践英 語:製造業」「実践英語: IoT」から1科目以上を選 択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を 設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう 実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修 することによりコミュニケーション能力の幅が広 がる。

上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④-1)~2)に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「時代の変化 に対応するビジネスの総合力」については以下の CP⑤のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP⑤ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

<u>CP①</u>~④を通じ習得した知識・スキルを統合し、 新たなサービスやビジネスを生み出すための実践 的かつ応用的な能力を養う科目として、「総合理論 演習」「総合実践演習」を必修科目として履修する。

CP⑤では、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用し、「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を習得する。

これらにより、養成する人材像がもつ「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」について、カリキュラム・ポリシーに従い、必要となる基礎的な知識・スキルと、これを応用・実践し知識・スキルを深める科目を設定し、これを修得するよう科目を編成している。

- (3) 教育課程の不断の見直しについて (中略)
- (4) 社会貢献、地域と一体化した教育

[53~58ページ]

(5) 卒業要件

卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、

- (2) 教育課程の不断の見直しについて (中略)
- (3) 社会貢献、地域と一体化した教育

[47~51ページ]

(5) 卒業要件

卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、

選択必修8単位)、職業専門科目82単位(臨地実務実習24単位を含む必修68単位、選択必修14単位)、展開科目20単位(必修8単位、選択必修12単位)、総合科目6単位(必修)を修得し、合計128単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得40単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。

学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

- ·基礎科目 20 単位
- 必修 12 単位

イノベーションの志、スタディスキル、英 語コア・スキルズⅠ、英語コア・スキルズ Ⅱ、リサーチ入門、キャリアデザインⅠ、 キャリアデザインⅡ

# 選択必修 8 単位

- ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、 ICT と人間から 2 単位以上
- ・数学基礎 A~C のうち 4 単位以上
- ・上記6単位以上を含む、8単位以上
- ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を 含む)
- 一必修 68 単位

マネジメント(経営学基礎)、マーケティン <u>グ基礎、法務リテラシーI、アカウンティ</u> ング入門、

スタートアップ基礎(起業論)、イノベーションプロジェクトI、イノベーションプロジェクトI ジェクトII、イノベーションプロジェクト III、イノベーションプロジェクトIV、イノ 数学基礎 A~C のうち 4 単位以上、数学基礎 A~C の 4 単位以上を含む 8 単位以上を選択必修)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位(追記))、展開科目 20 単位(必修 8 単位(追記))、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。

学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。

ベーションプロジェクトV、イノベーショ ンプロジェクトVI、ビジネスフィールドリ サーチI、ビジネスフィールドリサーチⅡ、 インターンシップI、インターンシップⅢ、 プログラミングI、プログラミングⅢ、デ 一タ構造と処理法、コンピュータとソフト ウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウ エア設計・構築、データベース、情報技術 演習I、システム設計演習

# 選択必修 14 単位

- ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から2単位以上
- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから2単位以上
- ・ネットワーク構築 I、情報セキュリティ 演習 I から 2 単位以上
- ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位
- ・上記8単位以上を含む、14単位以上

# 展開科目 20 単位

# 一必修8単位

ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ

# 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから2単位以上

・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実践英語:日本文化から2単位以上

・実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2単位以上

・上記8単位以上を含む、12単位以上

·総合科目 6 単位(必修)

総合理論演習、総合実践演習

#### (6) 履修モデル

(中略)

上記の養成する人材像を達成するために、全学生 が共通して履修すべき科目として、37科目を必修科 目と(削除)した。その内訳は、基礎科目(現代社会 基礎)7科目、職業専門科目24科目(うちビジネス基 礎科目群の4科目、ビジネス実践科目群11科目、 システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グ ローバルコミュニケーション)4科目、総合科目2科 目である。あわせて、選択必修科目として 12 科目 を設定した。内訳は基礎科目3科目、職業専門科目 4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科 <u>目群のうち所定の2科目、システムデザイン基礎科</u> 目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定 の1科目)、展開科目(グローバルコミュニケーショ ン)4科目である。これらの科目の履修を通じ、変化 し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に 関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション 能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図 している。選択必修科目を設け、それぞれの能力に ついて、基礎となる知識・スキルを習得する科目と、 その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修 得を行うことができるよう卒業要件を設定してい る。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合 でも、養成する人材像が備える能力を身につけるこ とができ、ディプロマ・ポリシーを実現することが

# (6) 履修モデル

(中略)

上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎4 科目、ビジネス実践11 科目、システムデザイン基礎9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目2 科目である。(追記) これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。(追記)

#### できる。

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして以下を提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた知識・スキルの修得を可能とさせる。

(中略)

また職業専門科目のうち情報通信技術については、1年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2年次の「ネットワーク構築演習 I」や3年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の知識、スキルを習得する。

グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3年次の「実践英語:日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4年次の「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。職業専門科目のうち経営については、幅広く経営

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の3パターンを展開する。

(中略)

幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した 課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得するために、経営科目において、 2年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業 のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題 解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課 題発見力・解決力を習得する。3~4年次に情報通信 技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決 の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修 する。

情報通信技術については、<u>(追記)</u>2年次の「<u>モバ</u> <u>イルサービス概論</u>」や3年次の「クラウド」などを 通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得 する。

グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。 具体的にはコミュニケーション力については、3年次の「英語ディス

に関する知識やその知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得する。2 年次に「アカウンティング応用」を通じ企業の経営状況の分析を深め企業の付加価値を高めるための知識を習得する。あわせて、「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3~4年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画・立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」をそれぞれ履修する。また、これに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する力を習得する。

② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル(資料 12-②-1、12-②-2)

(中略)

また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知識を習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には2年次の「英語アカデミックリテラシー」「英語通訳論」を通じ

カッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼン テーション」を通じ習得する。また2年次の「英語 ビジネスマネジメント」、3年次の「英語通訳論」、4 年次の「実践英語: IoT」「実践英語: イノベーショ ン」を通じて、ビジネスやサービスを説明するため の専門分野の理解を深め、国際社会において活躍す るための英語力を高める。

② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル(資料 12-②-1、12-②-2)

(中略)

また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を(追記)習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には2年次の「英語アカデミックリテラシー」を通じ、情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習得するための基本的な英語力を養成するとともに、

英語コミュニケーション力を身につける。「英語ネゴシエーション」を通じプロジェクトを進めるうえでの交渉力を習得する。また「実践英語:多文化理解」「実践英語:日本文化」を通じ、文化理解と英語コミュニケーション力を習得する。3年次の「実践英語:製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを広く習得する。3年次の「実践英語:製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。

(中略)

資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサー ビスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推 進する役割を発揮するために、1~2年次の必修科目 を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習 得したうえで、2年次に解析や情報処理の考え方や 技法として「情報系数学応用A」を、プロジェクト の立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システム のプロジェクト管理」を履修する。また、2年次に 「情報セキュリティ演習I」を通じ情報セキュリテ ィ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3年 次は(削除)「ソフトウェアプロセスと品質」を通 じソフトウェア開発の概念や改善手法を(削除)習 得する。また、技術の発展事例として「ビッグデー タ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践 演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な 技術やスキルを習得する。(削除)

(中略)

情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム 演習」<u>(削除)</u>起業してビジネスやサービスを生み 出すための知識やスキルを習得するとともに、2年

(追記) 3年次の「実践英語:製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。また「実践英語:多文化理解」「英語通訳論」「実践英語:日本文化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々との意思疎通を図り、協同していくための知識とコミュニケーション力を習得する。またプロジェクトを進めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーション」を通じ習得する。

(中略)

資料 12-2-1 の履修モデルでは、システムやサー ビスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推 進する役割を発揮するために、1~2年次の必修科目 を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習 得したうえで、2年次に解析や情報処理の考え方や 技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクト の立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システム のプロジェクト管理」を履修する。(追記) 3年次 は「システムインテグレーション」を通じ、情報通 信技術を用いたサービス改善・開発における課題発 見力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、 「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェ ア開発の概念や改善手法をそれぞれ習得する。ま た、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれ に関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履 修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキ ルを習得する。また、経営科目から「組織行動論」 を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネ ジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必 要な知識やスキルを習得する。

(中略)

情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム 演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を 通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すため 次に「情報セキュリティ演習 I」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図る。新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」を履修する。

あわせて経営科目では、財務・会計分野の<u>(削除)</u>「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。

グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスを進めるための具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、2年次の「実践英語:多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めるとともに、4年次の「実践英語:ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。

また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。

#### (7)履修指導方法

本学の履修指導としては、以下を実施する。

①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全学生対象)

学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、

の知識やスキルを習得する(追記)。

あわせて経営科目では、財務・会計分野の<u>「アカウンティング応用」</u>「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。

グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」「実践英語: 多文化理解」、4年次の「実践英語: ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において活躍するための英語力を高める。

(追記)

#### (7)履修指導方法

本学の履修指導としては、以下を実施する。

①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全 学生対象)

学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、

学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、履修モデル、卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布<u>のうえ履修</u>指導に用いる。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。

学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、 (追記) 卒業要件、履修登録の注意点等を掲載し た手引きを作成し、全学生に配布<u>する</u>。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。 (新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 資料 12 履修モデル

# 新

# [資料 12-① 履修モデル]

① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年		Ι
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科	現代社会	1	必修	前期 前期 後期	● イノベーションの志 ● スタディスキル ● 英語コア・スキルズ I ● リサーチ入門 ■ 英語コア・スキルズ II	2 2 2 2 2	前期	● キャリアデザイン I	1	後期	● キャリアデザインII	1				
: 目	基礎		選択		<ul><li>○ 数学基礎A</li><li>○ 数学基礎B</li><li>○ 数学基礎B</li></ul>			② 職業倫理 ② ICTと人間 単位数	2 2		単位数	1		単位数	0	20
		ビジネス基礎	必修選択	前期 後期	平山坂 ● マネジジント(経営学基礎) ● マーケティング基礎 ● 法務リテラシー I ● アカウンティング入門	2 2 2		平以双	5		<b>平</b> 垃圾	'		平山奴	0	20
	経営	ビジ 用ネ 応	選択					○ アカウンティング応用 ○ 問題形成と問題解決	<u>2</u> 2	後期	○ イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン <u>(削除)</u>	2	
職業専門		ビジネス実践	必修	後期	<ul><li>① イノベーションブロジェクト I</li><li>① イノベーションブロジェクト I</li><li>② スタートアップ基礎(起業論)</li></ul>	2	前期 後期	● イノベーションプロジェクトⅢ ● ビジネスフィールドリサーチ I ● イノベーションプロジェクトⅣ ● ビジネスフィールドリサーチ I	2	前期	<ul><li>● イノベーションプロジェクト♥</li><li>● インターンシップ I</li><li>● インターンシップ I</li></ul>	12 12		● イノベーションプロジェクトVI	2	
科目	情報	ステムデザイン		前期 前期 後期 後期		2	前期 後期	<ul><li>● ソフトウェア設計・構築</li><li>● データベース</li><li>● 情報技術演習 I</li><li>● システム設計演習</li></ul>	2 2 2 2							
	報通信技術	- 基礎 ザイン応用	選択選択	前期	<u>オペレーティングシステム</u>	2		(創除)		後期	Ω クラウド	2				
			選択		単位数	26		<ul><li>○ ネットワーク構築 I</li><li>単位数</li></ul>	22		単位数	30		単位数	4	82
展開	グローバ	_			<b>●</b> ビジネス英語実習 I <b>●</b> ビジネス英語実習 II	2	後期	<ul><li>● ビジネス英語実習Ⅲ</li><li>● ビジネス英語実習Ⅳ</li></ul>	2							
科目	ーションュ		選択		NV 11 00		後期	<u>〇</u> 英語ビジネスマネジメント	2		<ul><li>○ 実践英語:日本文化</li><li>○ 英語ディスカッション・ディベート</li></ul>		前期	<ul><li>○ 英語プレゼンテーション</li><li>○ 実践英語: IoT</li><li>○ 実践英語: イノベーション</li></ul>	2 2	
総合			必修		単位数	4		単位数	6	後期	単位数 ● 総合理論演習	2	通期	単位数 ● 総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数 必修科目…科目名に●	14	128

<u>必修科目…科目名に●</u> 選択必修科目…科目名に〇 選択科目…印なし



# [資料 12-②-1 履修モデル]

②-1 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発 プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修		● イノベーションの志	2		● キャリアデザイン I	_	_	● キャリアデザイン II	1				
					■ スタディスキル	2		_								
					● 英語コア・スキルズ I	2										
	現				● リサーチ入門	2										
基	代				<ul><li>英語コア・スキルズ II</li></ul>	2										
礎和	社合	_														
科目	会基		選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	O 先端グローバル社会	2							
	礎			後期	O 数学基礎C	2	後期	O 科学史	2							
					M I L W			M / L GL	_		M / L GL			M 11 dt		
$\vdash$			Nr. Mr		単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
		Ľ	北雪		● マネジメント(経営学基礎)	2										
		ジュ			● マーケティング基礎	2										
		ネス			● 法務リテラシー I	2										
		基	選択	泛州	● アカウンティング入門		ᇸ	○ オペレーションズマネジメント	2				-		1	
		礎	2571				194 Liu	<u>○</u> 4 -0 - >∃>∧ ₹₩>/>P	'			1	l			
	経	スビ	選択			1	前期	○ 法務リテラシーⅡ	2			1	t			
	営	応ジ							1 -			1	l			
		用ネ														
		ビジ	必修		<u>●</u> イノベーションプロジェクト I						● イノベーションプロジェクトV			<u>●</u> イノベーションプロジェクトVI	2	:
		ネ						<u>●</u> ビジネスフィールドリサーチ I				12	1			
職		ス		後期	● スタートアップ基礎(起業論)	2		<u>●</u> イノベーションプロジェクトIV				12				
業専門		実践					後期	<u>●</u> ビジネスフィールドリサーチ II	2							
門			必修	前期	● プログラミング I	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2				1			
科目		Ź			● データ構造と処理法			● データベース	2							
-		<del>7</del>			<ul><li>■ コンピュータとソフトウェア基礎</li></ul>			情報技術演習 I	2							
		基ム礎デ			<ul><li>プログラミング II</li></ul>			<ul><li>システム設計演習</li></ul>	2							
	情	ザ		後期	◆ ネットワーク技術	2										
	報通	イン	選択				後期	情報系数学応用B	2							
	信		-22.100				46.110		<u> </u>	26.00						
	技	デシ 応ザス	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質 〇 ビッグデータ	2				
	術	ルッス用イテ								1友州	<u>〇</u> にックテータ (削除)					
		ンム														
		2 * 2	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習 I	2							
		7 # h 1 a 7 9 l														
		, ,			単位数	24		単位数	26		単位数	30		単位数	2	82
	グ		必修	前期	<ul><li>● ビジネス英語実習 I</li></ul>	_		● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
					● ビジネス英語実習 II (実習)			<ul><li>● ビジネス英語実習IV</li></ul>	2				l			
展	ケー   バ	_														
開科	・ハシル		選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	<u>O</u> 英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
目	3 7						後期	○ 実践英語:多文化理解	2	前期	○ 実践英語:日本文化	2				
	ンミュ										○ 実践英語:製造業	2	_			
411					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合		_	必修			<u>L</u>				後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	39		合計単位数	39		合計単位数	8	128
									- 55			- 55		心修科日…利日夕厂		

必修科目…科目名に● 選択必修科目…科目名に〇 選択科目…印なし



# [資料 12-②-2 履修モデル]

②-2 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履 修モデル

					1年		1	2年			3年		1	4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
П			必修	_	● イノベーションの志	2	-	キャリアデザイン I		後期	● キャリアデザイン II	平位 4	797	146.0	平位	平位
			92/195°		<u>■</u> スタディスキル	2	HU <del>JV</del> I	■ キャップテッコン 1	'	1支州	■ キャッチテッコンⅡ	'				
					▼ ペラティヘモル ● 英語コア・スキルズ I	2										
	現					2										
æ					● リサーチ入門	2										
礎	代社	_		後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
基礎科目	会基	_	-98 HD	<del>26. H</del> 9	〇 對帶其群人		<del>26.</del> #8	○ 先端グローバル社会				+	-			$\vdash$
日	礎		选択		<ul><li>○ 数学基礎A</li><li>○ 数学基礎C</li></ul>		前期後期	○ 科学史	2							
	nc.			1支州	<u>○</u> 奴子基礎U	2	1支州	○科子史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
$\vdash$			必修	前州	<ul><li>▼ マネジメント(経営学基礎)</li></ul>	2		<b>平位</b> 数	J		+世級	_		<b>平位</b> 数	·	20
		Ľ	2019	1 1	▼ マーケティング基礎	2										
		ジネ			■ 法務リテラシー I	2										
		イス			▼ 広場リアフレー1  ■ アカウンティング入門	2										
		基	選択	1久州	<u> </u>		前期	○ オペレーションズマネジメント	2							$\vdash$
		礎	JEE I/C				נשלנים	<u>0</u> % 10 030X (4.000)								
	経	スビ	選択			-	前期	○ 法務リテラシー II	2			+				$\vdash$
	営	応ジ							_							
		用ネ														
		Ľ	必修	前期	● イノベーションプロジェクト I	2	前期		2	通期	<u>●</u> イノベーションプロジェクトV	2	通期	<u>●</u> イノベーションプロジェクトVI	2	
		ジュ		後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチ I	2	前期	● インターンシップ I	12				
職		ネス		後期	● スタートアップ基礎(起業論)	2	後期		2	後期	● インターンシップ II	12				
業		実					後期	● ビジネスフィールドリサーチ 🏾	2							
職業専門科目		践														
科		シ	必修	前期	● プログラミング I (実習)	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
		テ		前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習 I	2							
		基ム礎デ		後期	● ブログラミング Ⅱ (実習)	2	後期	<b>●</b> システム設計演習	2							
	情	ザ		後期	● ネットワーク技術	2										
	報	1	選択							前期	情報系数学応用C	2				
	通信	ン														
	技		選択					<u>(削除)</u>					前期	○ スーパーコンピュータ	2	
	術	応ザス														
		用 イテ ンム														
		2 *	選択	H			前期	○ ネットワーク構築 I	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				$\vdash$
		7 4 1	251/				後期	ネットワーク構築Ⅱ	2	13773	110100111111111111111111111111111111111	_				
		7 4 1 4 9 9 1														
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
	グ		必修	前期	● ビジネス英語実習 I (実習)	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習 I (実習)	2	後期	● ビジネス英語実習IV	2							
展	ケー	_														
	バ シル		選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
目	∃ ⊐						後期	<u>〇</u> 実践英語:多文化理解	2	後期	○ 実践英語:日本文化	2				
	ンミ									後期	○ 実践英語:製造業	2				
	ュ				単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合		-	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
総合科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128
_														必枚封 日…封 日夕に●		

必修科目…科目名に● 選択必修科目…科目名に○ 選択科目…印なし



# [資料 12-③ 履修モデル]

③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

										_						1
l					1年			2年		***	3年		-	4年	Lwa	W 11
				期	科目名	単位	_	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修		● イノベーションの志	2		● キャリアデザイン I	1	後期	● キャリアデザイン II	1				
					● スタディスキル	2										
					● 英語コア・スキルズ I	2										
現					● リサーチ入門	2										
基代				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
礎 社 会		-														
目基			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	〇 先端グローバル社会	2							
礎					○ 数学基礎B	2										
					○ 数学基礎C	2										
1   1																
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
	-		必修	atr 받유	<ul><li>▼ マネジメント(経営学基礎)</li></ul>	2		平位数			<b>平世</b> 数	_		<b>平区</b> 数	·	20
1   1		Ľ	26 NS			2										
1   1		ジ			● マーケティング基礎											
		ネ			<u>●</u> 法務リテラシー I	2										
		ス 基		後期	● アカウンティング入門	2										
		礎	選択													
	ļ		-22 TC				/// V'''	0 = (1) = 3.88		/// H=	in the desirate to a second	<u> </u>	// N=	THERE A S.I. A S.I. In THE	_	<u> </u>
経		Ľ	選択				後期	○ ファイナンス入門		後期			後期	税務会計・会計処理	2	
営	1	応ジ用ネ								仮期	O コーポレートファイナンス	2				
		カイス														
1   1	-		N Mr	<del>atr</del> #B		-	atr HB		-	'X #0		-	'X #B			
1   1		ジ	9E/195										地州	■ 17ペーションプロジェットVI		
RMs		ネ						<u>●</u> ビジネスフィールドリサーチ I				12				
業		ス		後期	<u>●</u> スタートアップ基礎(起業論)	2		<u>●</u> イノベーションプロジェクトIV		後期	● インターンシップ II	12				
専		実践					後期	<u>●</u> ビジネスフィールドリサーチ II	2							
門 —— 科	+		必修	前期	_ プログラミング I	2	前期		2						1	
目		Ź			● データ構造と処理法	2	前期	<u></u> データベース	2							
		テ			<ul><li>■ コンピュータとソフトウェア基礎</li></ul>	2	1	● 情報技術演習 I	2							
		基ム			<ul><li>プログラミングⅡ</li></ul>	2		<ul><li>システム設計演習</li></ul>	2							
		礎デ				2		▼ ノベノム政司   映自								
情報		ザイ	-22 TO	後期	● ネットワーク技術	2		0 = 0 (11 11 10 = 100 = 0	+							
通	i	ン	選択				削粉	○ モバイルサービス概論	2							
信		デシ	選択			-	前期	○ Webシステム演習	2						-	
技術		・ ザス	Z21/\				1370	<u></u>	-							
PIS		用イテ														
		ンム														
		2 + + + +	選択				後期	<ul><li><u>○ 情報セキュリティ演習 I</u></li></ul>	<u>2</u>							
1   .		4 1 7 7 7 1														
		9 1			単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	1	82
			心体	前钳	<ul><li>単ビジネス英語実習 I</li></ul>			● ビジネス英語実習Ⅲ	2		<b>平世</b> 数	- 00		<b>平位</b> 数	7	02
= 5	グ		2019		● ビジネス英語実習Ⅱ		1	<ul><li>■ ビジネス英語実習IV</li></ul>	2							
展ケー				1支州	■ しクイス英語美育Ⅱ		1支州	■ こう不入英語英音Ⅳ								
開一/	バ	-	選択	$\vdash$		-	55, HO	○ 英語ビジネスマネジメント	-	55, HO	O	-	<del>20. H</del> 0	○ 実践英語:ファイナンス	-	├
科シル			近が			1			2	泛州	<ul><li>英語ディスカッション・ディベート</li></ul>	2		I —	2	
目ョニンミ						1	夜州	○ 実践英語:多文化理解	2					<ul><li>○ 英語プレゼンテーション</li><li>○ 英語ネゴシエーション</li></ul>	2	
	고				単位数	4		単位数	8		単位数	0	逐期	単位数	6	20
総	$\dashv$				<b>平</b> 应数	4		平世数	8			2			6	20
合			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
-	_				合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に● 選択必修科目…科目名に○ 選択科目…印なし

# | 日 | [資料 12-① 履修モデル]

① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	·	単位	期	科目名	単位	期		単位	期	科目名	単位	単位
			必修		イノベーションの志			キャリアデザイン I			キャリアデザイン II	1	1			
					スタディスキル	2										
					英語コア・スキルズ [	2										
					リサーチ入門	2										
#	現															
基礎科	代 社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2										
科	会	_				<u> </u>						_	ļ			<b>↓</b>
目	基礎		選択		数学基礎A			職業倫理	2							
	~			後期	数学基礎B	2	後期	ICTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
			心修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2		平 位 奴	3		<b>平</b> 位数	+-'		<b>丰</b> 世数	0	20
		Ę	יפיו עבי		マーケティング基礎	2										
		ジ				2										
		ネス			法務リテラシー I											
		<u>*</u>		後期	アカウンティング基礎	2						_	ļ			<b>↓</b>
		礎	選択													
		ť	選択			+	前押	マーケティング応用	2	经即	イノベーション特論	-	新炉	クロステックビジネスデザイン	2	$\vdash$
	経	ジ	251/					問題形成と問題解決	2		17. V 232 17 mm			デザインと経営	2	
	営	用ネス					EX.701	INDENTIFICATION OF THE PARTY OF					Hilloon	7 7 12 CATE	_	
		応														
		ť	必修	前期	イノベーションプロジェクト I	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
		ジ		後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチ I	2	前期	インターンシップ I	12				
職		ネ			スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトⅣ			インターンシップ Ⅱ	12				
業		ス実		152,701	ハア 「アフン 巫旋(起来論)			ビジネスフィールドリサーチェ	2		127 2277 1	'-	1			
業専門科		践					EX 7VI	2545054 701 77 7 1	-							
科		シ	必修	前期	プログラミング I	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
目		ステ		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
		<u>ب</u>		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習 I	2							
		デ			プログラミング 🏻		ı	システム設計演習	2							
	情	ザイ			ネットワーク技術	2			_							
	報	ン	選択	52,771	(追記)	Ť	前期	モバイルサービス概論	2				1			1
	通	基礎			· <del></del>											
	信技	ザシ	選択							後期	クラウド	2	!			
	術	イスンテ														
		応ム														
		用デ	~88≠m			-		('A@7)	_			-	<u> </u>			₩
		7 + h	選択					(追記)								
		7 + 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
					単位数	24		単位数	22		単位数	30	)	単位数	6	82
	グ		必修	前期	ビジネス英語実習 I	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ	2				1			
				後期	ビジネス英語実習 Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2				1			
展開	ケー	_														<u> </u>
科	シル		選択				後期	英語ビジネスマネジメント	2	前期	<u>英語通訳論</u>	2	前期	英語プレゼンテーション	2	
目	3 7					1				後期	英語ディスカッション・ディベート	2	前期	実践英語:IoT	2	
	ンミ												後期	実践英語:イノベーション	2	
	그				単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
合科目																
目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
$\vdash$					合計単位数	42		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	16	128
					ᆸᇚᆍᄖᄍ	42		山町平世数	33		山川平世数	3/		ᆸᇚᆍᄧᄍ	10	128

# 

②-1 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発 プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザイン I	- 1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
					英語コア・スキルズ [	2										
	現				リサーチ入門	2										
其	現代					_										
基礎科目	社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2										
科	숲	_														
目	基		選択		数学基礎A			先端グローバル社会	2							
	礎			後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
		,	必修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2										
		ビジ		前期	マーケティング基礎	2										
		ネ		後期	法務リテラシー I	2										
		ス			アカウンティング基礎	2										
		基	選択	100,791	77372 712 7 EME	_	前畑	オペレーションズマネジメント	2			-				
		礎	221/				נטקנים	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								
	経	スビ	選択				<b>後期</b>	組織行動論	2			-				
	営	応ジ	251/				12,791	<u>*0.498.1.1.201.000.</u>								
	_	用ネ														
			心体	前期	イノベーションプロジェクト I	2	新期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	滿曲	イノベーションプロジェクトⅤ	2	滿畑	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
		ジ	2C) 1199		イノベーションプロジェクト II			「「ジネスフィールドリサーチ I (実習)			インターンシップ I (実習)	12		17.4 23226217171		
		ネ														
職		ス		伎别	スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトⅣ	2	伎别	インターンシップ Ⅱ (実習)	12				
業		実					後期	ビジネスフィールドリサーチ Ⅱ (実習)	2							
職業専門科		践														
科		シ	必修	前期	プログラミング I (実習)			ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
		テ		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習 I	2							
		基ム礎デ		後期	プログラミング Ⅱ (実習)	2	後期	システム設計演習	2							
	情	促げ		後期	ネットワーク技術	2										
	報		選択				後期	情報系数学応用B	2							
	通	ン	~					17187138 7 70713								
	信	デシ	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
	技術	応ザス	221/				(X,70)			後期		2				
	1419	用イテ									ビッグデータ	2				
		ンム														
		9 A 2 7	選択					(追記)								
		7 + h / 1 7 1 1														
		9 1														
					単位数	24		単位数	24		単位数	32		単位数	2	82
	グ		必修	前期	ビジネス英語実習 I (実習)	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ(実習)	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ(実習)	2	後期	ビジネス英語実習IV(実習)	2							
展	ケー ーバ															
展開科目	1 13	_	選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
科	シル		~==,(					実践英語:多文化理解			実践英語:日本文化	2			١ ١	
	ョコンミ						汉州	へぬへ品・タヘル生所			実践英語:製造業	2				
	_ ユ				単位数	4		単位数	8		美线央語: 製垣未 単位数	6		単位数	2	20
411					干世数	4		干以数	- 8		干以双	0		干世数		20
総合科目		-	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	41		合計単位数	8	128
														(追記)		

# |日| [資料 12-②-2 履修モデル]

②-2 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術 関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す 履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履 修モデル

					1年			2年			3年			4年		
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
			必修		イノベーションの志	2		キャリアデザイン I	1		キャリアデザインⅡ	1	///	11 11 11	T 144	- I
			2015		スタディスキル	2	133703	( ( ) ) )   - 1		150,701	(()),,,,,,,	1 '				
					英語コア・スキルズ I	2										
	***			ı		_										
基	現代				リサーチ入門	2										
礎	社			後期	英語コア・スキルズ Ⅱ	2										
科	会	-														
目	基		選択	前期	数学基礎A		前期	先端グローバル社会	2							
	礎			後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
			必修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2										
		ビジ		前期	マーケティング基礎	2										
		ネ			法務リテラシー I	2										
		ス			アカウンティング基礎	2										
		基	選択	EX 791	7 ガラン 7 1 2 7 基ル		前期	オペレーションズマネジメント	2							
		礎	AZ IV				נטלנים	3 10 7377 (1.775)	_							
	経	スピ	選択					(追記)				1				
	営	応ジ	AE IV					<u>\\\</u>								
		用ネ														
		Ľ	心修	前期	イノベーションプロジェクト I	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトVI	2	
		ジ	2015		イノベーションプロジェクトⅡ			ビジネスフィールドリサーチ I (実習)			インターンシップ I (実習)	12	X27V1	12 . 22222211	-	
		ネ			スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトIV			インターンシップ I (実習)					
職		ス		仮州	スタートアツノ参旋(起来調)	2	後期			仮州	1フターフンツノ I (美質)	12				
業専		実					後期	ビジネスフィールドリサーチ Ⅱ (実習)	2							
門		践														
科		シ	必修		プログラミング I (実習)		前期	ソフトウェア設計・構築	2							
目		ス		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
		テ 基 ム		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習I	2							
		礎デ		後期	プログラミング Ⅱ (実習)	2	後期	システム設計演習	2							
	情	ザ		後期	ネットワーク技術	2										
	報	1	選択				後期	情報系数学応用B	2	前期	情報系数学応用C	2				
	通信	ン														
	信 技	デシ	選択										前期	スーパーコンピュータ	2	
	術	応ザス														
		用イテ														
		ンム														
		2 * ± 7	選択				前期	ネットワーク構築 I	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
		7 + h					後期	ネットワーク構築 Ⅱ	2							
		9 1			W 11 W			W // W			W 11 W					
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
	グ		必修		ビジネス英語実習 I (実習)		前期	ビジネス英語実習Ⅲ(実習)	2							
_	= -			後期	ビジネス英語実習 Ⅱ (実習)	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ(実習)	2							
展開	ケー															
用科	シル		選択			1	前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
目	3 7						後期	実践英語:多文化理解	2	後期	実践英語:日本文化	2				
	ンミ									後期	実践英語:製造業	2				
	ュ				単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総										44.440				40 4		
松合		_	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
科																
目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		△-1-13 /-> 3h	10	120
					口川平山数	42		口引手过数	37		口町平位数	39		合計単位数	10	128

# |日| [資料 12-③ 履修モデル]

③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

					1年			2年			3年			4年	T
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名 単位	単位
			必修	_	イノベーションの志			キャリアデザイン I	1		キャリアデザイン Ⅱ	1			T
					スタディスキル	2									
					英語コア・スキルズ [	2									
	現			ı	リサーチ入門	2									
基	代				英語コア・スキルズⅡ	2									
礎	社	_		12,707	天山コノ・ハイルハ 1										
科目	会基		選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2						1
п	礎			ı	数学基礎B	2									
				後期	数学基礎C	2									
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数 (	0 20
		Ľ	必修	前期	マネジメント(経営学基礎)	2									T
		ジ		前期	マーケティング基礎	2									
		ネ		後期	法務リテラシー I	2									
		ス		後期	アカウンティング基礎	2									
		基礎	選択												T
		.~													
	経	Ľ	選択					アカウンティング応用			地域創生とイノベーション			税務会計・会計処理 2	2
	営	応ジ用ネ					後期	ファイナンス入門	2	後期	コーポレートファイナンス	2			
		カホス													
		ť	必修	前期	イノベーションプロジェクト I	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	涌期	イノベーションプロジェクト∇	2	涌期	イノベーションプロジェクトVI 2	2
		ジ	~		イノベーションプロジェクトⅡ			ビジネスフィールドリサーチ I			インターンシップ I	12			
職		ネ		ı	スタートアップ基礎(起業論)			イノベーションプロジェクトⅣ			インターンシップ Ⅱ	12			
業		ス実		100,701	N, I, J, Enc (NEX min)	_		ビジネスフィールドリサーチェ	2		127 2772				
職業専門		践							_						
科		シ	必修	前期	プログラミング I	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2						
目		ス		前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2						
		7		前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習 I	2						
		基ム礎デ		後期	プログラミング 🛚	2	後期	システム設計演習	2						
	情	促げ		後期	ネットワーク技術	2									
	報	1	選択												
	通信	ン													
	技	デシ						Webシステム演習	2						
	術	応 ザス 用 イ テ					前期	<u>インタラクティブ・システムデザイン</u>	2						
		カイリンム													
		2 *	選択					(追記)							1
		サキャット イユリ													
		9 1													
			N. 16-	46.45	単位数	24	44.440	単位数	24		単位数	30		単位数	4 82
	_ グ		必修		ビジネス英語実習Ⅰ			ビジネス英語実習皿	2						
展	ニロ ケー			俊别	ビジネス英語実習 Ⅱ	2	俊期	ビジネス英語実習Ⅳ	2						
展開科	上バ	-	選択				华加	英語ビジネスマネジメント	2	经相	英語ディスカッション・ディベート	2	aff 世R	実践英語:ファイナンス	2
科目	シル		251/					実践英語:多文化理解	2	12,797	英品 / 1人が///コン・/ 1・			英語プレゼンテーション	
Ħ	ョコンミ						1友州	关战失品: 岁又11年胜						英語ネゴシエーション	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2	皮州	単位数 (	
総					T 14-30			THM							
合			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習 4	1
科目					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4 6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数 14	4 128

(追記)

(新旧対照表) 別紙 3 (設置の趣旨等を記載した書類 資料 19 カリキュラムマップ)

# (新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

			新						旧		
		T									
調書番号	専任等区分	7 リカ ° ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	調書番号	専任等区分	フリカ <sup>°</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
2	専	†カジマ(カワムテ)リュウイチ 中嶋(川村)隆一 < <u>令和2年</u> 4月>	アカウンティング入門 アカウンティング応用 ファイナンス 総合理論演習 総合実践演習	10 <u>4</u> 2 <u>2</u> 4	5 2 1 1 1	2	専	ナカン゙マ (カワムラ) リュウイチ 中嶋 (川村) 隆一 < <u>令和 2 年</u> 4 月 >	アカウンティング入門 アカウンティング応用 ファイナンス 総合理論演習 総合実践演習	10 2 2 2 2 4	5 <u>1</u> 1 <u>1</u> 1
調書番号	専任等区分	7 リカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
4	専	エイドリアン デイビッド チュオック Adrian David Cheok <会和2年4月>	AI ネットワーク技術 データサイエンス IoT	1 5 2 <u>2</u>	1 5 2 <u>2</u>	4	専	エイト*リアン デ*イト*ゥト* チェオック Adrian David Cheok <平成 32 年 4 月>	AI ネットワーク技術 データサイエンス IoT	1 5 2 <u>1</u>	1 5 2 <u>1</u>
										_	-
調書番号	専任等区分	フリカ・ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の 名称	担当単位数	年間開講数	調書番号	専任等区分	フリカ*ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
5	専	ヤマ <i>バ</i> チ マザト 山内 正人 < <u>令和 2年</u> 4 月>	インターンシップ I インターンシップ II ネットワーク技術 ネットワーク構築 I ネットワーク構築 II ネットワーク構築 II	12 12 5 6 2 2	1 1 5 3 1 1	5	専	ヤマ/ウチ マサト 山内 正人 < <u>平成 32 年 4</u> 月>	インターンシップ I インターンシップ II ネットワーク技術 ネットワーク構築 I ネットワーク構築 II ネットワーク構築 II	12 12 5 2 2	1 1 5 1 1
		,						T			
調書番号	専任等区分	フリカ <sup>°</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	調書番号	専任等区分	フリカ゛† 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
			情報システムのプロジェク ト管理	2	1			とラヤマ トシヒロ	情報システムのプロジェク ト管理	2	1

			情報セキュリティ演習I	<u>6</u>	3					情報セキュリティ演習I	2	1
			情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1					情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1
調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
			スタディスキル	10	5					スタディスキル	10	5
			ビッグデータ	2	2					ビッグデータ	<u>1</u>	1
14	実(研)	カトウ ナオト 加藤 直人	インターンシップ I	12	1		14	実(研	から ナオト 加藤 直人	インターンシップ I	12	1
	0	< <u>令和2年</u> 4月>	インターンシップⅡ	12	1			)	< <u>平成 32 年 </u> 4 月>	インターンシップⅡ	12	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1
調書番号	専任等区分	フリカ <sup>°</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
			情報技術演習 I	10	5					情報技術演習 I	10	5
			情報技術演習Ⅱ	2	1					情報技術演習Ⅱ	2	1
<u>⑤</u>	実(研)	カマタニ オサム 鎌谷 修 < <u>令和2年</u> 4月>	IoT	2	<u>2</u>		<u>15</u>	実(研)	カマタニ オサム 鎌谷 修 < <u>平成 32 年 </u> 4 月 >	IoT	1	1
			総合理論演習	2	1					総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1
			1	1	1	'	<u> </u>			L	1	
調書番号	専任等区分	7 リカ ° † 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>°</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
			数学基礎 B	10	5					数学基礎 B	10	5
	4	<i>አ</i> ታያ <i>ና                                    </i>	情報系数学応用 A ビッグデータ	4 2	2 2				<i>አ</i> ታያብ	情報系数学応用 A ビッグデータ	4 <u>1</u>	2 1
17	実(研)	落合 慶広 < <u>令和2年</u> 4月>	AI Web システム演習	1 2	1		17	実(研)	落合 慶広 < <u>平成32年</u> 4月>	AI Web システム演習	1 2	1
		•	総合理論演習	2	1					Web システム演者 総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1					総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛† 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の 名称	担当単位数	年間開講数	現 職 (就任年月)	調書番号	専任等区分	フリカ゛ ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	担当授業科目( 名称	担当単位数	年間開講数	現 職 (就任年月)
			ビジネスフィール ドリサーチ I	2	1	株式会社 ドワンゴ ICT サービス 本部長 (平 29.1) カドカワ 株式会社 情報 システム部 部長 (平 30.5)				ビジネスフィー ドリサーチ I	2	1	株式会社 ドワンゴス 本部 本部長 (平 29.1) カドカウ社 情報 システム部
<u>⑥</u>	実み	<sup>カガ</sup> ミ シゲオ 各務 茂雄 < <u>令和2年</u> 4月>	ビジネスフィール ドリサーチⅡ	2	1	株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局 局長 (平 30, 10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31, 4)	<u>24</u>	実み	<sup>力が"ミジケ"オ</sup> 各務 「茂雄 < <u>平成 32年</u> 4月>	ビジネスフィー ドリサーチⅡ	・ル 2	1	部長 (平 30, 5) 株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局 局長 (平 30, 10)
			<u>クラウド</u>	2	1	株式会社 KADOKAWA 教行役員 ICT サービス 局 局長 (平 30, 10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31, 4)				(追加)			カドカワ 株式会社 ICT サービス 本部長 (平 30. 5)
加州地名上	- ,	専任	担当授業	科目の	の名称	担 年間開 雄位 数数	HEET HAVE ASSESSED.	音番号	専 任 等 氏 名 文 く 就任(予定)年	担当抵	·美科目(	の名称	担当単位数
2	<u>5</u>	実 境 真良 < <u>令和2年</u> 4	Į.			10 5 4 2	2	<u>25</u>	実	Į.			10 5 2 1

# (新旧対照表) 実務の経験等を有する専任教員一覧

新	旧
番号	番号
<u>16</u>	<u>13</u>
調書番号	調書番号

15 <u>(5)</u> フリガナ・氏名・<就任(予定)年月> フリガナ・氏名・<就任(予定)年月> カマタニ オサム カマタニ オサム 鎌谷修 鎌谷 修 <<u>平成32年</u>4月> <<u>令和2年</u>4月> 番号 番号 <u>20</u> 19 調書番号 調書番号 6 24フリガナ・氏名・<就任(予定)年月> フリガナ・氏名・<就任(予定)年月> カカ゛ミ シケ゛オ カカ゛ミ シケ゛オ 各務 茂雄 各務 茂雄 <<u>令和2年</u>4月> <<u>平成32年</u>4月>

(改善事項) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

## 3. 【全体計画審査意見5の回答について】

<アドミッション・ポリシーで求める人材が不明確>

アドミッション・ポリシーの説明において、①②と③若しくは④の項目に当てはまる者を受け入れる方針とあるが、4つの項目の幾つかに当てはまれば良いのか、それとも、4つ全ての項目に当てはまれば良いのか、明確にすること。

# (対応)

アドミッション・ポリシーの説明において、受入方針①~④4つの項目の幾つかに当てはまれば良いのか、それとも、4つ全ての項目に当てはまれば良いのかとのご指摘を踏まえ、アドミッション・ポリシーの説明を明確にするため、説明の一部である「①②と③もしくは④の項目」を「①②③④全ての項目」に修正することとする。なお、アドミッション・ポリシーの説明修正に伴い、「入学者選抜方法とアドミッション・ポリシーとの対応表」と「設置の趣旨等を記載した書類」の整合をはかるため、設置の趣旨等を記載した書類にある一般入試の選抜方法に、「国語・外国語(英語)・数学」の「学力検査」だけでなく、「調査書」による「書類審査」を追加した。

## <アドミッション・ポリシー>

アドミッション・ポリシーの冒頭文を以下に改める。

本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

## <一般入試の選抜方法>

一般入試の選抜方法に関して、より明確にするため、「設置の趣旨等を記載した書類」の「9.入学者選抜の概要」(2)表4及び参考資料21、一般入試箇所に「書類審査」を加える。

#### ①学力検査

- ・国語 (国語総合(古文、漢文を除く))
- ・外国語 (コミュニケーション英語 I・Ⅱ・Ⅲ、英語表現 I・Ⅱ)
- ・数学(出題範囲は数学 I、数学A)

## ②書類審査

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類(26、65、66ページ)

新	旧
[26ページ]	[26ページ]
■アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)	■アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)
本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全	本学の教育理念・目的に共感し、 <u>以下の項目につい</u>

<u>ての</u>項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

て、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

# [65ページ]

(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

本学の教育理念・目的に共感し、<u>以下の①②③④</u> <u>全ての</u>項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

# [66ページ]

表 4 ◆各選抜方法

入試	入試	選抜方法
種別	名称	
一般	3 教科型	①学力検査
入試	入試	・国語
		国語総合(古文、漢文を除
		<)
		・外国語
		(コミュニケーション英
		語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現
		I • II)
		・数学
		(数学 I 、数学A)
		②書類審査

# [57ページ]

(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

本学の教育理念・目的に共感し、<u>以下の項目について、①②と③もしくは④の</u>項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

## [58ページ]

表 4 ◆各選抜方法

入試	入試	選抜方法
種別	名称	
一般	3 教科型	(追記)
入試	入試	<ul><li>国語</li></ul>
		国語総合(古文、漢文を除
		<)
		・外国語
		(コミュニケーション英
		語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現
		I • II)
		・数学
		(数学 I 、数学A)
		_(追記)

# (新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 資料 13 養成する人材像と3つのポリシー

新	旧
アドミッション・ポリシー	アドミッション・ポリシー
本学の教育理念・目的に共感し、 <u>以下の①②③④</u>	本学の教育理念・目的に共感し、 <u>以下の項目につ</u>
<u>全ての</u> 項目に当てはまる人を受け入れる方針であ	いて、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を
る。	受け入れる方針である。

(新旧対照表)設置の趣旨等を記載した書類 資料 21 入学者選抜試験方法とアドミッション・ポリシーとの対応表

新			III			
一般入試	3 教科型 入試	①学力検査 (削除) 国語総合(古文、漢文を除 く) 英語(出題範囲はコミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現 I・II) 数学(出題範囲は数学 I、 数学A) ②書類審査	一般入試	3 教科型入試	(追記) 国語・英語・数学 3 教科受 <u>験</u> 国語総合(古文、漢文を除 く) 英語(出題範囲はコミュニケーション英語 I・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現 I・Ⅱ) 数学(出題範囲は数学 I、数学A) (追記)	
(参照) ■アドミッション・ポリシー 本学の教育理念・目的に共感し、 <u>以下の①②③④</u> <u>全ての</u> 項目に当てはまる人を受け入れる方針である。			本学の製	ミッション・ 教育理念・目	ポリシー 的に共感し、 <u>①②と③もしく</u> はまる人を受け入れる方針で	

(是正事項) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

## 4. 【全体計画審査意見10の回答について】

<展開科目の必修・選択の設定が不適切>

展開科目におけるグローバルコミュニケーション科目群について、学生は必修科目「ビジネス英語 I~IV」のみ履修し、選択科目を履修しなくとも外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けることができるのか不明確なため、明確にすること。例えば、「実践英語(製造業やファイナンス)」や「英語プレゼンテーション」は養成する人材像を踏まえると、重要な科目であると考えられる。展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正すること。その際にはディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの整合性についても留意すること。

## (対応)

選択科目を履修しなくとも外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けることができるのか不明確であるとのご指摘、あわせて、展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正することとのご指摘を踏まえ、審査意見1および2への対応を合わせて、カリキュラムや科目設定について見直すとともに、卒業要件を再設定した。

例示いただいた、「実践英語(製造業やファイナンス)」や「英語プレゼンテーション」は養成する人材像を踏まえると、重要な科目であると考えられるとのご指摘も含め、科目の設定を修正した。具体的には、「実践英語(製造業やファイナンス)」については、経営や情報通信技術などの専門性を深めた具体的なテーマについて英語でコミュニケーションをとるための科目から構成される「実践英語:製造業」「実践英語:ファイナンス」「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」から1科目以上を選択必修科目とした。同様に「英語プレゼンテーション」については、ビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から1科目以上を選択必修科目とした。

審査意見1および2への回答と一部重複となるが、展開科目の科目設定について、以下に説明する。

国際的コミュニケーション能力として、文化的背景の異なる人々と協働するために、文化の違いやビジネスのルールなどを身に付ける必要があると考え、ディプロマ・ポリシーで具体的に定めている。なお、ディプロマ・ポリシーには説明のため1)、2) など番号を付す。

- 1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- 2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

国際的コミュニケーションの基本的な理解についてビジネス英語実習を通じて行ったうえで、外国人と 協働して仕事をするための能力を段階的且つ多角的に身に付けるために、選択必修科目を設定することと する。

選択必修科目については、ビジネス英語実習での基礎を踏まえたうえで、カリキュラム・ポリシーに従い編成する。具体的には、カリキュラム・ポリシーの「英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ」という点から、英語でのアカデミックリテラシーの習得や、ビジネス現場でのルールの理解とスキルを習得すること、ビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、英語でのビジネスコミュニケーションが実践できるよう、以下のようにそれぞれ選択必修科目を設定する。

- C P④−1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
  - ・英語でのアカデミックリテラシーの習得やビジネス現場でのルール理解とスキルを習得する。 「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から1科目以上を選択 必修科目として履修する。
  - ・ビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、英語でのビジネスコミュニケーションが実践できる。

「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。

また、カリキュラム・ポリシーの「文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、 文献、様々な業界などの内容を学ぶ」という点からは、文化的背景の異なる人々と協働するために英語で 文化への理解を深めること、経営や情報通信技術などの専門的な内容について英語でコミュニケーション をとるため具体的なテーマごとに学習を深めることができるよう、以下のとおりそれぞれ選択必修科目を 設定する。

- CP④-2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。
  - ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語で文化への理解を深める

「実践英語:多文化理解」「英米文学演習」「実践英語:日本文化」から1科目以上を選択必修科目として履修する。

・経営や情報通信技術などの専門的な内容について英語でコミュニケーションをとるため具体的なテーマごとに学習を深める

「実践英語:製造業」「実践英語:ファイナンス」「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」から1科目以上を選択必修科目として履修する。

外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けるためには、文化の違いやビジネスのルールなど理解するとともに実践や実例を通じた学習も必要であると考えている。そのために展開科目についてもディプロマ・ポリシーで示す能力を習得するために、それぞれ選択必修科目を設定し、段階的に学修できるよう、展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正した。

## (新旧対照表)教育課程等の概要

含む)

新	旧			
[3~4 ページ]	[3ページ]			
卒業・修了要件及び履修方法	卒業・修了要件及び履修方法			
【卒業要件】	【卒業要件】			
次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、	次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、			
計 128 単位以上を修得すること。	計 128 単位以上を修得すること。			
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位	卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位			
以上とする。	以上とする。			
・基礎科目 20 単位	基礎科目 20 単位 <u>以上</u>			
<u>-必修 12 単位</u>	選択科目から8単位を履修する。うち、数学			
<u>選択必修 8 単位</u>	基礎 A~Cから4単位以上を履修する。			
・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、	職業専門科目 82 単位 <u>以上</u>			
<u>ICT と人間のうち 2 単位以上</u>	選択科目から 14 単位を履修する。			
・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C の	展開科目 20 単位 <u>以上</u>			
うち4単位以上	選択科目から 12 単位を履修する。			
・上記6単位以上を含む、8単位以上	総合科目6単位(追記)			
	実習科目の 40 単位			
・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を	うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位			

を含む

# <u>- 必修 68 単位</u>

## 選択必修 14 単位

- ・オペレーションズマネジメント、問題形成 と問題解決、組織行動論、ビジネスゲーム による経営意思決定、人的資源管理論、イ ノベーション特論から2単位以上
- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、 ファイナンス入門、コーポレートファイナ ンスから2単位以上
- ・ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演習 I から 2 単位以上
- ・モバイルサービス概論、Web システム演習、 インタラクティブ・システムデザイン、デ ータサイエンス、クラウド、ビックデータ、 IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単 位
- ・上記8単位以上を含む、14単位以上
- ·展開科目 20 単位
- 必修 8 単位

## 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語 プレゼンテーション、英語ネゴシエーショ ンから2単位以上
- ・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実 践英語:日本文化から2単位以上
- ・実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2単位以上
- ・上記8単位以上を含む、12単位以上
- ・総合科目6単位(必修)

#### 実習科目の 40 単位

うち臨地実務実習(インターンシップ)24 単

#### (履修科目の登録の上限:

1 年次 46 単位 (年間)

2-4 年次 42 単位 (年間))

位を含む

(履修科目の登録の上限:

1年次 46 単位 (年間)

2-4 年次 42 単位 (年間))

(新旧対照表) 学則 別表 2

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーシ ┃ 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベー ョン学科 卒業要件

					卒業	単位		
科目区分		必修	選択 <u>必修</u> ①	選択 <u>必修</u> ②	<u>選択</u>	自由	小計	
	現代社会 基礎		12	<u>6</u> <u>**1</u>	<u>2</u>	<u>0</u>	0	20
		ビジネス基礎	8	80 <u>384</u>	<u>0</u>	<u>6</u>	0	82
	経営	ビジネス応用	0				0	
職業 専門 科目 情報追 技術		ビジネス実践	42				0	
		システム デザイン基礎	18				0	
	情報通信 技術	システム デザイン応用	0				0	
		ネットワーク セキュリティ	0				0	
展開科目	グローバ ルコミュニ ケーション		8	<u>8</u> <u>**3</u>	<u>4</u>	<u>0</u>	0	20
総合 科目			6	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	0	6
合計		94	22	<u>6</u>	<u>6</u>	0	128	

## **※** 1

- ・ 先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち2単位以上
- ・ 数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上

# <u>**\***</u> 2

- オペレーションズマネジメント、問題形成と問 題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経 営意思決定、人的資源管理論、イノベーション 特論から2単位以上
- ・ アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、フ ァイナンス入門、コーポレートファイナンスか ら2単位以上
- ネットワーク構築 I、情報セキュリティ演習 I

情報経営イノベーション専門職大学

ション学科 卒業要件

	科目区分		卒業単位						
			必修	(追記)	(追記)	選択	自由	小計	
基礎 科目	現代社会 基礎		12	(追記)	(追記)	<u>8</u>	0	20	
		ビジネス基礎	8	(追記)	(追記)	<u>14</u>	0	82	
	経営	ビジネス応用	0				0		
職業専門		ビジネス実践	42				0		
科目		システム デザイン基礎	18				0		
	情報通信 技術	システム デザイン応用	0				0		
		ネットワーク セキュリティ	0				0		
展開科目	グローバ ルコミュニ ケーション		8	(追記)	(追記)	12	0	20	
総合 科目			6	(追記)	(追記)	<u>0</u>	0	6	
	合計		94	(追記)	(追記)	34	0	128	

#### から2単位以上

・ モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から2単位

#### ₩3

- 英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・ 英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2単位以上
- ・ 実践英語:多文化理解、英米文学演習、実践英語:日本文化から2単位以上
- ・ 実践英語:製造業、実践英語:ファイナンス、実践英語:IoT、実践英語:イノベーションから2 単位以上

#### 備考

- ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップ I・Ⅱ) 含む
- ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。「マネジメント(経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシー I」「アカウンティング入門」「プログラミング II」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」

「情報技術演習 I」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチ II」「ビジネスフィールドリサーチII」

・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。

#### 備考

- ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップ I ・ II ) 含む
- ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以 下の科目の単位を修得していることとする。

「マネジメント (経営学基礎)」「マーケティング 基礎」「法務リテラシー I」「アカウンティング入 門」「プログラミング I」「プログラミング II」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」

「情報技術演習 I」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチ I」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」

・総計で、卒業単位を128単位以上とする。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (39~40、41~47、53~58ページ)

新	旧
[39~40ページ]	[39~40ページ]
⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」	⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」

(中略)

単に英語の4技能を高めるだけではなく、実際の 業務や研究の場でのルールを理解したうえでコミュ ニケーションをとることができるよう「英語アカデ ミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英 語通訳論」を配置した。「英語ディスカッション・デ ィベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシ エーション」では、コミュニケーション力、プレゼ <u>ンテーション力、交渉力などを</u>身に付ける。また、 文化的背景の異なる人々と協働するために必要とな る文化の違いやビジネスのルールなどを英語を通じ て身に付ける科目として、(削除)「実践英語:多文 化理解 | 「英米文学演習 | 「実践英語:日本文化」を 配置した。(削除) さまざまなビジネス分野で英語が 活用できるよう、主に3年次以降には「実践英語: 製造業」「実践英語:ファイナンス」「実践英語:IoT」 「実践英語:イノベーション」などの専門性の高い 英語を実践的に学ぶ。

[41~47ページ]

(2)カリキュラムと科目設定について

(中略)

養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④ー1) ~2) のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP④-1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明 や討論、意見交換など必要なコミュニ ケーションがとれるよう英語コミュニ ケーションなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的 な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実 (中略)

単に英語の4技能を高めるだけではなく、(追記) 文化的背景の異なる人々と協働するために必要とな る文化の違いやビジネスのルールなどを英語を通じ て身に付ける科目として、「英語ビジネスマネジメン ト」「英米文学演習」「実践英語:多文化理解」「英米 文学演習」「実践英語:日本文化」を配置した。また、 実際の業務や研究の場でのルールを理解したうえで コミュニケーションをとることができるよう「英語 アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメン ト」「英語通訳論」を配置した。「英語ディスカッシ ョン・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英 語ネゴシエーション」では、コミュニケーション力、 プレゼンテーション力、交渉力などを身に付ける。 また、さまざまなビジネス分野で英語が活用できる よう、主に3年次以降には「実践英語:製造業」「実 践英語:ファイナンス」「実践英語: IoT」「実践英 語:イノベーション」などの専門性の高い英語を実 践的に学ぶ。

[41ページ]

習 I 」「ビジネス英語実習 II 」「ビジネス英語実習 III」
「ビジネス英語実習 IV」を必修科目として履修する。
基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。さらに選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。

CP④-2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的 な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実 習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」 「ビジネス英語実習IV」を必修科目として履修する。 基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる 人々と協働するために「実践英語:多文化理解」「実 践英語:日本文化」「英米文学演習」から 1 科目以 上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。 また、経営や技術などの専門的な内容について英語 で応用・実践するために「実践英語:ファイナンス」 「実践英語:イノベーション」「実践英語:製造業」 「実践英語: IoT」から 1 科目以上を選択必修科目 として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、 化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学 ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することに よりコミュニケーション能力の幅が広がる。

上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④-1)~2)に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。(中略)

(<u>3</u>)教育課程の不断の見直しについて (中略)

(4)社会貢献、地域と一体化した教育

[53~58ページ]

#### (5) 卒業要件

卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、 選択必修 8 単位)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位、選択必修 14 単位)、 展開科目 20 単位(必修 8 単位、選択必修 12 単位)、 総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は 実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。

学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位 以上とする。

- 基礎科目 20 単位
- 必修 12 単位

イノベーションの志、スタディスキル、英語

(2)教育課程の不断の見直しについて (省略)

(3)社会貢献、地域と一体化した教育

[47~51ページ]

#### (5) 卒業要件

卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、数 学基礎 A~Cのうち4単位以上、数学基礎 A~Cの 4 単位以上を含む8単位以上を選択必修)、職業専門 科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位 位(追記))、展開科目 20 単位(必修8単位(追記))、 総合科目6単位(必修)を修得し、合計 128単位とす る。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は 実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科 目及び展開科目の必修科目に含まれている。

学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。

<u>コア・スキルズ I、英語コア・スキルズ II、</u> <u>リサーチ入門、キャリアデザイン I、キャリアデザイン II</u>

## 選択必修8単位

- ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、 ICT と人間から 2 単位以上
- ・数学基礎 A~C のうち 4 単位以上
- ・上記6単位以上を含む、8単位以上
- ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を 含む)

## 一必修 68 単位

 マネジメント (経営学基礎)、マーケティン

 グ基礎、法務リテラシー I、アカウンティン

 グ入門、

スタートアップ基礎(起業論)、イノベーションプロジェクトⅠ、イノベーションプロジェクトⅢ、イノベーションプロジェクトⅢ、イノベーションプロジェクトⅣ、イノベーションプロジェクトⅤ、イノベーションプロジェクトⅥ、ビジネスフィールドリサーチⅠ、ビジネスフィールドリサーチⅡ、インターンシップⅡ、

プログラミング I、プログラミング II、データ構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習 I、システム設計演習

# 選択必修 14 単位

- ・オペレーションズマネジメント、問題形成 と問題解決、組織行動論、ビジネスゲーム による経営意思決定、人的資源管理論、イ ノベーション特論から2単位以上
- ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから2単位以上
- ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演

#### 習 I から 2 単位以上

- ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から2 単位
- ・上記8単位以上を含む、14単位以上
- 展開科目 20 単位
- 一必修8単位

<u>ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、</u> <u>ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ</u> 選択必修 12 単位

- ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から2単位以上
- ・英語ディスカッション・ディベート、英語 プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから2単位以上
- ・実践英語:多文化理解、英米文学演習、実 践英語:日本文化から2単位以上
- ・実践英語:製造業、実践英語:ファイナン ス、実践英語:IoT、実践英語:イノベー ションから2単位以上
- ・上記8単位以上を含む、12単位以上
- ·総合科目 6 単位(必修)

総合理論演習、総合実践演習

# (6) 履修モデル

(中略)

上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37科目を必修科目と(削除)した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7科目、職業専門科目24科目(うちビジネス基礎科目群の4科目、ビジネス実践科目群11科目、システムデザイン基礎科目群9科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4科目、総合科目2科

(6) 履修モデル

(中略)

上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎4 科目、ビジネス実践11 科目、システムデザイン基礎9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目2 科目である。(追記) これら

目である。あわせて、選択必修科目として 12 科目 を設定した。内訳は基礎科目3科目、職業専門科目 4科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科目 群のうち所定の2科目、システムデザイン基礎科目 群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の1科 目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定の 1科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続 ける現代社会において、経営と情報通信技術に関す る理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力 を時代の中で獲得する素地を養うことを企図してい る。選択必修科目を設け、それぞれの能力について、 基礎となる知識・スキルを習得する科目と、その知 識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修得を行 うことができるよう卒業要件を設定している。その ため履修モデル通りに履修しなかった場合でも、養 成する人材像が備える能力を身につけることがで き、ディプロマ・ポリシーを実現することができる。

の科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。(追記)

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして以下を提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた知識・スキルの修得を可能とさせる。

(中略)

また職業専門科目のうち情報通信技術については、1年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2年次の「ネットワーク構築演習 I」

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の3パターンを展開する。

(中略)

幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した 課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関 する実践力を習得するために、経営科目において、 2 年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業 や3年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術 の知識、スキルを習得する。

グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3年次の「実践英語:日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4年次の「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。

職業専門科目のうち経営については、幅広く経営 に関する知識やその知識を応用した課題発見力や解 決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習 得する。2 年次に「アカウンティング応用」を通じ 企業の経営状況の分析を深め企業の付加価値を高め るための知識を習得する。あわせて、「マーケティン グ応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の 分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法 をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得す る。3~4年次に情報通信技術を用いたビジネスやサ ービスの企画・立案に関する実践力を身に付ける「イ ノベーション特論」「クロステックビジネスデザイ ン」をそれぞれ履修する。また、これに関連する「総 合理論演習」「総合実践演習」を履修し、企画運営能 力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案す <u>る力を習得する。</u>

② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信 技術関連の開発企業において企画運営能力を発 のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3~4年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修する。

情報通信技術については、(追記)2年次の「<u>モバ</u> <u>イルサービス概論</u>」や3年次の「クラウド」などを 通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得 する。

グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ習得する。また2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語通訳論」、4年次の「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための英語力を高める。

② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発

揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人 材を目指す履修モデル(資料12-②-1、12-②-2)

(中略)

また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学 史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのよう に寄与してきたかを学び、サービスを開発するため の素地を作る。経営科目では「オペレーションズマ ネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーション の基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報 通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知 識を習得する。グローバルコミュニケーションでは、 情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際 化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な 知識を習得する。具体的には2年次の「英語アカデ ミックリテラシー | 「英語通訳論 | を通じ英語コミュ ニケーション力を身につける。「英語ネゴシエーショ ン」を通じプロジェクトを進めるうえでの交渉力を 習得する。また「実践英語:多文化理解」「実践英語: 日本文化」を通じ、文化理解と英語コミュニケーシ ョン力を習得する。3年次の「実践英語:製造業」 等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを広く習 得する。3 年次の「実践英語:製造業」等の履修を 通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。

(中略)

資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1~2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。また、2 年次に「情報セキュリティ演習 I」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3 年次は

揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人 材を目指す履修モデル (資料 12-②-1、12-②-2)

(中略)

また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学 史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのよう に寄与してきたかを学び、サービスを開発するため の素地を作る。経営科目では「オペレーションズマ ネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーション の基本的な知識を(追記)習得する。グローバルコ ミュニケーションでは、情報通信技術に関する新た な知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクト を推進するために必要な知識を習得する。具体的に は2年次の「英語アカデミックリテラシー」を通じ、 情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習得す るための基本的な英語力を養成するとともに、(追 記)3年次の「実践英語:製造業」等の履修を通じ、 専門分野の知識やスキルを習得する。また「実践英 語:多文化理解」「英語通訳論」「実践英語:日本文 化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々との 意思疎通を図り、協同していくための知識とコミュ ニケーション力を習得する。またプロジェクトを進 めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーション」を 通じ習得する。

(中略)

資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1~2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。(追記) 3 年次は「システムインテグレーション」を通じ、情報通信技術を用いたサービス改善・開発における課題発見

(削除)「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を(削除)習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。(削除)

(中略)

情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム演習」(削除) 起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得するとともに、2年次に「情報セキュリティ演習 I」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図る。新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」を履修する。

あわせて経営科目では、財務・会計分野の<u>(削除)</u>「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。

グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」を通じ英語でビジネスを進めるための具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、

力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を<u>それぞれ</u>習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。<u>また、経営科目から「組織行動論」を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必要な知識やスキルを習得する。</u>

(中略)

情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得する(追記)。

あわせて経営科目では、財務・会計分野の<u>「アカウンティング応用」</u>「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。

グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」「実践英語:多文化理解」、4年次の「実践英語:ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分

2 年次の「実践英語:多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めるとともに、4 年次の「実践英語:ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。

また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。

野への理解と国際社会において活躍するための英語 力を高める。

(追記)

(是正事項) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

5. 【全体計画審査意見12の回答について】

<臨地実習の計画が不適切>

臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」ことが達成できる計画となっているか疑義があるため、以下の2点を明らかにすること。

(1) 臨地実務実習施設について、実習先において目的を達成できる実習内容となっているか不明確である。 実習先ごとの学生の具体的実習内容と、その実習内容が実施可能である施設の個々の選定理由を明ら かにし、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であるかを明らかとすること。また、必要に応じて 実習先を改めること。

### (対応)

臨地実務実習施設について、熟議を重ね、実習先として選定をしているが、今回、実習先において目的を達成できる実習内容となっているか不明確であるとのご指摘を踏まえ、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であることを、実習先ごとの実習内容、及びその実習内容が実施可能である施設の個々の選定理由についてより詳細に示すことで明らかにした。なお、本学の実習内容等に照らし、改めて学内で再選定をした結果、2 施設については実習先を改めた。

#### <「実習先の選定理由」の明確化>

全実習先の選定基準を以下のとおり明確にし、全実習先の選定基準と到達目標との整合をはかった。

- (ア) 当該施設の事業内容が、本学の教育内容と共通性がある。
- (イ) 当該施設の経営理念や方針が、本学の教育の理念や人材養成と合致する。
- (ウ) 当該施設の業務で実習科目の目的や到達目標に応じた実習が実施可能である。
- (エ) 実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設。

## <「臨地実務実習施設の概要」における「当該施設の選定理由」の明確化>

実習先ごとの選定理由について、様式第7号の4(その3)臨地実務実習施設の概要内にある「当該施設の 選定理由」を観点毎に以下のとおり明確にした。

- ・「(ア) 当該施設の事業内容が、本学の教育内容と共通性がある。」に関して、当該施設毎の会社概要及び 事業内容を具体的に記載し、情報通信技術・経営に関する本学の学びと共通性があることを明確にした。
- ・「(イ) 当該施設の経営理念や方針が、本学の教育の理念や人材養成と合致する。」に関して、当該施設毎の経営理念、ビジョン、もしくは行動指針等を記載し、本学部の目的と合致することを明確にした。
- ・「(ウ) 当該施設の業務で実習科目の目的や到達目標に応じた実習が可能である。」に関して、当該施設毎の業務を具体的に記載し、本学の実習科目の目的や到達目標に応じた実習が実施可能であることを明確にした。

## <実習先の変更>

実習先である「株式会社 Oneteam」及び「株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー」の 2 社に関しては、再選定の過程で本学の実習内容等に照らして、実習先として以下の施設に変更した。

- ・株式会社エボラブルアジア
- ・ファンタステクノロジー株式会社

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (72ページ)

新	IB
[72ページ]	[64ページ]
10.実習の具体的計画	10.実習の具体的計画
(中略)	(中略)
(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況	(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況
等	等
①実習先の選定基準	①実習先の選定基準
実習の目的を達成するため、受け入れ施設につ	実習の目的を達成するため、受け入れ施設につ
いては以下の要件を設定している。	いては以下の要件を設定している。
(ア) 当該施設の事業内容が、本学の教育内容と共	(ア) インターンシップの到達目標を達成するため
<u>通性がある。</u>	に必要な作業、体験、課題と実習指導・フォ
(イ) 当該施設の経営理念や方針が、本学の教育の	ローが可能な施設
理念や人材養成と合致する。	<u>(イ)</u> 実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名
(ウ) 当該施設の業務で実習科目の目的や到達目標	以上の施設
に応じた実習が可能である。	(ウ) 教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成
<u>(エ)</u> 実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名	を目指すことに同意頂いた施設
以上の施設。	_(追記)_

## (新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 資料 17 実習巡回計画表

学内待機者

#### 旧 ◆インターンシップ I ◆インターンシップ I 期間:6月~7月末日(8週間40日間) 期間:6月~7月末日(8週間40日間) 実習施設名 人数 実習施設名 エリア エリア 人数 株式会社NHKメディアテクノロジー 東京都渋谷区 株式会社NHKメディアテクノロジー 東京都渋谷区 株式会社MapleSystems 4 株式会社WapleSystems 4 株式会社Schoo 東京都渋谷区 5 東京都渋谷区 5 株式会社ネクストビート 東京都渋谷区 10 株式会社ネクストビート 東京都浜谷区 10 3 株式会社ペライチ 東京都治谷区 株式会社ペライチ 東京都派谷区 3 株式会社システムコンサルタント 10 10 東京都墨田区 株式会社システムコンサルタント 東京都墨田区 株式会社浜野製作所 4 4 東京都墨田区 株式会社派野製作所 東京都泰田区 株式会社ポリグロッツ 株式会社ポリグロッツ 東京都新宿区 東京和新宿区 4 フュージョン株式会社 フュージョン株式会社 東京都千代田 4 東京都干代田 株式会社アウトソーシングテクノロジー 15 株式会社アウトソーシングテクノロジー 15 東京都千代田 東京都干代田 15 15 大日本印刷 東京都新宿区 大日本印刷株式会社 東京都新宿区 マンパワーグループ株式会社 15 マンパワーゲループ株式会社 東京都港区 15 東京都港区 日本サードパーティー 日本サードパーティー株式会社 10 東京都品川区 10 東京都泰川区 株式会社ゆめみ 10 株式会社ゆめみ 東京都世田谷区 10 東京都世田谷区 デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社 東京都干代田区 10 デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社 東京都干代田区 10 ジョルダン株式会社 東京都新宿区 10 ジョルダン株式会社 東京都新宿区 10 株式会社スターシステム 東京都港区 10 株式会社スターシステム 東京都港区 10 SAP株式会社 東京都干代田区 15 SAP株式会社 東京都干代田区 15 株式会社エボラブルアジア 東京和港区 3 株式会社ONE TEAM 東京都中央区 3 株式会社システムリンク 東京都中央区 5 株式会社システムリンク 東京都中央区 5 ファンタステクノロジー推式会社 東京都治谷区 2 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー 東京都干代田区 2 株式会社ウフル 東京都港区 10 株式会社ウフル 東京都港区 10 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社 東京都中央区 10 東京都中央区 10 株式会社LEARNie 東京都治谷区 株式会社LEARNie 東京都渋谷区 3 株式会社ハウテレビジョン 東京都渋谷区 株式会社ハウテレビジョン 東京都渋谷区 3 SHIFT株式会社 10 SHIFT株式会社 10 東京都港区 東京都港区 株式会社SYG 東京都干代田区 10 株式会社SYG 東京都千代田区 10

学内特機者

### ◆インターンシップⅡ

期間:10月~11月末日(8週間40日間)

株式会社NHKメディアテクノロジー	東京都計号区	5
株式会社MapleSystems	東京都中央区	4
株式会社Schoo	東京都法公区	5
株式会社ネクストピート	東京都法公区	10
株式会社ペライチ	東京都造岩区	3
株式会社システムコンサルタント	東京都里田区	10
株式会社浜野製作所	東京都亜田区	4
株式会社ポリグロッツ	東京都新省区	1
フュージョン株式会社	東京都千代田	4
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都千代田	15
大日本印刷	東京都新省区	15
マンパワーグループ株式会社	東京都港区	15
日本サードパーティー	東京都品川区	10
株式会社ゆめみ	東京都世田谷区	10
テロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社	東京都千代田区	10
ジョルダン株式会社	東京都新省区	10
株式会社スターシステム	東京都港区	10
SAP株式会社	東京都千代田区	15
株式会社エポラブルアジア	東京観測区	3
株式会社システムリンク	東京都中央区	5
ファンタステクノロジー 株式会社	東京都流谷区	2
株式会社ウフル	東京都港区	10
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社	東京都中央区	10
株式会社LEARNie	東京都法省区	1
株式会社ハウテレビジョン	東京都計台区	3
SHIFT株式会社	東京都港区	10
株式会社SYG	東京都千代田区	10

### **◆**インターンシップⅡ

期間:10月~11月末日(8週間40日間)

<b>実</b> 晉施設名	197	人数
株式会社NHKメディアテクノロジー	東京都統谷区	5
株式会社MapleSystems	東京都中央区	4
株式会社Schoo	東京都渋谷区	5
株式会社ネクストビート	東京都統谷区	10
株式会社ペライチ	東京都法谷区	3
株式会社システムコンサルタント	東京都墨田区	10
株式会社浜野製作所	支京都墨田区	4
株式会社ポリグロッツ	東京都新宿区	1
フュージョン株式会社	東京都千代田	4
株式会社アウトソーシングテクノロジー	更京都千代田	15
大日本印刷株式会社	東京都新宿区	15
マンパワーグループ株式会社	東京都港区	15
日本サードバーティー株式会社	東京都品川区	10
株式会社ゆめみ	東京都世田谷区	10
デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社	更京都千代田区	10
ジョルダン株式会社	東京都新宿区	10
株式会社スターシステム	東京都港区	10
SAP株式会社	東京都千代田区	15
族式会社ONE_TEAM	東京都中央区	3
株式会社システムリンク	東京都中央区	5
株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー	更京都千代田区	2
株式会社ウフル	東京都港区	10
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社	東京都中央区	10
株式会社LEARNie	東京都渋谷区	1
株式会社ハウテレビジョン	東京都統谷区	3
SHIFT株式会社	東京都港区	10
株式会社SYG	東京都千代田区	10
学内符模者		
学内符模者		

(新旧対照表) 臨地実務実習施設の確保状況説明書

新					旧					
インターンシップ I					インターンシップ I					
	臨地実	務実習加	<b></b> を 設			臨地実	務実習加	<b></b>		
施設番号	施設の名称	受入 予定 学生 数	当該施設 実習時間 数	受入予定学 生 ・時間数	施設番号	施設の名称	受入 予定 学生 数	当該施設 実習時間 数	受入予定学 生 ・時間数	
4.0	株式会社エボラブルアジ	0.1	000 114 111	000 1 100 111	19	株式会社 ONE TEAM	3 人	320 時間	960 人・時間	
19	<u>7</u>	3 人	320 時間	960 人・時間		株式会社デジタル・ヒュ				
21	ファンタステクノロジー 株式会社	2 人	320 時間	640 人・時間	21	<u>ージ・テクノロジー</u>	2人	320 時間	640 人・時間	
11										
	ターンシップ <b>Ⅱ</b> 臨地実	務実習加	<b></b>		イン	ターンシップⅡ 臨地実	務実習が	拖設		
施設番号		務実習店 受入 予定 学生 数	<ul><li>一 当該施設 実習時間 数</li></ul>	受入予定学 生 ・時間数	イン施設番号		務実習が 受入 予定 学生 数	を	受入予定学 生 ・時間数	
施設番号	臨地実	受入 予定 学生 数	当該施設 実習時間 数	生 時間数	施設番	臨地実	受入 予定 学生	当該施設	生	
施設番	臨地実施設の名称	受入 予定 学生	当該施設	生	施 設 番 号	臨地実施設の名称	<b>受入</b> 予定 学生 数	当該施股 実習時間 数 320 時間	生 ・時間数 960 人・時間	
施設番号	臨地実 施設の名称 株式会社エボラブルアジ	受入 予定 学生 数	当該施設 実習時間 数	生 時間数	施設番号	臨地実 施設の名称 株式会社 ONE TEAM	受入 予定 学生 数	当該施設実習時間	生 時間数	
施設番号	臨地実 施設の名称 株式会社エボラブルアジ ア	受入 予定 学数 3 人	当該施設 実習時間 数 320 時間	生 ・時間数 960 人・時間	施 設 番 号	臨地実 <b>施設の名称</b> 株式会社 ONE TEAM 株式会社デジタル・ヒュ	<b>受入</b> 予定 学生 数	当該施股 実習時間 数 320 時間	生 ・時間数 960 人・時間	

(新旧対照表) 臨地実務実習施設一覧

安全上の観点により、臨地実務実習施設一覧を省略いたします。

(是正事項) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

(2) 学生が作成する実習日誌とインターンシップノートの関連性が不明確である。また、ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いがあり、どのように成績評価点が付与されるか不明確であるため、改めること。

#### (対応)

学生が作成する実習日誌とインターンシップノートの関連性が不明確であり、ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップ I」及び「インターンシップ I」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いがあるとのご指摘を踏まえ、以下の通り明確にした。

### <実習日誌とインターンシップノートの関連性について>

上記 2 点については同様のものであり、設置の趣旨等を記載した書類、インターンシップ要綱、シラバス内にある「インターンシップノート」を全て「実習日誌」に変更した。

<ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップ I 」及び「インターンシップ II 」のシラバスに おける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いについて>

各インターンシップのシラバスにある「試験および成績評価の方法と基準」を、設置の趣旨等を記載した書類内にある実習の評価方法・評価基準に反映させ、整合させた。なお、ルーブリック評価については、実習中における実習先指導者からの評価として活用する。

### (試験および成績評価の方法と基準)

- ・事前課題 10%
- ・インターンシップ中の評価 60%
- ・事後課題(実習日誌、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等) 30%で総合評価する。

### (設置の趣旨等を記載した書類(抜粋):評価方法)

・評価方法について

評価は、インターンシップ評価基準に基づいて、以下の方法で総合的に判断して評価する。

- (ア) 実習事前指導における課題内容の評価(目標設定・社会人スキル・実習先事前調査等)
- (イ) 実習中における実習担当専任教員からの評価(インターンシップの出欠、実習日誌の内容)
- (ウ) 実習中における実習先指導者からの評価(実習中の評価(下記:ルーブリック評価基準参照)・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果)
- (エ) 実習事後指導における課題内容の評価(実習日誌の内容、インターンシップ報告会への取り組みや 内容でのプレゼンテーション、報告書等)

## (新旧対照表) シラバス

新 [専任全科目:63~64ページ] [専任全科目:63~64ページ] [総合科目・実習科目:10~11ページ] [総合科目・実習科目:10~11ページ] インターンシップ I インターンシップ I 3. 授業計画 3. 授業計画 実践スキル(論理的思考・プ 実践スキル(論理的思考・プ

事前指導 レゼンテーション技法) 2 日目 実践スキル(実践に必要な専 門知識の復習) その他の準備(実習日誌の説 明、作成) その他の準備(受け入れ企業

の事前調査の実施)

4. 試験および成績評価の方法と基準 事前課題 10%、インターンシップ中の評価 60% 事後課題(実習日誌、インターンシップ報告書、 報告会でのプレゼンテーション等) 30% で総合評価する。

[専任全科目:65~67ページ]

[総合科目・実習科目:12~14ページ]

インターンシップⅡ

3. 授業計画

実践スキル(専門的に必要な 事前指導 専門知識の復習) 2 日目 その他の準備(実習日誌の説 明、作成) その他の準備(受け入れ企業 の事前調査の実施) その他の準備(受け入れ企業 からの事前課題への取り組 み)

4. 試験および成績評価の方法と基準 事前課題10% インターンシップ中の評価60% 事後課題(実習日誌、インターンシップ報告書、 事前指導 レゼンテーション技法) 2 日目 実践スキル(実践に必要な専 門知識の復習) その他の準備(インターンシ <u>ップノート</u>の説明、作成) その他の準備(受け入れ企業 の事前調査の実施)

4. 試験および成績評価の方法と基準 事前課題 10%、インターンシップ中の評価 60% 事後課題(インターンシップノート、インターン シップ報告書、報告会でのプレゼンテーション 等) 30%

で総合評価する。

[専任全科目:65~67ページ] [総合科目・実習科目:12~14ページ] インターンシップⅡ

3. 授業計画

事前指導	実践スキル(専門的に必要な
	専門知識の復習)
$2 \exists \exists$	その他の準備( <u>インターンシ</u>
	<u>ップノート</u> の説明、作成)
	その他の準備(受け入れ企業
	の事前調査の実施)
	その他の準備(受け入れ企業
	からの事前課題への取り組
	み)

4. 試験および成績評価の方法と基準 事前課題10% インターンシップ中の評価60% 事後課題(<u>インターンシップノート</u>、インターン 報告会でのプレゼンテーション等) 30% で総合評価する。 シップ報告書、報告会でのプレゼンテーション 等)30%

旧

で総合評価する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (74、76~77、79ページ)

斩

# [74ページ]

インターンシップで身に付けた能力を定着させるため、「<u>実習日誌</u>(デジタル)」を作成し、1日ごとにスケジュール管理、目標、インターンシップ内容、学びの内容や身に付いた能力、反省点、インターンシップ先からのコメント記載欄を用意し、漏れなく管理することで学生は自らの振り返りにするとともに大学としても成績評価の指標とする。

インターンシップ終了後はインターンシップ報告書を別途作成し、実習生だけではなく1,2年生や4年生も参加可能な全学生の学びの場として報告会を実施する。

## [76~77ページ]

(評価方法・評価基準)

・評価方法について

評価は、インターンシップ評価基準に基づいて、 以下の方法で総合的に判断して評価する。

- (ア)実習事前指導における課題内容の評価(目標設定・社会人スキル・実習先事前調査等)
- (イ)実習中における実習担当専任教員からの評価 (実習日誌の内容)
- (ウ)実習中における実習先指導者からの評価(実習 中の評価(下記:ルーブリック評価基準参照)・ 取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられ た業務の成果)

### [66ページ]

インターンシップで身に付けた能力を定着させるため、「<u>インターンシップノート</u>(デジタル)」を作成し、1日ごとにスケジュール管理、目標、インターンシップ内容、学びの内容や身に付いた能力、反省点、インターンシップ先からのコメント記載欄を用意し、漏れなく管理することで学生は自らの振り返りにするとともに大学としても成績評価の指標とする。

インターンシップ終了後はインターンシップ報告 書を別途作成し、実習生だけではなく 1,2年生や 4 年生も参加可能な全学生の学びの場として報告会 を実施する。

## [68~69ページ]

(評価方法・評価基準)

・評価方法について

評価は、インターンシップ評価基準に基づいて、 以下の方法で総合的に判断して評価する。

- (ア)実習担当専任教員からの評価(インターンシップの出欠、インターンシップノートの内容、報告会への取り組み、インターンシップ報告書)
- (イ)実習先指導者からの評価(実習中の評価(下

記:ルーブリック評価基準参照)・取り組み姿 勢、インターンシップ中に与えられた業務の成 果)

(追記)

## [79ページ]

(実習事前指導内容)

(中略)

## (エ)その他の準備

- ・実習日誌の説明、作成
- ・受け入れ企業の事前調査の実施
- ・企業の仕組みを理解し、自らの専門分野や興味関心とどのような繋がりがあるのか理解 する
- ・企業から与えられる事前課題への取り組み

#### (実習事後指導内容)

(中略)

### (イ)言語化と意味づけ

・<u>実習日誌</u>を用いて現場での体験を振り返り、 自らの意識と行動の変化を確認する。

## [70~71ページ]

(実習事前指導内容)

(中略)

## (エ)その他の準備

- ・インターンシップノートの説明、作成
- ・受け入れ企業の事前調査の実施
- ・企業の仕組みを理解し、自らの専門分野や興味関心とどのような繋がりがあるのか理解 する
- ・企業から与えられる事前課題への取り組み

#### (実習事後指導内容)

(中略)

### (イ)言語化と意味づけ

・<u>インターンシップノート</u>を用いて現場での 体験を振り返り、自らの意識と行動の変化を 確認する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 資料 18 インターンシップ要綱 (4~5ページ、10ページ、 $11\sim12$ ページ)

新	旧
[4~5ページ]	[4~5ページ]
5) インターンシップ事前・事後指導について	5) インターンシップ事前・事後指導について
(中略)	(中略)
(実習事前指導内容)	(実習事前指導内容)
1. 動機付け	1. 動機付け
(中略)	(中略)
4. その他の準備	4. その他の準備
・ <u>実習日誌</u> の説明、作成	・ <u>インターンシップノート</u> の説明、作成
(中略)	(中略)
(実習事後指導内容)	(実習事後指導内容)
(中略)	(中略)
2. 言語化と意味づけ	2. 言語化と意味づけ
・実習日誌を用いて現場での体験を振り返り、自ら	・ <u>インターンシップノート</u> を用いて現場での体験を
の意識と行動の変化を確認する。	振り返り、自らの意識と行動の変化を確認する。
(中略)	(中略)

### [10ページ]

- 8) インターンシップ中に各学生が行うべきこと。
- ・毎週土曜日 17 時までに担当教員へインターンシップ週報を送る。
- ・同インターンシップ先メーリングリストに週報を送る。
- ※上記は<u>実習日誌</u>に沿って報告すること。
- ・体調不良等で欠席する場合、必ず大学へ電話連絡 を入れること。

※自己都合の遅刻欠席については、当日必ず大学に 来校すること。

9) インターンシップ終了後の提出物

#### □実習日誌

- □インターンシップ報告レポート
- ★提出日・提出方法

インターンシップ終了後1週間以内に、デベロップメント センターへメールにて提出

提出先:○○△△@i-university.ac.jp

題目:学籍番号・氏名・「インターンシップ終了後提出物」

## [11~12ページ]

- 10) その他: インターンシップの注意事項 (中略)
- ■成績評価方法

(評価方法・評価基準)

・評価方法について

インターンシップ事前課題の内容に加え、①インターンシップの出欠、<u>実習日誌</u>内容、報告会の取り組み、インターンシップ報告レポート②実習中の評価・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果によって、総合的に判断して行います。

[10ページ]

- 8) インターンシップ中に各学生が行うべきこと。
- ・毎週土曜日 17 時までに担当教員へインターンシップ週報を送る。
- ・同インターンシップ先メーリングリストに週報を送る。

※上記は<u>インターンシップノート</u>に沿って報告すること。

・体調不良等で欠席する場合、必ず大学へ電話連絡 を入れること。

※自己都合の遅刻欠席については、当日必ず大学に 来校すること。

9) インターンシップ終了後の提出物

□インターンシップノート

□インターンシップ報告レポート

★提出日・提出方法

インターンシップ終了後1週間以内に、デベロップメント センターへメールにて提出

提出先:○○△△@i-university.ac.jp

題目:学籍番号・氏名・「インターンシップ終了後提出物」

[11~12ページ]

- 10) その他: インターンシップの注意事項 (中略)
- ■成績評価方法

(評価方法・評価基準)

・評価方法について

インターンシップ事前課題の内容に加え、①インターンシップの出欠、<u>インターンシップノート</u>内容、報告会の取り組み、インターンシップ報告レポート②実習中の評価・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果によって、総合的に判断して行います。

(是正事項) 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

#### 6. 【全体計画審査意見15の回答について】

<専任教員数が設置基準を満たしていない>

専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。

#### (対応)

専任教員数について、本学の必要教員数は26名以上であるが、補正申請時では合計28名で教員組織の編成を行った。このうち専門職大学設置基準第36条第3項等の規程に基づく、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」について、「専門職大学設置基準」の認識に誤りがあったため、以下の教員について再度「実務経験を有する専任教員(実専)」として申請し、専任教員数並びに教員組織を改めた。

### <専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)の人数について>

本学部の種類(経済学部)と一学科(収容定員 800 名)で必要な専任教員数を算出すると、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」は3名まで配置することが可能であるが、補正申請時では6名の申請をしており、専門職大学設置基準に従い、2名として再補正申請を行う。

#### <実務経験を有する専任教員(実専)について>

以下で示す5名中4名の「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」は、「実務経験を有する専任教員(実専)」としてふさわしい実務経験や業績、実務能力を有すると判断した。当該教員4名については、本学の定めに基づき、「実務経験を有する専任教員(実専)」としての業務内容、勤務日数も他の専任教員同様の水準で勤務可能であるとの承諾を得た。

本学では、実務家としての豊富な経験や先端的な技術や理論を教育研究に反映するため、「実務経験を有する専任教員(実専)」を多く採用する計画である。特に自ら起業しその事業を継続させている経験や、ビジネスや情報通信技術の先端的な事例などを教育研究に活用していくため、実務を続けながら「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」として従事頂く方の採用も計画していた。「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」候補者は、自ら起業をしている方、特に企業や研究へのコンサルティングやアドバイザーを主とした業務をされている方を配置予定であった。ただし、本学として設置基準の認識に誤りがあり、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」の人数に相違があったことから、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」の人数に相違があったことから、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」が表別では本人の裁量によって業務のバランスが取れること、後進の育成に注力したいとの希望もあり、本学を本務とすることとなった。さらに、勤務日数を2日から4日とする。

具体的な業務としては、当初想定していた、ビジネスの最先端事例や開発中の技術について、本学の教育研究に活用していくことに変わりはなく、授業担当の他、学生からの学習・履修相談対応や実務も踏まえた教育研究活動への参画をする。また、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」の業務内容とし

ない各種委員会・センターでの業務、入学者選抜などの大学運営にも参画する。学生が新たな視点や実務 上必要なスキルを習得するために、理論と実践の架橋となる教育研究を継続的に行う。

その他、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」として申請している各務茂雄に関しては、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」に関する設置基準上の「1年につき、6単位以上の授業の担当」に満たさない。そのため、この度の再補正申請において、担当科目を追加し設置基準を満たすことで「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」として再補正申請を行う。

- ・阿部川久広 実み → 実専
- ・江端浩人 実み → 実専
- ・乘浜誠二 実み → 実専
- ・松村太郎 実み → 実専
- ・各務茂雄 実み → 再度「実み」として申請

これにより、専任教員合計 28名のうち、実務経験を有する専任教員(実専)を 20名、このうち、専門職大学設置基準第 36条第 2 項 1号 2号 3号等いずれかに該当する専任教員を 11名、さらに実務経験を有する専任教員のうち、専門職大学設置基準第 36条第 3項等の規程に基づく、専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)を 2名とした。

(新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

新								旧		
調書番号	7 月 九 ° † 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申係学職従るた均請る等務事週り日に大のにす当平数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申係学職従るた均請る等務事週り日に大のにす当平数	
① 実専	エパタ じロト 江端 浩人 < <u>令和2年</u> 4月>	事業構想 大学等 事業構想 研究授 (平 24. 4) エパーパ会社員 (平 30. 7) 江端路所 (平 30. 4) 株式ポッツン 新聞社 (令元. 5)	<u>4 Н</u>		22	実み	エハ <sup>*</sup> タ ヒロト 江端 浩人 < <u>令和2年</u> 4月>	事業構想 大学院大学 事業構想 研究科 教授 (平 24.4) エバーパーク 合同 会社 代表社員 (平 30.7) 江端浩人 事務所 代表 (平 30.4)	<u>2 П</u>	

					1	_	1			<u> </u>
			エバーパーク合同 会社 代表社員 (平 30.7) 江端浩人 事務所 代表 (平 30.4) 株式会社 スポーツ 三ッポ社 (令元.5)	<u>2日</u>					エバーパーク合同 会社 代表社員 (平 30. 7) 江端浩人 事務所 代表 (平 30. 4) (追記)	<u>з н</u>
調書番号	専任等区分	フリカ <sup>°</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申係学職従るた均に大のにす当平数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申請に 保等のに で等務に 従事週り日 シカ シカ シカ
<u>(©</u>	実専	アベカワ ヒサヒロ 阿部川 久広 < <u>令和2年</u> 4月>	アイティメディア 株式会社 シニアヴデント (平 21.9) 翻訳学校 フェロー アカ労講師 (平 17.4) アイティメディア 株式会社 シニアヴデント	<u>4日</u> <u>2日</u>		<u>23</u>	実み	7ペカワ ヒサヒロ 阿部川 久広 < <u>平成32年</u> 4月>	アイティア 株式会社 シニアヴァント (平 21. 9) 翻訳や フェロー アカ労勤講師 (平 17. 4) アイティメディ 株式会社 シニアヴァント (平 21. 9)	<u>2 Н</u>
調書番号	専任等区分	フリカ* ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	(平 21. 9) 現 職 (就任年月)	申係学職従るた均に大のにす当平数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>°</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申係で 学職活 に大の 等 で で の に す も る 等 り 日 り り り り り り り り り り り り り り り り り
3	実専	リハマ セイジ 乗浜 誠二 < <u>令和2年</u> 4月>	株式会社ナレッジ コンスタント 代表取締役 (平 6.5) 株式会社ナレッジ コンスタント 代表取締役 (平 6.5)	<u>4 日</u> <u>2 日</u>		26	実み	/リハマ セイジ 乗浜 誠二 < <u>平成32年</u> 4月>	株式会社ナレッジ コンスタント 代表取締役 (平 6. 5) 株式会社ナレッジ コンスタント 代表取締役 (平 6. 5)	<u>2 日</u> <u>3~4 日</u>
調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申係学職従るた均に大のにす当平数		調書番号	専任等区分	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏 名 <就任(予定)年月>	現 職 (就任年月)	申請に大学務務事週り日報であるたり日報の日本のにするという。
<u>4</u>	実専	マツムラ タロウ 松村 太郎 < <u>令和2年</u> 4月>	フォークス 株式会社 代表取締役 (平 27. 4) キャスタリア 株式会社 取締役 研究責任者 (平 19. 10) フォークス 株式会社	<u>4 日</u>		27	実み	マツムラ タロウ 松村 太郎 < <u>平成 32 年</u> 4月>	フォークス 株式会社 代表取締役 (平 27.4) キャスタリア 株式会社 取締役 研究責任者 (平 19.10) フォークス 株式会社 ルま野経済	<u>2 H</u>
			代表取締役 (平 27.4) キャスタリア 株式会社 取締役 研究責任者 (平 19.10)	月4回					代表取締役 (平 27. 4) キャスタリア 株式会社 取締役 研究責任者 (平 19. 10)	3日

(新旧対照表) 実務の経験等を有する専任教員一覧

新	旧
番号	番号
<u>1</u>	17
調書番号	調書番号
<u>①</u>	<u>22</u>
市任然区八	専任等区分
専任等区分 実 <u>専</u>	
<del>天寸</del>	<u>実み</u>
フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>	フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>
エバタ ヒロト	エハ*タ ヒロト
江端 浩人	江端 浩人
< <u>令和2年</u> 4月>	< <u>平成 32 年</u> 4 月>
番号	番号
<u>3</u>	<u>18</u>
調書番号	調書番号
<u>②</u>	<u>23</u>
専任等区分	専任等区分
<u>実専</u>	<u>実み</u>
_ <del></del>	
フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>	フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>
アヘ゛カワ ヒサヒロ	アヘ゛カワ ヒサヒロ
阿部川 久広	阿部川 久広
< <u>令和2年</u> 4月>	< <u>平成 32 年</u> 4 月>
番号	番号
<u>4</u>	<u>21</u>
==+-v. D	
調書番号	調書番号
<u>③</u>	<u>26</u>

専任等区分	専任等区分
<u>実専</u>	<u>実み</u>
フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>	フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>
ノリハマ セイシ゛	ノリハマ セイシ゛
乘浜 誠二	乘浜 誠二
< <u>令和2年</u> 4月>	< <u>平成 32 年</u> 4 月 >
番号	番号
<u>5</u>	<u>22</u>
調書番号	調書番号
<u>4</u>	27
<u> </u>	<u> </u>
専任等区分	<b>専任等区分</b>
<u>実専</u>	実み
フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>	フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>
マツムラ タロウ	マツムラ タロウ
松村 太郎	松村 太郎
< <u>令和2年</u> 4月>	< <u>平成 32 年</u> 4 月>
番号	番号
<u>20</u>	<u>19</u>
調書番号	調書番号
<u>⑥</u>	<u>24</u>
フリガナ・氏名・<就任(予定)年月>	フリカ゛ナ・氏名・<就任(予定)年月>
カカ゛ミジケ゛オ	カカ゛ミジケ゛オ
各務 茂雄	各務 茂雄
<令和2年4月>	<平成 32 年 4 月 >
<u> , </u> - , , .	

### 7. 【全体計画審査意見20の回答について】

<学生へのサポート体制が不明確>

入学生全員が同じPC(文言は説明文と同様)環境で授業を受けられるようあらかじめ大学が手配すると説明があるが、学生へのノートPCの故障や盗難といったトラブルのサポート体制が不明確であるため、明らかとすること。例えば、PCが故障し授業に持ち込めなかった学生への保証はどうするのか、また、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一時的なサポートを行うとあるが、学内担当者のPCサポートの専門性が不明確であるため、サポート体制について改めて説明すること。

#### (対応)

入学生全員が同じPC(文言は説明文と同様)環境で授業を受けられるようあらかじめ大学が手配する と説明があるが、学生へのノートPCの故障や盗難といったトラブルのサポート体制が不明確であるため、 明らかとすることとのご指摘をいただき、次の通り説明を行う。

#### <PC 故障時の保証及び PC とトラブル時のサポート体制>

本学では要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備する。PC の故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能であるが、修理・交換等のため授業に持ち込めなかった学生を対象に、イノベーションマネジメント局において同環境の貸与用 PC を在籍学生数の 3%程度(開学時 10 台程度、完成年度で 25 台程度)を用意し学生の申請に基づき必要な期間の貸し出しを行うこととしている。盗難の場合も同様に、新たな PC を入手するまでの期間、授業に支障がないように PC を貸し出す。なお、学生には、PC 上だけでなく、大学で契約するクラウドサーバ上などバックアップを取るようその方法も周知し、故障や盗難といったトラブル時でも支障なく授業が受けられるよう指導を行う。

## <イノベーションマネジメント局内担当者>

イノベーションマネジメント局内には、PC 操作について精通しているだけでなく、Certified Internet Web Professional (CIW)、Cisco Certified Network Associate (CCNA)、symantec SCTA Virus Protection & Integrated Client Security、家電製品総合エンジニア等、PC だけでなくネットワーク、セキュリティに関する資格を持った職員、LMS など本学の学習環境に精通している職員などを複数名配置し、PC 本体のトラブルだけでなく、PC を用いた学習環境全般について教員や学生からの問い合わせに常時対応できるよう、サポート体制を置く。

#### <ネットワーク環境等について>

設置の趣旨等を記載した書類にも記載の通り、本学においては、すべての授業において PC を含めた情報端末を複数使用することが想定されることから、開学時よりネットワーク環境の強化を行う。具体的には、すでにどの大学でも実施が一般的な内容ではあるが、キャンパス内に Wi-Fi 環境を整備し、すべての

学生・教員が授業内外で活動するに十分なインターネット接続を確保する。その際、学生・教員とも複数の機器を活用しシステムやサービスの開発を行うことや、大容量のデータ通信が想定されるため、通常の大学より強固なものを設置する予定である。また、ほぼすべての授業において PC を使用すること、クラウド環境を整備しこれを活用した授業進行を想定していること、学生・教員とも 1 人 1 台ノート PC を持参して授業や課外活動等を展開することから、一度にアクセスが集中しても耐えられるサーバー等の環境を準備する。上記の環境を整備し、全教職員、学生が一斉に使用する場合であっても支障がないよう、電源の数、ネットワーク回線等に十分に配慮するとともに、高度で大容量の作業でもストレス無く実装できるよう環境を整える。なお、PC などの電子機器の利用に必要な電源(コンセント)を 1 教室当たり 60 個以上配置した。配置場所としては壁面だけでなく床面にも配置し、1カ所に集中しないよう分散を図っており、教室等では、机上での利用に適した配置とする。そのために必要な電源供給設備は用意している。

#### <PC について>

[63~64ページ]

設置の趣旨等を記載した書類にも記載の通り、本学においては、全学生が使用するノート PC については、プログラミング等の基礎的なスキルだけではなく、先端的な情報通信技術を活用したサービスの開発、運用も想定されることから、あらかじめ上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備することとした。本学に入学が想定される学生はすでに PC を保有していることが想定されるが、学習やサポートを円滑に進めるため、指定する同一機種の購入を促す。また、セキュリティ面での安全を確保するため、大学でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。PC 購入に関しては、学生募集時や入学案内時に丁寧に説明しご理解をいただくよう努める。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (63~64ページ)

[00 04 . 2]	[00 00 . 2]
(3)情報通信技術環境について	(3)情報通信技術環境について
(中略)	(中略)
上記スペックの PC を入学生が各自で購入・調達	上記スペックの PC を入学生が各自で購入・調達
することは難しい可能性が高いことから、あらかじ	することは難しい可能性が高いことから、あらかじ
め上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学	め上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学
生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備	生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備
することとした。なお PC 購入に当たってはマルチ	することとした。なお PC 購入に当たってはマルチ
ドライブなどの周辺機器を合わせて準備する。ま	ドライブなどの周辺機器を合わせて準備する。ま
た、セキュリティ面での安全を確保するため、大学	た、セキュリティ面での安全を確保するため、大学

[55~56ページ]

旧

でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4 年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4 年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。PC 購入に関しては、学生募集時や入学案内時に丁寧に説明しご理解をいただくよう努める。

サポート体制については、イノベーションマネジ メント局内に担当者を置き、一次的なサポートを行 う。故障やメンテナンス等が発生した際には、サポ ート契約を結ぶ取引先業者にもヘルプデスクとし て支援してもらい、問題発生後にすぐ対応できるよ う体制を整える。導入時にはオリエンテーションの 一環として全学生一律に PC 操作や導入サポートを 行う機会を設け、授業開始に支障がないようにす る。また、在学中に PC の故障や破損が発生した場 合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無 償で修理・交換が可能であるが、修理・交換等のた め授業に持ち込めなかった学生を対象に、イノベー ションマネジメント局において同環境の貸与用 PC を在籍学生数の3%程度 (開学時10台程度、完成年 度で25台程度)を用意し学生の申請に基づき必要 な期間の貸し出しを行うこととしている。また、盗 難の場合も同様に、新たな PC を入手するまでの期 間、授業に支障がないように PC を貸し出す。なお、 学生には、PC 上だけでなく、大学で契約するクラ ウドサーバ上などバックアップを取るようその方 法も周知し、故障や盗難といったトラブル時でも支 障なく授業が受けられるよう、指導を行う。

また、イノベーションマネジメント局内には、PC 操作について精通しているだけでなく、Certified Internet Web Professional (CIW)、Cisco Certified Network Associate (CCNA)、symantec SCTA Virus Protection & Integrated Client Security、家 電製品総合エンジニア等、PC だけでなくネットワ でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4 年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4 年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。(追記)

サポート体制については、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一次的なサポートを行う。故障やメンテナンス等が発生した際には、サポート契約を結ぶ取引先業者にもヘルプデスクとして支援してもらい、問題発生後にすぐ対応できるよう体制を整える。導入時にはオリエンテーションの一環として全学生一律にPC操作や導入サポートを行う機会を設け、授業開始に支障がないようにする。また、在学中にPCの故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能である(追記)。

一ク、セキュリティに関する資格を持った職員、 LMS など本学の学習環境に精通している職員など を複数名配置し、PC 本体のトラブルだけでなく、 PC を用いた学習環境全般について教員や学生から の問い合わせに常時対応できるよう、サポート体制 を置く。

(中略)

なお、PC などの電子機器の利用に必要な電源(コンセント)を1教室当たり60個以上配置した。配置場所としては壁面だけでなく床面にも配置し、1カ所に集中しないよう分散を図っており、教室等では、机上での利用に適した配置とする。そのために必要な電源供給設備は用意している。

(中略)

以上、ネットワーク環境、操作支援等において十 分なサポートを行うことで教育の充実を図ってい く。

#### 【審査意見以外への対応事項】

6月29日の実地審査にて「共同学習の場の充実」についてのご意見を頂いたため、共同学習の場について の説明をするとともに、設置の趣旨等を記載した書類において説明を追記する。

共同学習の場としては、演習室全 10 教室のうち 5 教室の机や椅子をグループワークでの作業等が可能な教室とし(別紙 4: 教室レイアウト図)、授業を行っていない教室を活用する予定となっている。自習やゼミ活動でのディスカッションなど授業時間外での学習や、正規科目外のプロジェクト活動を行う場合に活用する。その他、教員の研究室に隣接する研究フリースペースやキャリアセンター等は、オープンな場所であり共同学習の場としても、活用を推進していく。なお、教員や学生の教室利用に関しては、Web上での予約を可能とし、授業実施以外の時間は原則全ての教室を開放し、共同学習を促進する。完成年度において想定している教室稼働率は平均 35%となっているため、余裕を持って教室を利用することが可能である。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (61~62ページ)

مريك	
新	旧

[61~62ページ]

(2)校舎等施設の整備計画

(中略)

施設の内訳としては、講義室7室、演習室10室、 実習室2室、研究室27室、図書館、学長室、会議 室、事務室、医務室、学生自習室1室、学生控室を 有し講義科目だけではなく演習、実習科目等様々な 授業形態に対応可能な施設設備(表2)を設ける。な お、インターネット活用時の利便性向上のため無線 LAN環境を整備する。

また、共同学習の場としては、演習室全 10 教室 のうち 5 教室の机や椅子をグループワークでの作業 等が可能な教室とし(資料 20)、授業を行っていない教室を活用する予定となっている。自習やゼミ活動でのディスカッションなど授業時間外での学習や、正規科目外のプロジェクト活動を行う場合に活用する。その他、教員の研究室に隣接する研究フリースペースやキャリアセンター等は、オープンな場所であり共同学習の場としても、活用を推進していく。なお、教員や学生の教室利用に関しては、Web上での予約を可能とし、授業実施以外の時間は原則

[53~55ページ]

(2)校舎等施設の整備計画

(中略)

施設の内訳としては、講義室7室、演習室10室、 実習室2室、研究室27室、図書館、学長室、会議 室、事務室、医務室、学生自習室1室、学生控室を 有し講義科目だけではなく演習、実習科目等様々な 授業形態に対応可能な施設設備(表2)を設ける。な お、インターネット活用時の利便性向上のため無線 LAN環境を整備する。

(追記)

### 全ての教室を開放し、共同学習を促進する。

## (中略)

なお、授業を行う学生数は各授業 40 名以下であり、収容定員 800 名の場合、完成年度で最大 20 クラス分の教室が必要となる。教育課程の特色でもあり校舎外での学びとなる 3 年次の臨地実務実習(インターンシップ)などを勘案すると、同時に 20 クラス分の教室利用は無いため、教室稼働に支障は生じない(資料 15)。 なお、完成年度において想定している教室稼働率は平均 35%となっている。

## (中略)

なお、授業を行う学生数は各授業 40 名以下であり、収容定員 800 名の場合、完成年度で最大 20 クラス分の教室が必要となる。教育課程の特色でもあり校舎外での学びとなる 3 年次の臨地実務実習(インターンシップ)などを勘案すると、同時に 20 クラス分の教室利用は無いため、教室稼働に支障は生じない(資料 15)。(追記)

# 別紙目次

別紙1: カリキュラムマップ

別紙2: カリキュラム構成図

別紙3:カリキュラムマップ新旧対照表

別紙4:教室等レイアウト図

# 情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部 カリキュラムマップ

CP(1)

基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

1)自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。 2)グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。

3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

#### CP2

職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や 目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育 内容で構成する。

1)企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや記業など企業経営の内容を学ぶ。

2)市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見すること ができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容 を学ぶ

3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論 や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を 学ぶ。

4)目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。5)新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案すること

<u>5)</u>新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクト  $I \sim VI$ 」を設置する。

#### CP3

職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる 技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

3)基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、 関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付け

る。 5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの 知識を学ぶ。

#### CP(4)

展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的 背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違い やピジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような 教育内容で構成する。

1)英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

2)文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い 多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

#### CP(5)

総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

必修科目…太字・科目名に● 選択必修科目…科目名に〇 選択科目…印なし

			-						選択科目…印力	<u> </u>
			1年次 2年次 3年次		F次	4年次				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目		現	●イノベーションの志		●キャリアデザイン I			●キャリアデザインⅡ		
		代 社 会	●スタディスキル	●リサーチ入門		_			•	
		会 基	●英語コア・スキルズ I	●英語コア・スキルズⅡ	1					
		· 基 礎 科	── ○数学基礎A	〇数学基礎B	〇職業倫理	〇科学史	1			
		目 群		〇数学基礎C	〇先端グローバル社会	OICTと人間	1			
<b>&gt;</b>		世ジネス基	●マネジメント(経営学 基礎)		○オペレーションズマネ ジメント		•			
			●マーケティング基礎	●法務リテラシー I	)	J				
		ロス 群基		●アカウンティング入門	1					
		Ľ		l	l	〇問題形成と問題解決	〇ビジネスゲームによる 経営意思決定	〇イノベーション特論	デザインと経営	
	経営	ジネ				〇組織行動論	〇人的資源管理論		クロステックビジネスデ ザイン	1
		ス			マーケティング応用			地域創生とイノベーショ	新興市場における事業	1
		応用			〇アカウンティング応用	〇ファイナンス入門		Oコーポレートファイナ	開発	税務会計•会計処理
		科 目			○		1	ンス	J	
	情報通	践ジ	●イノベーションプロ ジェクト I	●イノベーションプロ ジェクト II	●イノベーションプロ ジェクトⅢ	●イノベーションプロ ジェクトIV	●イノベーショ	ンプロジェクトV	●イノベーショ	ンプロジェクトVI
職		践科目群	<u> </u>	●スタートアップ基礎 (起業論)		●ビジネスフィールドリ サーチ II	●インターンシップ I	<b>●インターンシップ</b> II		
業専門科目			●プログラミング I	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構	ッーデュ ●情報技術演習 I			·	
		ン基礎科目群システムデザイ	●データ構造と処理法	●ネットワーク技術	来 ●データベース	●システム設計演習	†			
			●コンピュータとソフト		情報系数学応用A	情報系数学応用B	情報系数学応用C	1		
			<b>ウェア基礎</b> オペレーティングシステ	コンピュータアーキテク	Oモバイルサービス概 ☆	〇データサイエンス		1		
		シ	Д	チャ	論	情報システムのプロジェ	情報技術演習Ⅱ	システムインテグレー		
		ス テ				クト管理	ソフトウェアプロセスと品 ##	ション	J	
	通信技	ム デ					質 モデル化と要求開発	1		
		目ザ イ			OWebシステム演習	7		Oクラウド	Oスーパーコンピュータ	]
	術   	ン 応			Oインタラクティブ・シス			Oビッグデータ	OAI	1
		用 科			テムデザイン	_		Оют		ı
		リクネテ・ッ			〇ネットワーク構築 I	ネットワーク構築Ⅱ	ネットワーク構築Ⅲ		l	
		イセト 科キワ				〇情報セキュリティ演習	情報セキュリティ演習Ⅱ			
展		ミグロー バ	●ビジネス英語字習 T	●ビジネス英語実習Ⅱ	●ビジネス英語実習Ⅲ	●ビジネス英語実習Ⅳ		I		
					○英語アカデミック・リテ	〇英語ビジネスマネジメ	 ○英語通訳論	〇英語ディスカッション・	〇英語プレゼンテーショ	○英語ネゴシエーション
開科	٤				ラシー	ント 〇実践英語:多文化理	〇実践英語:日本文化	ディベート	ン 〇実践英語:ファイナン	〇実践英語:イノベー
目		· ショ				解 ○英米文学演習	○天成天山・日本人儿	〇実践英語:製造業	ス 〇実践英語:IoT	ション
	<b>松</b> 本:					ンス小人丁次日	I			実践演習
総合科目		17 🗆	1					●総合理論演習	<b>→</b> ₩□:	大城庚日

DP① 職業的自立を図る能力 1)自分のライフ・キャリアに関する明確な 目標をもち、その実現のために、必要な ステップや優先順位を自ら考え意欲的に 行動できる。

2)グローバルな視野をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的に理 解するための知識や方法を身に付けてい る。

3)変化し続ける社会や組織を論理的に 捉え順応することができる。

DP② 経営に関する知識・スキル 1)企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。

2)市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。 3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。

<u>4)</u>新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③ 情報通信技術に関する知識・スキル

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。

3)基本的なネットワーク通信の仕組み、 各種プロトコルや情報セキュリティの全体 像を理解し、その上で与えられた要求条 件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。

4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。

5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④国際的コミュニケーション能力 1)英語を用いて、ビジネスの現場で説明 や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。 2)文化的背景の異なる人々と協働する ために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。 ■想定される 進路・就職先 一般企業 情報通信技術の 開発企業



#### ■養成する人材像

変化し続ける時代の 中で、経営と情報通 信技術に関する理論 と実践力、国際的な コミュニケーション能 力、これらを組み合 わせた応用力を主体 的に身に付け、企業 において新規の事業 やサービスを立案・ 提案する企画運営能 力を発揮することや、 自ら起業して新たな サービス・ビジネスを 生み出すことで、国 際社会と地域社会の 産業発展に貢献する 人材。

# 情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部 カリキュラム構成図 (現代社会基礎科目群)

## DP① 職業的に自立を図る能力

- 1) 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
- 2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための 知識や方法を身に付けている。

○数学基礎A

○数学基礎B

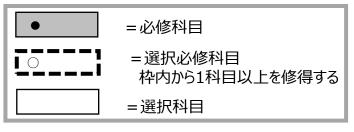
○数学基礎C

3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。



## CP①基礎科目·現代社会基礎科目

生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく 必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。



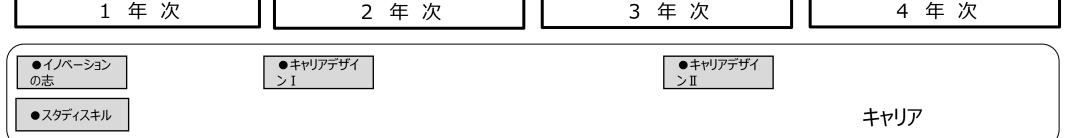
# CP①基礎科目·現代社会基礎科目

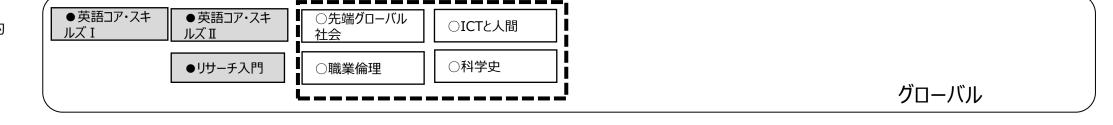
・自分のライフ・キャリアに関する明確 な目標をもち、その実現のために、必 要なステップや優先順位を自ら考え意 欲的に行動できるようキャリアデザイン などの内容を学ぶ。

確 必 え意 (ン

2) グローバルな視野をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的 に理解するための知識や方法を身に 付けるため、現代社会や語学などの 内容を学ぶ

3) 変化し続ける社会や組織を論理的に 捉え順応することができるよう、数的論 理力、数的処理能力などの内容を学





※数学基礎A~Cより2科目以上修得する

数的論理力

# カリキュラム構成図(ビジネス領域)

## DP② 経営に関する知識・スキル

- 1)企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
- 2) 市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- 3) 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- 4) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。



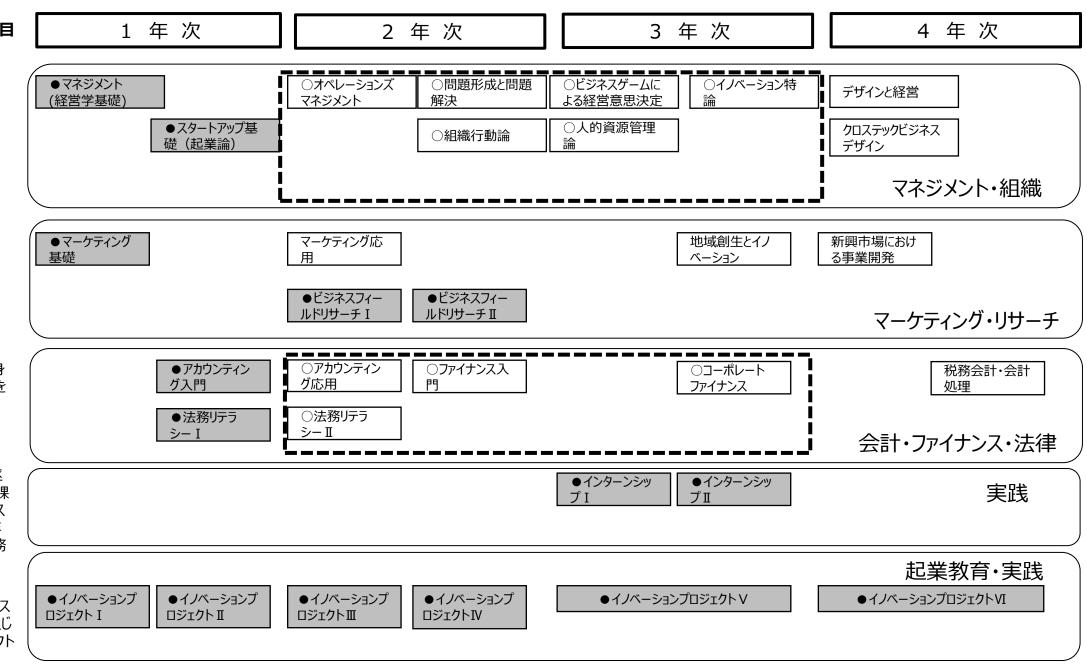
## CP②職業専門科目のうち経営科目

企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、 企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう 以下のような教育内容で構成する。

•	=必修科目
	=選択必修科目 枠内から1科目以上を修得する
	=選択科目

# CP②職業専門科目のうち経営科目

- 1) 企業やビジネスの継続的改善に向け た目標を設定し、それを状況に応じな がら計画的に実行できるようマネジメン トや起業など企業経営の内容を学ぶ。
- 2) 市場の情報収集や調査を行い、経営 課題を発見することができるようマーケ ティングやフィールドリサーチなどの内容 を学ぶ。
- 3) 企業の持続性という観点から、評価・ 分析する経営理論や実践的技法を身 につけるため、法務や会計などの内容を 学ぶ。
- 4) 目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
- 5) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネス を提案することができるよう4年間を通じ た必修科目の「イノベーションプロジェクト I ~VI |を設置する。



# カリキュラム構成図(情報通信技術領域)

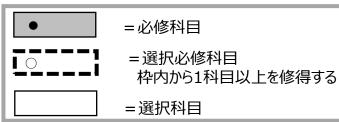
## DP③ 情報通信技術に関する知識・スキル

- 1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の 要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- 2) コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、 統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- 3)基本なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、 その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- 4) データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する 基礎的な能力を身に付けている。
- 5) 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

# CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目

 $\bigcirc$  IoT

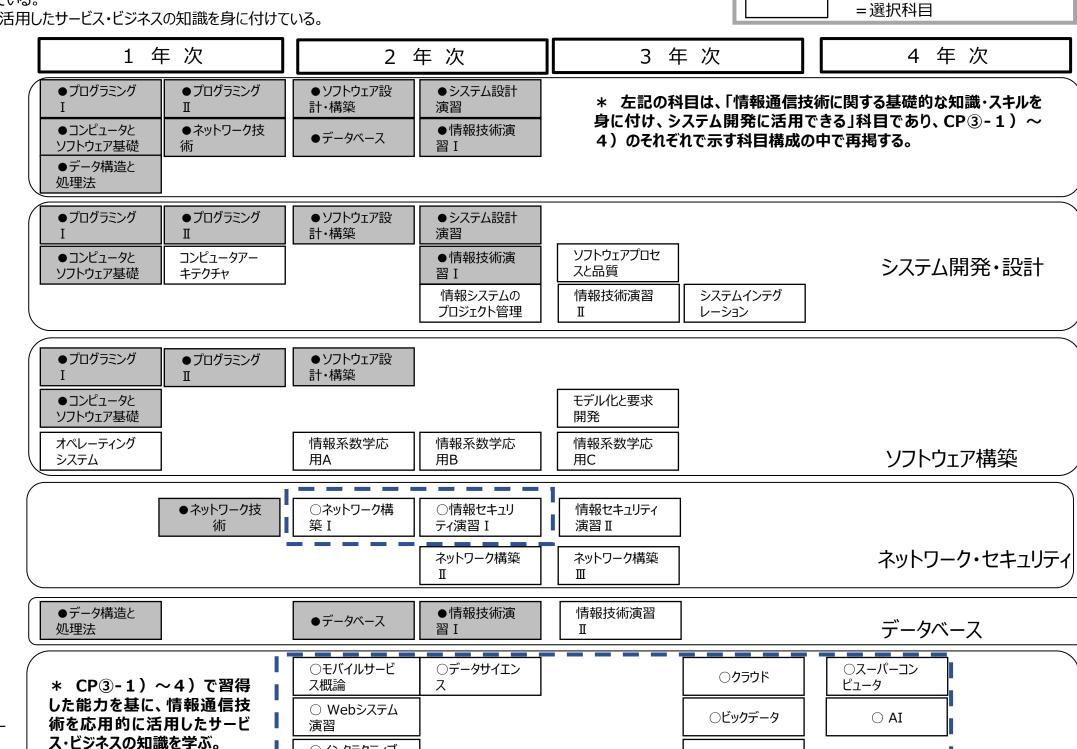
情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、シ ステム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。



応用

# CP③職業専門科目のうち情報 通信技術科目

- 1) システム開発や設計に関する知識や スキルをもとに、実際の開発プロジェク トに参加し顧客の要望や上長からの 指示のもとシステム開発・設計ができ るようソフトウェア設計やシステム設計 などの内容を学ぶ。
- コンピュータの本質的な側面および、ソ フトウェアをつくる技術であるプログラミン グを理解し、統合開発環境を活用し てソフトウェアの構築ができるようプログ ラミングやデータ構造や処理法などの 内容を学ぶ。
- 3) 基本的なネットワーク通信の什組み、 各種プロトコルや情報セキュリティの全 体像を理解し、その上で与えられた要 求条件を元にデータベースと連携したシ ステムの構築ができるようネットワーク等 の内容を学ぶ。
- データベースの原理・考え方や基本 構造について理解し、関係データ ベースを設計構築する基礎的な能 力を身に付ける。
- 情報通信技術を応用的に活用したサー ビス・ビジネスの知識を学ぶ。



○インタラクティブ・

システムデザイン

# カリキュラム構成図(グローバルコミュニケーション領域)

## DP4国際的コミュニケーション能力

- 1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションを とることができる。
- 2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界など を理解することができる。



## CP4展開科目・グローバルコミュニケーション科目

文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違 いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内 容で構成する。

•	=必修科目
	=選択必修科目 枠内から1科目以上を修得する
	=選択科目

# CP4展開科目・グローバルコミュニケー ション科目

1)

容を学ぶ

英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、 意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよ う英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

2)

文化的背景の異なる人々と協働するために、英

語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内

1 年 次

●ビジネス英語

ル理解、スキル習得

2 年 次

●ビジネス英語

3 年 次

4 年 次

実習Ⅱ 実習I 実習Ⅲ 実習IV ◆ルール (ビジネス・アカデミック) ○英語アカデ ○英語ビジネス ○英語通訳論 の理解とスキル ミックリテラシー マネジメント 英語でビジネスを進めるためのルー

●ビジネス英語

◆ルール(ビジネスコミュニケーション)の理解と実践 英語でビジネスコミュニケーションを行うためのルール理解と実践

●ビジネス英語

○英語ディス カッション・ディ ベート

○実践英語:

製造業

○英語プレゼン テーション

○英語ネゴシ エーション

○実践英語:

イノベーション

◆文化の理解 ○実践英語: ○実践英語: 文化的背景の異なる人々と協働するため 多文化理解 日本文化 に、英語で文化を学ぶ。 ○英米文学演

◆実践英語 (ビジネス、ICT) 経営や技術などの専門的な内容について、英語 でコミュニケーションをとることができるよう、具体的 なテーマごとに学ぶ。

○実践英語: ファイナンス

○実践英語:

IoT

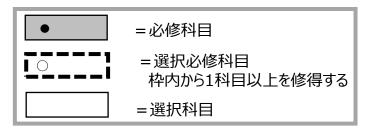
# カリキュラム構成図(総合科目)

# DP⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力

1)経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

# CP⑤総合科目

理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合 実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した 知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すた めの実践的かつ応用的な能力を養う。



# CP⑤ 総合科目

・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
		●総合理論演習	●総合実践演習

# 情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部 カリキュラムマップ

代社

会基

礎

科

莊

経

営

職

業

車

科

展

開

科

目

日

礎

科デ

目が

テ

 $\angle$ 

1

応

用

ミグロー

シル

総合科目

目ザ

群

報

通

信

技

術

基

礎

科

目

1年次

基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資 質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得す るために 以下のような教育内容で構成する

1) 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その 実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲 的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ 2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題 を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付け るため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。

3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することが できるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関 する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や 目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育 内容で構成する。

1)企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、そ れを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメント や記載など企業経営の内容を受ぶ

2)市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見すること ができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容

3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論 や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を

4)目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、シス テム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネスス キルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業 現場での臨地事務事習を約640時間設定する。

5)新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案すること ができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロ ジェクトI~VI」を設置する。

職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技 術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開 発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実 際の開発プロジェクトに参加し、顧客の要望や上長からの指 示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計や システム設計などの内容を学ぶ。

2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる 技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用し てソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構 造や処理法などの内容を学ぶ。

3)基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情 報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求 条件を元にデータベースと連携したシステムの機築ができ るようネットワーク等の内容を学ぶ。

4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、 ■ 関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付け

。 5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの 知識を学ぶ

展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的 背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違い やビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような 教育内容で構成する。

1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換 など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケー ションなどの内容を学ぶ

2)文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、 多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合 理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて 段置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスや ビジネスを生み出すための宝珠的かつ広田的な能力を兼う

必修科目…太字・科目名に● 選択必修科目…科目名に〇

選択科目…印なし 4年次

前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 ●キャリアデザイン I ●イノペーションの志 ●キャリアデザインII

●スタディスキル ●リサーチ入門 ●英語コア・スキルズ I ●英語コア・スキルズ II 〇数学基礎A 〇数学基礎B 〇職業倫理 D科学史 〇数学基礎C ○先端グローバル社会 DICTと人間

●マネジメント(経営学 礎 (都基 科水 ●マーケティング基礎 ●法務リテラシー I 日群れ

●アカウンティング入門

●イノペーションプロ

●プログラミング I

●データ構造と処理法

●コンピュータとソフト

●ビジネス英語実習 I

<u>ジェクト I</u>

ウェア基礎

D組織行動論 ネ ス アーケティング応用 応 用 〇アカウンティング応用 Oファイナンス入門 科

エクトエ

●スタートアップ基礎

●プログラミング II

●ネットワーク技術

オペレーティングシステ コンピュータアーキテク

○法務リテラシー 🏾

●イノベーションプロ ●イノペーションプロ シェクト皿

●ソフトウェア設計・構

●データベース

情報系数学応用A

〇モバイルサービス概

Oオペレーションズマネ

●イノペーションプロ ェクトIV ●ビジネスフィールドリ ●ビジネスフィールドリ

D問題形成と問題解決

2年次

●インターンシップ I ●インターンシップ II ●情報技術演習 I

ノフトウェアプロセスと品

モデル化と要求開発

ビジネスゲームによる

O人的資源管理論

●イノペーションプロジェクト▼

3年次

〇イノベーション特論

〇コーポレートファイナ

ノステムインテグレ・

0クラウド

OInT

Oビッグデータ

デザインと経営

地域創生とイノベーショ 新興市場における事業

クロステックビジネスデ

Oスーパーコンピュータ

OAI

税務会計·会計処理

●イノベーションプロジェクトVI

情報系数学応用B 情報系数学応用C

)データサイエンス 情報システムのプロジ

●システム設計演習

〇実践革語:多文化理

〇英米文学演習

情報技術演習Ⅱ

Webシステム演習 )インタラクティブ・シス

〇ネットワーク構築 I

)英語アカデミック・リテ

●ビジネス英語実習Ⅱ ●ビジネス英語実習Ⅲ

ネットワーク構築Ⅱ ネットワーク構築Ⅲ O情報セキュリティ演習

情報セキュリティ演習』

●ビジネス英語実習Ⅳ 〇英語ビジネスマネジ

〇英語ディスカッション・ ○英語プレゼンテーショ ) 英語通訳論 ○実践英語:ファイナン 〇実践英語:日本文化

〇実践英語:製造業

〇総合理論演習

○実践英語:イノベー 〇実践英語:IoT ●総合実践演習

)英語ネゴシエーション

DP① 職業的自立を図る能力 1) 自分のライフ・キャリアに関する明確な 目標をもち、その実現のために、必要な ステップや優先順位を自ら考え意欲的に

行動できる。

2)グローバルな視野をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的に理 解するための知識や方法を身に付けてい

3)変化し続ける社会や組織を論理的に 捉え順応することができる。

DP② 経営に関する知識・スキル 1)企業経営に関する理論・実践を学ぶこ とにより、継続的改善に向けた目標を設 定し、状況に応じながら計画的に実施す ることができる。

2)市場の情報収集や調査を行い、経営 トの課題を発見することができる。 3)企業の持続性という観点から、評価 分析する経営理論や実践的技法を身に 付けている。

4)新たな価値をもたらすサービス・ビジネ スを提案することができる。

DP(3) 情報通信技術に関する知識・スキ

1)システム開発や設計に関する知識や スキルをもとに、実際の開発プロジェクト に参加し顧客の要望や上長からの指示 のもとシステム開発・設計ができる。 2)コンピュータの本質的な側面および、ソ フトウェアをつくる技術であるプログラミン グを理解し、統合開発環境を活用してソフ トウェアの構築ができる。

3)基本的なネットワーク通信の仕組み、 各種プロトコルや情報セキュリティの全体 像を理解し その上で与えられた要求条 件を元にデータベースと連携したシステ ムの構築ができる。

4)データベースの原理・老え方や其本様 造について理解し、関係データベースを 設計構築する基礎的な能力を身に付けて

5)情報通信技術を応用的に活用した サービス・ビジネスの知識を身に付けて いる。

DP④国際的コミュニケーション能力 1) 英語を用いて、ビジネスの現場で説明 や討論、意見交換など、必要なコミュニ ケーションをとることができる。 2)文化的背景の異なる人々と協働する ために、英語を用い、多文化、文献、様々 な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの

経営や情報通信技術の専門的知識を体 系的に理解し、国際社会と地域社会にお いて、サービス・ビジネスを革新するため に、これらの知識を応用することができる。 ■想定される 准路 就職先 一般企業 情報通信技術の 開発企業



■養成する人材像

変化し続ける時代の 中で、経営と情報通 信技術に関する理論 と宝珠カ 国際的な コミュニケーション能 力、これらを組み合 わせた応用力を主体 的に身に付け、企業 において新規の事業 やサービスを立案・ 提案する企画運営能 力を発揮することや、 白ら記業して新たな サービス・ビジネスを 生み出すことで、国 際社会と地域社会の 産業発展に貢献する 人材。

# 情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部 カリキュラムマップ

#### 必修科目は下線

【卒業要件】必修科目94単位、選択科目34単位以上、計128単位を習得すること。

基礎科目 20単位以上

選択科目から8単位を履修する。うち、数学基礎A~Cから4単位以上を履修する。

職業専門科目 82単位以上 選択科目から14単位を履修する。 展開科目 20単位以上 選択科目から12単位を履修する。

総合科日 6単位

履修科目の登録の上限:1年次46単位(年間)、2-4年次42単位(年間)

1年次 2年次 3年次 4年次 基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自ら の資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 獲得するために、以下のような教育内容で構成する。 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、そ 現 イノベーションの志 キャリアデザイン エ <u>キャリアデザインⅡ</u> の実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え 意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を 社 スタディスキル リサーチ入門 ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課 礎 会 題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身 <u>英語コア・スキルズ I</u> 英語コア・スキルズⅡ に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。 科 礎 ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応すること 目 数学基礎A 数学基礎B 科 職業倫理 科学史 ができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ 日 数学基礎C にてと人間 先端グローバル社会 マネジメント(経営学基 オペレーションズマネ 職業専門科目のうち経営科目でけ 企業の戦略と組織 に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営 の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下 法務リテラシー I マーケティング基礎 のような教育内容で構成する。 ・企業やビジネスの継続的改善に向けた日標を設定! アカウンティング入門 それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジ メントや起業など企業経営の内容を学ぶ。 地域創生とイノベーショ 新興市場における事業 ・市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見する マーケティング応用 ことができるようマーケティング やフィールドリサーチな どの内容を学ぶ アカウンティング応用 ファイナンス入門 コーポレートファイナンス 税務会計・会計処理 経 ネ ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理 論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの 営 ス応 クロステックビジネスデ 法務リテラシーⅡ (ノベーション特論 ザイン ・日標の明確化、計画立客から計画遂行に至る能力。 用 ビジネスゲームによる経 デザインと経営 システム関発スキル 理題発用・分析・解決を通じたビ 問題形成と問題解決 科 ジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさ 目 まざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定 組織行動論 人的資源管理論 イノペーションプロ 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案するこ イノペーションブロ |イノペーションプロ イノペーションブロ <u>イノベーションプロジェクトV</u> <u>イノベーションプロジェクトVI</u> とができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーショ 職 ジェクトロ <u> シェクトⅣ</u> ンプロジェクトI~VI」を設置する。 ビジネスフィールドリ ビジネスフィールドリ 業 インターンシップ I **インターンシップ**Ⅱ サーチⅡ H-41 専 プログラミング I プログラミング II ソフトウェア設計・構築 情報技術演習I 門 職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信 科 データ構造と処理法 ネットワーク技術 データベース 技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システ システム設計演習 ム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。 ニョンピュータとソフトウェ ア基礎 ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、 情報系数学応用A 情報系数学応用B 情報系数学応用C 実際の開発プロジェクトに参加! 顧客の悪望や上長か オペレーティングシステ コンピュータアーキテク らの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフト モバイルサービス概論 データサイエンス ウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。 ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつく 報 Webシステム演習 情報技術演習Ⅱ る技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を 通 活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミング インタラクティブ・システ ソフトウェアプロセスと品 システムインテグレー やデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。 信 ムデザイン 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコル 用ム 情報システムのプロジェ や情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えら 技 スーパーコンピュータ 科デ モデル化と要求開発 クラウド れた要求条件を元にデータベースと連携したシステム の構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。 術 ビッグデータ ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解 し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を 身に付ける。 ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネス の知識を学ぶ。 ネットワーク構築 I ネットワーク構築Ⅱ ネットワーク構築Ⅲ 情報セキュリティ演習 情報セキュリティ演習 展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文 <u>ビジネス英語実習 I ビジネス英語実習 I</u> ビジネス英語実習Ⅲ ビジネス英語実習Ⅳ ミガ 展 글 英語アカデミック・リテラ 英語ビジネスマネジメン 英語ディスカッション・ 英語通訳論 英語プレゼンテーション 英語ネゴシエーション 開 ディベート ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交 ンケーバ 科 換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュ 実践英語:日本文化 実践英語:ファイナンス 実践英語:イノベーショ 実践英語:多文化理解 シル 目

英米文学演習

実践英語:製造業

经会理验查费

実践英語:IoT

総合実践演習

DP① 職業的自立を図る能力 自分のライフ・キャリアに関する明確な日 標をもち、その実現のために、必要なス テップや優先順位を自ら考え意欲的に行 動できる。

グローバルな視野をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的に理 解するための知識や方法を身に付けてい

・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え 順応することができる。

DP② 経営に関する知識・スキル ・企業経営に関する理論・実践を学ぶこと により、継続的改善に向けた目標を設定し 状況に応じながら計画的に実施すること ができる。

・市場の情報収集や調査を行い、経営上 の課題を発見することができる。 ・企業の持続性という観点から、評価・分

析する経営理論や実践的技法を身に付け 新たな価値をもたらすサービス・ビジネス

を提案することができる。

DP③ 情報通信技術に関する知識・スキ

・システム開発や設計に関する知識やス キルをもとに、実際の開発プロジェクトに 参加し顧客の要望や上長からの指示のも とシステム開発・設計ができる。

・コンピュータの本質的な側面および ソフ トウェアをつくる技術であるプログラミング を理解し、統合開発環境を活用してソフト ウェアの構築ができる。

・基本的なネットワーク通信の仕組み 各 種プロトコルや情報セキュリティの全体像 を理解し、その上で与えられた要求条件を 元にデータベースと連携したシステムの構 築ができる。

・データベースの原理・考え方や基本構造 について理解し、関係データベースを設計 構築する基礎的な能力を身に付けている。 ・情報通信技術を応用的に活用したサー ビス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP4 国際的コミュニケーション能力 ・革語を用いて、ビジネスの現場で説明や 討論、意見交換など、必要なコミュニケー ションをとることができる。

・文化的背景の異なる人々と協働するた めに、革語を用い、多文化、文献、様々な 業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの ・経営や情報通信技術の専門的知識を体 系的に理解し、国際社会と地域社会にお いて、サービス・ビジネスを革新するため に、これらの知識を応用することができる

■想定される 進路·就職先 一般企業 情報通信技術の 開発企業 起業

■養成する人材像

変化し続ける時代の 中で、経営と情報通信 技術に関する理論と 実践力、国際的なコ ミュニケーション能力、 これらを組み合わせた 応用力を主体的に身 に付け、企業において 新規の事業やサービ スを立案・提案する企 画運営能力を発揮す ることや、自ら起業し て新たなサービス・ビ ジネスを生み出すこと で 国際社会と地博社 会の産業発展に貢献

化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文 化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、 以下のような教育内容で構成する。

ニケーションなどの内容を学ぶ

・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を 用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

総合科目

総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、 「総合理論演習」「総合事践演習」を3年次後期から4年 次にかけて設置」、修得した知識・スキルを結合し、新 たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ 応用的な能力を養う。

亩

# 別紙4

- ※ 安全上の観点により図面は省略いたします。
- ①教室等レイアウト図

2F 研究フリースペース

演習室(共同学習、アクティブラーニング等)例